

ACCESS MAP

交通のご案内

【編集・発行】横浜市立大学
2025.06

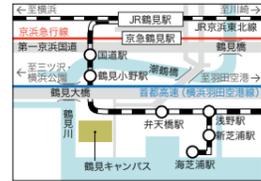
■ 舞岡キャンパス (木原生物学研究所)



- 理学部
- 生命ナノシステム科学研究科
[生命環境システム科学専攻]
- 木原生物学研究所

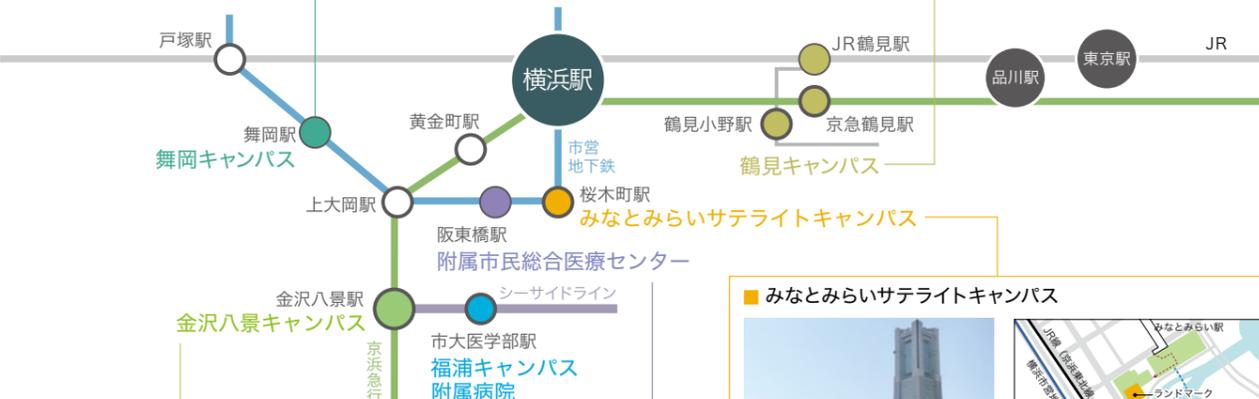
〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町641-12
TEL.045-820-1900
●市営地下鉄「舞岡駅」下車徒歩10分

■ 鶴見キャンパス



- 理学部
- 生命医科学研究科
[生命医科学専攻]

〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-7-29
TEL.045-508-7201, 7202
●JR京浜東北線「鶴見駅」東口および京浜急行「京急鶴見駅」前の8番バス乗り場から、川崎鶴見臨港バス鶴08系統「ふれーゆ」行きで約15分、「理研・市大大学院前」下車
●JR鶴見線「鶴見小野駅」下車徒歩15分



■ 金沢八景キャンパス



- 国際教養学部
- 国際商学部
- 理学部
- データサイエンス学部
- 医学部(医学科・看護学科) ※1年次
- 都市社会文化研究科
[都市社会文化専攻]
- 国際マネジメント研究科
[国際マネジメント専攻]
- 生命ナノシステム科学研究科
[物質システム科学専攻]
[生命環境システム科学専攻]
- データサイエンス研究科
[データサイエンス専攻]
[ヘルスデータサイエンス専攻]



〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2
TEL.045-787-2311
●京浜急行「金沢八景駅」下車徒歩5分
●シーサイドライン「金沢八景駅」下車徒歩5分

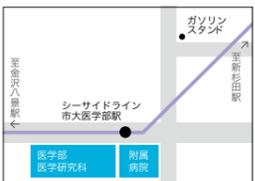
■ 福浦キャンパス



■ 附属病院



- 医学部(医学科・看護学科)
- 医学研究科[医科学専攻][看護学専攻]
- 先端医科学研究センター



〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9
福浦キャンパス TEL.045-787-2511
附属病院 TEL.045-787-2800
●シーサイドライン「市大医学部駅」下車徒歩1分

■ みなとみらいサテライトキャンパス



- データサイエンス研究科
[ヘルスデータサイエンス専攻]

〒220-8107 横浜市西区みなとみらい2-2-1
横浜ランドマークタワー7階
TEL.045-681-7560
●横浜高速鉄道みなとみらい線「みなとみらい駅」下車徒歩3分
●市営地下鉄「桜木町駅」下車徒歩5分
●JR京浜東北線・横浜線「桜木町駅」下車徒歩5分

■ 附属市民総合医療センター



〒232-0024 横浜市南区浦舟町4-57 TEL.045-261-5656
●京浜急行「黄金町駅」下車徒歩10分 ●市営地下鉄「阪東橋駅」下車徒歩5分
●市営バス「浦舟町」下車徒歩1分



※アプリによっては読み取れない場合があります

YOKOHAMA CITY UNIVERSITY

2026 GUIDE BOOK



YOKOHAMA CITY UNIVERSITY

ヨコハマから世界へ

YCU's Special Features

3つの特長

広い視野と知識から、自らの専門性を切り拓く

- すべての学生が1年次の共通教養科目で、専門科目の基盤となる知識、姿勢、思考法を学べる
- Practical EnglishやAdvanced Practical Englishで、英語によるコミュニケーション力を鍛えられる
- 少人数の演習等、多彩な教授陣による専門教育が受けられる領域横断型プログラム

国際都市・横浜で学び、世界に通用する力を身に付ける

- 横浜というフィールドで課題を発見し、解決策の実践を通して地域や世界の問題を学べる
- 駐日大使の講演会や国際イベントへの参加等、横浜にしながら多様な国際経験を積める
- 海外フィールドワークや留学、海外インターンシップで、世界へと飛び出し、自分を試せる

コンパクトだから、温かい距離感

- 教養ゼミやPractical English、専門での演習等、少人数クラスで自ら、能動的に学べる
- 学生数約5,000人という規模だからこそ、教員との距離が近く、親身な指導が受けられる
- 履修や課外活動、留学や就職相談等、スタッフから手厚いサポートが受けられる



President's Message

キーワードは 「DIGITAL、MEDICAL、GLOBAL」

「世界初」を生み出すゲームチェンジャーを横浜の地から輩出したい

横浜市立大学は、国際都市・横浜にキャンパスを構える、100年以上の歴史を誇る大学です。その歴史は古く、1882年に設立された横浜商法学校を起源とする横浜市立横浜商業専門学校と、1944年設立の横浜市立医学専門学校（後の横浜医科大学）が統合し、横浜市立大学としての歴史を積み重ねてきました。その後、大規模な学部・研究科の再編・新設をはじめとする大学改革を経て、現在の5学部6研究科体制へと発展しました。

明治初期に医学部のルーツとなる仮病院の設立・運営に携わった医師の早矢仕有的先生は、銀行などを創業した起業家でもあり、そのアントレプレナーシップ（起業家精神）は、現在の横浜市立大学にも脈々と受け継がれています。アントレプレナーシップは多様化や変化が著しい現代社会においては起業家以外にも非常に必要となる姿勢であり、本学は、日本、そして世界をリードするような人材の輩出に取り組んでいます。

横浜市立大学の大きな魅力は、そのコンパクトなサイズ感であり、少人数教育を大切に、学生と教職員との距離感が近いことも大きな特長です。また、分野横断型の「ADEPTプログラム（AI Data Science Education Program for Tomorrow）」や「医療イノベーション人材育成プログラム」、「起業家育成プログラム」なども設置し、学生が幅広い視野を持ち、常に新たな挑戦を続けられる環境を用意しています。さらに、経済支援やキャリア支援などさまざまな学生支援も充実しています。

これらの教育環境に加えて、世界に誇る研究力も横浜市立大学の強みです。日本全体の研究力の発展をけん引する研究大学群を形成するための文部科学省・日本学術振興会が実施する「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」に、2025年1月に採択されました。地域社会の中核的な研究大学として、他大学との連携等を図りつつ、イノベーションを通じた社会変革をけん引することを目指します。

また、2つの附属病院は、安全かつ高度で先進的な医療を提供し、感染症のパンデミックの対応や高度救命救急医療など、地域医療を支える「最後の砦」としての役割も担っています。

2028年に創立100周年を迎える横浜市立大学。伝統と革新のその先に、さらなる発展を誓い、これからも横浜市立大学は「知の拠点」として教育・研究・医療分野をリードする役割を果たすべく、より良い大学づくりを進めています。

常に未来を見据え、取り組み続けるこの横浜市立大学で、多くを学び、たくさんの経験を積み、皆さんにも未来に向かって大きく羽ばたいてほしいと願っています。

横浜市立大学 学長 石川義弘



Profile

1959年3月生まれ。神奈川県出身。医学博士。日本および米国医師免許登録。専門は循環制御医学。1984年 横浜市立大学医学部医学科卒業。在学中にロータリー財団の奨学金によりイエール大学医学部に留学。その後、コロンビア大学医学部助教授、ハーバード大学医学部助教授などを歴任。在米中は大学での勤務の傍ら、大学病院で経済的困窮者向けの外来治療を担当。1998年より横浜市立大学医学部循環制御医学教室主任教授。同大学院医学研究科長、医学群長、副学長、学術情報センター長、学長補佐などを経て、2024年4月より現職。

GO GLOBAL.
START IN
YOKOHAMA.

CONTENTS

2 プロローグ

2 学長メッセージ / 4 数字で見るYCU・ヨコイチの歴史
6 活躍する卒業生 / 8 学部・学科 / 大学院・研究科

10 学部教育のカタチ

10 YCUの共通教養 / 14 領域横断教育 / 16 ヨコハマで学ぶ
18 グローバル教育

学部紹介

22 国際教養学部

26 国際商学部

30 理学部

34 データサイエンス学部

38 医学部 38 医学科 / 44 看護学科 / 49 2つの附属病院

50 研究

50 先端医科学研究センター・次世代臨床研究センター・
共創イノベーションセンター
51 鶴見キャンパス・木原生物学研究所（舞岡キャンパス）・
みなとみらいサテライトキャンパス・連携大学院・海外連携機関等
52 Researcher Interview / 53 主な研究TOPICS

54 学生支援

54 学生サポート / 55 キャリアサポート

56 キャンパスライフ

56 数値で見る学生生活・YCUの1年・YCU生の1日・YCUトリビア
58 Club/Circle
60 キャンパスマップ（金沢八景キャンパス）
62 キャンパスマップ（福浦キャンパス）

64 学費・奨学金

65 受験をお考えの方へ

66 入試情報

66 入試概要 / 68 入試結果

もっと詳しく知りたい方へ



受験生向けWEBマガジン
「ヨコ知り!」では、
受験に役立つ情報やYCU生の
キャンパスライフを発信中!



さらに詳しい情報はWEBサイトに掲載中!
各ページの二次元コードを要チェック!



学生数

5,275人

学部生：4,309人
大学院生：966人

2025年4月1日現在

横浜市立大学キャラクター「ヨコイチ」

2008年

誕生

創立 80 周年企画で学生プロジェクトの発案、デザインをもとに、在学生、卒業生、教職員からの人気投票により決定

部活動・サークル数

105

団体

運動系団体：54 団体
文化系団体：44 団体
その他サークル：7 団体

※金沢八景・福浦キャンパスの合計
2025年4月現在

国際教養・国際商・理・データサイエンス学部の就職率

99.3%

全国平均 98.1%

キャリア支援センターでは、年度を通じて約100のキャリア・就職イベントを実施しています

※就職率=就職者数÷就職希望者数
2023年度実績

海外留学・研修参加者

530人

2024年度実績

専任教員数

831人

国際総合科学群：161人
医学群：670人

2025年4月1日現在

留学生数

158人

28の国・地域

本学に在籍している外国人留学生の数

2024年11月1日現在

医師国家試験合格率

97.7%

全国平均 92.3%
※既卒含む
2024年度実績

TOEFL-ITP500点相当以上の学生

96.9%

Practical English の最低達成条件をクリアしている2年生の割合

2024年度終了時点

看護師国家試験合格率

100%

全国平均 90.1%
※既卒含む
2024年度実績

交流協定を締結している海外大学・研究機関等の数

89

2025年3月現在

横浜市立大学は2028年で100周年

100周年事業

伝統と革新の、その先へ 1928 - 2028

1928年の創立から常に横浜と歩み進化し続けてきたYCU。2026年度の新入生は、この大きな節目を在学中に迎えます。さまざまな記念事業プロジェクトやイベントを通じて、皆さまと共に祝い、感謝を伝え、これからの100年の発展を誓います。

100周年記念リーフレット

ヨコイチの歴史 The History of Yokohama City University

YCU創立年

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|------------|-------------|------------------|-------------|-----------------|------------------------|-----------------|-----------------|--------------------------------|------------------|----------------------------------|--|---|--|--------------|
| 1871 横浜仮病院 | 1872 横浜中病院 | 1874 県立十全医院 | 1882 横浜商法学校 (Y校) | 1888 横浜商業学校 | 1917 横浜市立横浜商業学校 | 1928 横浜市立横浜商業専門学校 (Y専) | 1944 横浜市立経済専門学校 | 1949 横浜市立大学 (商) | 1952 横浜市立大学 (商・文理・医) 横浜市看護婦養成所 | 1971 医学部附属高等看護学校 | 1995 横浜市立大学 (商・国際文化・理・医) 看護短期大学部 | 2005 横浜市立大学 (国際総合科学部/国際総合科学科、医学部/医学科・看護学科) | 2018 横浜市立大学 (国際総合科学部、データサイエンス学部、医学部/医学科・看護学科) | 2019 横浜市立大学 (国際教養学部、国際商学部、理学部、データサイエンス学部、医学部/医学科・看護学科) | 2028 創立100周年 |
|------------|------------|-------------|------------------|-------------|-----------------|------------------------|-----------------|-----------------|--------------------------------|------------------|----------------------------------|--|---|--|--------------|

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------|------------|-------------|---------------|-------------------|-----------------|-------------|------------------------|---------------|-------------------|----------------|----------------------|-------------------|-----------|
| 1871 横浜仮病院 | 1872 横浜中病院 | 1874 横浜共立病院 | 1891 横浜市立十全医院 | 1898 横浜市立十全看護婦養成所 | 1944 横浜市立医学専門学校 | 1949 横浜医科大学 | 1944 横浜市立医学専門学校 附属十全病院 | 1949 横浜医科大学病院 | 1954 横浜市立大学 医学部病院 | 1991 医学部附属浦舟病院 | 2000 医学部附属市民総合医療センター | 2005 附属市民総合医療センター | 2005 附属病院 |
|------------|------------|-------------|---------------|-------------------|-----------------|-------------|------------------------|---------------|-------------------|----------------|----------------------|-------------------|-----------|

大学院沿革

医学研究科(1961～)、経営学研究科・経済学研究科(1970)・総合理学研究科(1989)・総合理学研究科・連携大学院/生体超分子システム科学専攻(2001)・国際文化研究科(1993)を統合して国際総合科学研究科(2005～2009)を設置、国際総合科学研究科を再編し、都市社会文化研究科、国際マネジメント研究科、生命ナノシステム科学研究科を設置(2009～)、医学研究科看護学専攻修士課程(2010～)、生命医科学研究科(2013～)、医学研究科看護学専攻博士後期課程(2018～)、データサイエンス研究科(2020～)、ヘルスデータサイエンス専攻博士後期課程(2023～)

「消費者」の存在を 意識した研究

花王株式会社で「におい」の研究をしている大野木さん。ごにおい成分の特性や動きを科学的に研究し、技術開発や製品への応用を目標としています。私の扱うテーマはどちらかというと『悪臭』ですが、それをなくすだけではなく、消費者のためにどうすれば付加価値が加えられるかを考えています。学生の頃の研究と違うのは、消費者を意識することです。今は研究が社会にどう役立つかを考えるようになりました。

「先生方や職員の方が学生一人ひとりに真摯に向き合ってくられる点です。関わってくださった方々のおかげで、自分も今、研究者の道歩むことができています。」

PROFILE.

Name 大野木 涼乃 Suzuno Onogi
Class of 2022年度卒
Course 生命ナノシステム科学研究科
物質システム科学専攻
(国際総合科学部 理学系卒業)

花王株式会社
研究開発部門

「消費者」の存在を意識した研究



ヨコ知り!



学生時代のEPISODE

学生時代は日々研究活動に取り組みながら、サッカー部のマネージャーとしても活動し、仲間との絆を深めた。写真は卒業式の時(中央が大野木さん)。

活躍する卒業生



INTERVIEW 2025

「通信会社の強みをいかし、位置情報データや決済データなど、さまざまなデータを用いて、企業や自治体向けにサービスを提供しています。例えば、特定のお店にどんな人が訪れているかを分析したり、観光客の行動を可視化することで、企業の意思決定を支援します。2024年の能登半島地震では、回線から取得できるデータを活用し、避難所の混雑状況を把握することで、被災者への支援にも役立てることができました。」

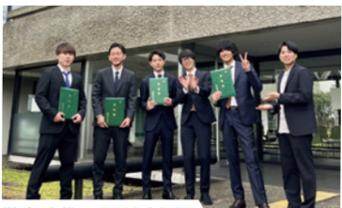
「自分の興味を深め、挑戦しやすい環境が整っています。先生方のサポートも手厚く、全国から集まる仲間と刺激を与え合って成長できます。皆さんもYCUで自分の可能性を広げてください!」

データで新たな価値を生み出し、 未来の社会をより良くしたい

PROFILE.

Name 畑中 駆 Kakeru Hatanaka
Class of 2022年度卒
Course 国際マネジメント研究科
国際マネジメント専攻
(国際総合科学部 経営科学系卒業)

株式会社NTTドコモ
データプラットフォーム部
データプロダクト担当



学生時代のEPISODE

国際総合科学部から大学院に進学するタイミングでコロナ禍となったが、困難な状況を中国研究室の同期の仲間たちと支え合った(右から2人目が畑中さん)。



ヨコ知り!



学生時代のEPISODE

剣道部で東日本医科学学生総合体育大会に参加。勉強だけでなく、スポーツを通じて成長できる場として、多くの医学生がこの大会を目指して日々練習を重ねている(中央が園田さん)。

PROFILE.

Name 園田 真樹 Masaki Sonoda
Class of 2008年度卒
Course 医学部 医学科

横浜市立大学大学院医学研究科・
横浜市立大学附属病院
脳神経外科学・助教
YCU Frontier Research Fellow
YCUてんかんセンター

最先端の医療によって 患者の未来に光を照らしたい

「YCUでの学びを通じて、自分の可能性を広げることができると実感しています。ぜひ、YCUを進学の選択肢のひとつとして考えてみてください!」

「YCUには海外派遣プログラムがあり、国際的な視野を広げる機会が得られる一方で、2つの附属病院での臨床実習を通じて地域医療について深く学ぶことができます。グローバルな視点とローカルな実践を融合させた『グローバル』な医学・医療を学べる環境が整っているのがYCUの魅力です」と園田さんは語る。

「人生が変わりました」と感謝の言葉をいただく瞬間に、仕事の大きなやりがいを実感します。」

「それでも、治療後の患者さんから『人生が変わりました』と感謝の言葉をいただく瞬間に、仕事の大きなやりがいを実感します。」



ヨコ知り!

PROFILE.

Name 中島 温乃 Yoshino Nakajima
Class of 2020年度卒
Course 医学部 看護学科

横浜市立大学附属
市民総合医療センター
看護部



学生時代のEPISODE

硬式テニス部の同期は今も仕事の相談に乗ってくれる大切な仲間。「病院内で見かけると元気が出ます!」とのこと(右から2人目が中島さん)。



ヨコ知り!

「救急車で運ばれてきた方の心肺蘇生や治療を行い、入院につながるのが役目です。事故で大けがを負った方や、心筋梗塞・脳卒中の方のカテーテル治療にも関わっています。患者さんと長く関わっていることは少ないですが、退院されたらと聞くのと、あの時の判断が正しかったのだと実感できてうれしいです!」

一刻を争う現場で 命をつなぐ仕事

横浜市立大学附属市民総合医療センターの初療室で、救急患者の初期対応をしている中島さん。

「実習を大学附属病院で学べることは大きな魅力で、就職後も職場にすくなくはじめました。救急では多くの診療科と関わりますが、知っている先生が多いので、コミュニケーションも取りやすいです!」

横浜で学び、経験を積み、 看護で地域に貢献していきたい



「患者さんの家族全体とどう関わることができるかを学びました。今の仕事で、患者さんの背景を理解し、退院後の支援までも含めた適切な看護を提供する際に役立っています!」

「卒業論文では『家族看護』について研究した中島さん。」

学部・学科／大学院・研究科

現代のトレンドを網羅した
5学部6学科・6研究科

| 学部 | 学科 | 学位 | 入学定員 | キャンパス | 特色 | 専任教員数 | 取得できる資格 | 卒業必要単位数 | 大学院 |
|------------|------------|--------------------|------|------------------|--|-------|----------------------------|---------|---|
| 国際教養学部 | 国際教養学科 | 学士(学術) | 270 | 金沢八景 | 多様な学問群の中から多角的な視点と豊かな教養を育み、確かな外国語運用能力と思考力で、現代社会や都市の課題を解決できる人材を育成 | 44名 | 教員免許 (英語) | 124 | 都市社会文化研究科 ■都市社会文化専攻 修士(学術)／博士(学術) |
| | | | | | | | | | 国際マネジメント研究科 ■国際マネジメント専攻 修士(経営学)／修士(経済学) 博士(経営学)／博士(経済学) |
| 国際商学部 | 国際商学科 | 学士(経営学) 学士(経済学) | 260 | 金沢八景 | グローバル企業に必要な経営管理能力や新事業を創造する企画立案力等「実学」を意識した、社会に変革をもたらすグローバル・リーダーを育成 | 29名 | - | 124 | 国際マネジメント研究科 ■国際マネジメント専攻 修士(経営学)／修士(経済学) 博士(経営学)／博士(経済学) |
| 理学部 | 理学科 | 学士(理学) | 140 | 金沢八景 鶴見 舞岡 | 物理学、化学、生物学を基盤とし、生命現象を原子・分子・細胞・個体それぞれのレベルで解明し、融合的に物質科学と生命科学に挑んでいける人材を育成 | 71名 | 教員免許 (理科) | 124 | 生命ナノシステム科学研究科 ■物質システム科学専攻 ■生命環境システム科学専攻 修士(理学)／博士(理学) 生命医科学研究科 ■生命医科学専攻 修士(理学)／博士(理学) |
| データサイエンス学部 | データサイエンス学科 | 学士(データサイエンス) | 60 | 金沢八景 | 数理や統計といった専門的な教育のみならず、文系理系にとられない広範な教育でビッグデータから「未来の芽」を見つけ出し、新たな社会的価値を創造するデータサイエンスのスペシャリストを育成 | 20名 | - | 124 | データサイエンス研究科 ■データサイエンス専攻 ■ヘルスデータサイエンス専攻 修士(データサイエンス)／ 修士(ヘルスデータサイエンス)／ 博士(データサイエンス)／ 博士(ヘルスデータサイエンス) |
| 医学部 | 医学科 | 学士(医学) | 93 | 金沢八景 福浦 | 豊かな人間性と深い知性を有し、生涯にわたって研鑽を続け、医学・医療を通して、人類の福祉に貢献できる人材を育成 | 198名 | 医師 国家試験 受験資格 | 201 | 医学研究科 ■医科学専攻 修士(医科学)／博士(医学) |
| | | | | | | | | | 看護学専攻 修士(看護学)／博士(看護学) |
| | 看護学科 | 学士(看護学) | 100 | 金沢八景 福浦 | 高い教養と専門性だけでなく、他者の痛み、喜びも理解できる豊かな人間力で未来の看護をけん引できるリーダーを育成 | 33名 | 看護師 保健師 国家試験 受験資格 | 124 | 医学研究科 ■看護学専攻 修士(看護学)／博士(看護学) |

※専任教員数は「客員教員」「特別契約教員」を除く。 ※専任教員数は2025年4月1日現在。

学部教育のカタチ

YCUの学部教育は、教養教育、グローバル教育、地域での学び、そして専門教育を柱として展開していきます。これにより高めた総合力を、それぞれの専門教育において応用・深化させていく、そんな体系的な教育プログラムがYCUにはあります。



教養教育の中心

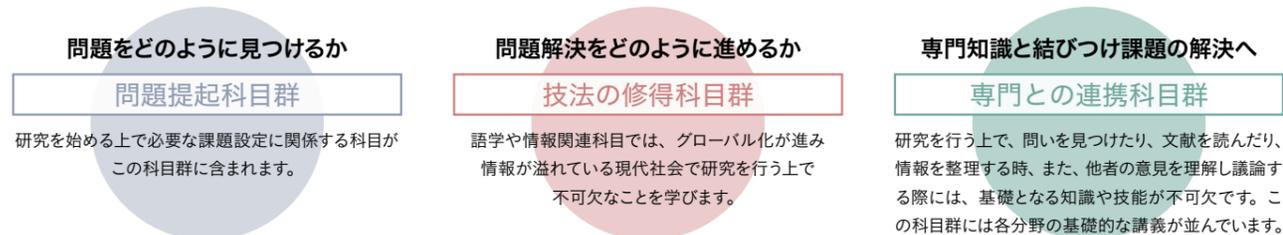
YCUの共通教養

自ら問題を発見し、解決する力を修得する

教養教育は、他大学に先がけて展開した文理融合型のアプローチをベースとした、共通教養科目が中心となります。共通教養は、YCUの教育の土台であり、大学で学ぶための基盤となる技法や自ら問題を発見し解決する力を修得することを目的としています。全学部の学生は、1年次より高い英語力の育成や、データ活用方法の修得、論文執筆の基本作法などさまざまな分野を学び、さらには問題の発見・課題解決の力を修得していきます。



■ 共通教養の3つの科目群



共通教養3つの科目群

★ 必修科目

問題提起科目群

★YCUリベラルアーツ入門

| 総合講義 | 特定のテーマについて、さまざまな講師を招いて話を聞き、現状や問題点を多面的に学ぶ授業です。 | | | | |
|--|--|--|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 国際関係論 環境論入門 まちづくり学入門 | <ul style="list-style-type: none"> 連携特別講座「国際協力の実践と課題」 企業家に学ぶ | <ul style="list-style-type: none"> 生命科学と環境 医療と社会 Education in the World | <ul style="list-style-type: none"> 現代社会とジェンダー 鎌倉・金沢を知る 横浜学事始 | <ul style="list-style-type: none"> 多文化社会を考える データサイエンス入門 国際マネジメント | <ul style="list-style-type: none"> 物質と生命 |

多文化交流ゼミ

| 多文化交流ゼミ | Practical English 合格者を対象に、英語で議論し、英語で考えを表現することを学びます。 | | | |
|---|--|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 現代アジア・太平洋地域事情 横浜の中にある外国人コミュニティ | <ul style="list-style-type: none"> 外国人の日本研究 世界で報道される日本 | <ul style="list-style-type: none"> Comparing Education in the World Japan from Foreigner's View | <ul style="list-style-type: none"> Global Communications | |

実践科目

| 実践科目 | 実践することで、考えるだけではわからなかった問題を理解するきっかけをつかみます。 | | | | |
|--|--|---|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> キャリア形成実習 キャリアデザイン プレ・インターンシップ キャリア教育プログラム インターンシップ 横浜の産業と企業理解 | <ul style="list-style-type: none"> 健康スポーツ実習 春期スポーツ種目 秋期スポーツ種目 ウエルネスライフ実習 | <ul style="list-style-type: none"> 自然体験実習 ボードセーリング ヨット シーカヤック | <ul style="list-style-type: none"> 長期海外研修 短期海外研修 福祉施設実習 中期海外研修 中期海外留学 | <ul style="list-style-type: none"> 特別講座 留学科目・共通教養A～H | |

技法の修得科目群

| ゼミ | 語学 | | | |
|--|--|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ★ 教養ゼミ ★ 基礎ゼミ (国際教養学部・国際商学部・理学部のみ必修) | <ul style="list-style-type: none"> ★ Practical English ★ Essential Practical English | <ul style="list-style-type: none"> ★ Advanced Practical English I～VII ★ 看護英語 | | |
| <h4>初習外国語</h4> <ul style="list-style-type: none"> ドイツ語教養基礎 I ドイツ語教養基礎 II ドイツ語教養実践 | <ul style="list-style-type: none"> フランス語教養基礎 I フランス語教養基礎 II フランス語教養実践 | <ul style="list-style-type: none"> 中国語教養基礎 I 中国語教養基礎 II 中国語教養実践A～C | <ul style="list-style-type: none"> 韓国・朝鮮語教養基礎 I 韓国・朝鮮語教養基礎 II 韓国・朝鮮語教養実践A～C | <ul style="list-style-type: none"> ※国際教養学部 教養学系のみ必修 スペイン語教養基礎 I スペイン語教養基礎 II スペイン語教養実践 |
| <ul style="list-style-type: none"> 日本語入門 I 日本語入門 II | <ul style="list-style-type: none"> 日本語 I 日本語 II 日本語 III | <ul style="list-style-type: none"> 日本語実践 文章表現A～C 口頭表現A～C | <ul style="list-style-type: none"> アカデミックジャパニーズA アカデミックジャパニーズB | <ul style="list-style-type: none"> 留学生のキャリアデザインA 留学生のキャリアデザインB ※留学生・帰国生対象 |

情報関連科目

| | | | | |
|-----------|---------|----------|----------|----------|
| ★ 情報リテラシー | DSリテラシー | プログラミングA | プログラミングB | プログラミングC |
|-----------|---------|----------|----------|----------|

専門との連携科目群

| 基礎科学講義 | 専門への接続科目 | | | |
|---|---|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 心理学入門 文化研究入門 思想研究入門 文学研究入門 健康スポーツ科学入門 倫理学入門 歴史学入門 世界史概説 社会学入門 国際社会学入門 政治学入門 経営学入門 I 経営学入門 II 法学入門 経済学入門 I 経済学入門 II | <ul style="list-style-type: none"> 簿記入門 I 簿記入門 II 民法入門 日本国憲法 ビジネス統計 I ビジネス統計 II ゲーム理論入門 経営管理論 微分と積分 微分と積分演習 行列とベクトル 行列とベクトル演習 物理学概説A 物理学基礎演習A 物理学概説B 物理学基礎演習B | <ul style="list-style-type: none"> 化学概説A～C 生物学概説A～C 基礎物理学実験 基礎化学実験 基礎生物学実験 統計と確率 科学の倫理学 英米文化理解A 英米文化理解B 英語学入門A 英語学入門B イギリス文学入門 アメリカ文学入門 | <ul style="list-style-type: none"> English Grammar for Higher Education Introduction to Psychology Topics in Modern Psychopathology 欧米研究入門 課題探究科目 Japanese Globalization Comparative Context History of Modern Japan 現代社会の見方 歴史から今を知る 企業の経済学 ライフサイクルの経済学 病気を科学する 哲学入門 社会調査法入門 芸術入門 | <ul style="list-style-type: none"> 日本史概説 アジア研究入門 データサイエンス倫理 国際文化論 人間科学論 国際社会論 都市政策・まちづくり論 リメディアル講座 基礎物理学 基礎生物学 医学科基礎物理学 地理学入門 |

※ データサイエンス学部、医学部の学生が履修する共通教養科目の科目名については、上記の科目名と一部異なるものがあります。国際教養学部、国際商学部、理学部の再編に伴う科目名変更によるものですので、履修する内容は、5学部共通です。上記科目は2025年4月1日現在となります。今後、科目名が変更となる可能性があります。

共通教養必修科目

問題提起科目群

■ YCUリベラルアーツ入門

この講義では、リベラルアーツの根幹を成す領域のゲスト講師による講演や、本学の卒業生による学びの体験や現在の活動についての講演を聴きます。また、講義の中で提起された課題について「教養ゼミ」で議論することでさらに理解を深めていきます。



技法の修得科目群

■ 教養ゼミ

専門の異なる教員2名と学部の異なる学生（約32人）で少人数クラスを形成し、その中で自由に活発に議論を交しながら「大学での研究の第一歩」を踏み出します。教養ゼミでは、自らの疑問から「問い」を設定し、研究・発表していく過程を通して、研究の基本形を理解していきます。さらに、大学のレポートの書き方にも力を入れ、担当教員の添削指導で、アカデミック・ライティングの技能を高めていきます。



技法の修得科目群

■ Practical English

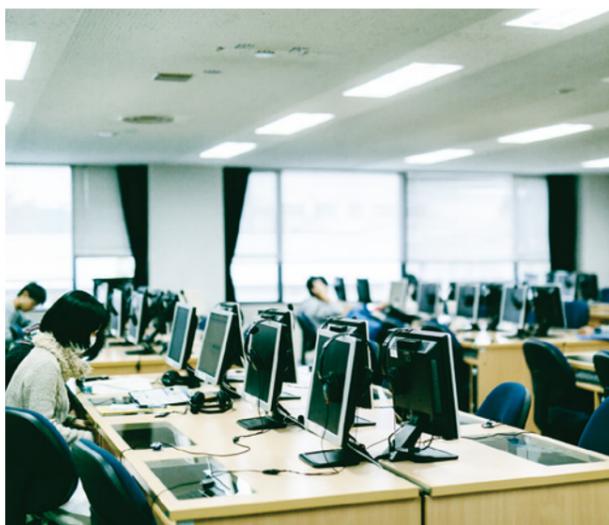
Practical Englishの目的は、大学における知的活動を英語によって行えるレベルのコミュニケーション能力を身に付け、それぞれの専門分野を学んでいくためのスターティングポイントに立つことにあります。授業はすべて英語で進められ、英語を使うこと、英語で考えること、英語で学ぶことを修得します。TOEFL-ITP500点相当を最低達成水準として設定しているほか、単位の修得には、授業への8割以上の出席も求められます。個別カウンセリング等をはじめ、さまざまな学生のサポートはPractical English Center（18ページ参照）が行います。



技法の修得科目群

■ 情報リテラシー

YCUでは全学生が1年次に情報リテラシーを学びます。コンピュータや情報ネットワークの用途や動作原理などの基礎知識、情報倫理、情報セキュリティを学んだ上で、表計算ソフトを用いた実践的な実習課題を行います。データの活用方法を学び、学生生活に必要な基本的スキルを身に付けます。



他学部の学生と自分との視点の違いを

実感できることが楽しい

国際教養学部 国際教養学科 2年
神奈川県立川和高等学校卒

松尾 日菜子 Hinako Matsuo

専門との連携科目群「経営学入門II」が特に興味深かったです。組織戦略やマーケティングについて学び、その知識は経営や起業にとどまらず、サークルやボランティアなど、自分が行っているさまざまな活動から今後の生き方にまで幅広く応用できると感じました。この科目は、国際商学部の学生が必修科目として受講しているので、商学的観点からの意見を聞くことも貴重でした。このように、共通教養科目では他学部の学生の意見を聞く機会も多く、同じテーマでも自分とは異なる視点に触れられる点がとても面白いです。



将来まで支えになる学びを

身に付けることができた

データサイエンス学部 データサイエンス学科 2年
神奈川県 私立桐蔭学園高等学校卒

穂坂 琉愛 Ryuu Hosaka

専門との連携科目群「思想研究入門」の授業では、SNSの台頭やAI技術による人間の身体的发展など、現代人が直面するアイデンティティの問題について考え、情報過多な世界でも考えることを止めないことの大切さを学びました。将来、医療ITの分野で働きたい自分にとって、非常に有益な授業でした。共通教養科目では、自分の専門科目以外も学べるため、視野を広げることができます。学年が上がると専攻する学問の専門性はより深まりますが、今後も他の分野に少しでも目を向けて、インスピレーションや感動を得ていきたいです。



これから大学で学んでいくための

土台を固められる

医学部 医学科 2年
東京都 私立田園調布雙葉高等学校卒

中野 凜子 Rinko Nakano

問題提起科目群総合講義「生命科学と環境」や「物質と生命」では、入学前から関心があった生命に関わる分野を深く学ぶだけでなく、関連するテーマにも視野を広げることができました。ひとつのテーマを多角的に考えることにより、新たな気づきを得られることも実感しました。このような共通教養科目では、大学での学びや研究に向き合う心構えを学べたと思います。レポートの書き方など、大学生として学ぶ土台固めもできました。他学部の学生と共同で授業を受けるため、自分と違う新鮮な考えに出合える点も魅力です。



領域横断教育

YCUならではのキャリア形成プログラム

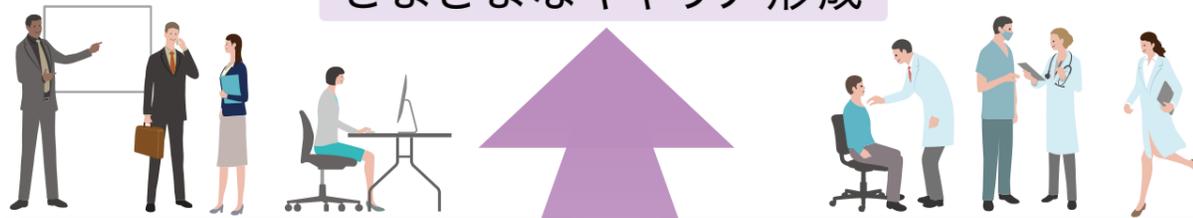
YCUでは、共通教養の学修を基盤にして、国際教養学部、国際商学部、理学部、データサイエンス学部、医学部に分かれて専門を究めています。その専門性を究めるとともに、将来のキャリア形成を視野に入れ、体系化した知識を身に付けた人材を育成するための各種プログラムが設けられています。

■ 領域横断型プログラム

将来のキャリア形成を視野に入れて、学部や学科といった専門分野の枠を超え、各プログラムで設定された複数の分野を組み合わせることで学び、体系だった知識を身に付けることができます。

※2025年3月時点のプログラムです。2026年度は、変更になる可能性があります。

さまざまなキャリア形成



理数マスター育成プログラム

対象学部：理学部・データサイエンス学部

将来の科学技術を支える人材の育成を目指した研究活動支援プログラムです。理数分野の自主研究を主体として、専任教員の指導による能力向上のための体系的な教育を提供します。

医療イノベーション人材育成プログラム

対象学部：国際教養学部・国際商学部・理学部・データサイエンス学部

日本の医療・介護分野を支える医療経営の専門人材を育成することを目的としています。医学部を抱え、また横浜市との密接なつながりがあるYCUだからこそ実現したプログラムでもあります。

起業家育成プログラム

対象学部：国際教養学部・国際商学部・理学部・データサイエンス学部

ビジネスプラン作成のスキルを身に付けるとともに、自身のアイデアを実現したいという強いパッションを発露できる人材を育成するプログラムです。

リーダーシップ開発プログラム

対象学部：国際教養学部・国際商学部・理学部・データサイエンス学部

チーム・組織の目標達成のために各々のメンバーが主体的に行動する、世界標準のリーダーシップの習得を目指すプログラムです。

YCUグローバル・スタディーズ・プログラム

対象学部：国際教養学部・国際商学部・理学部・データサイエンス学部

原則英語のみで行われる授業を通じて、グローバルな課題を解決したり、多角的にアジア・日本を分析したりすることができる人材を育成するプログラムです。

ADEPTプログラム

対象学部：全学部

データを読み、説明し、扱うことができる基礎的能力を身に付け、学修した数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能を基に、適切な活用方法等を体系的に修得できるプログラムです。

共通教養

国際教養学部

国際商学部

理学部

データサイエンス学部

医学部

実践的英語学習

● 理数マスター育成プログラム

理学部 理学科 2年
神奈川県立柏陽高等学校卒

余 芳洲 Hoshu Yo

1年次は研究活動をしていくうえで基礎となる論文の書き方や、研究者が守るべき倫理観などを学びます。さらにプレゼンテーションの方法を学習し、いかに簡潔な言葉で伝えるべきかということや、資料スライドに図版やアニメーションを盛り込んで視覚的にも伝わる工夫をするなど、研究発表で大切な「分かりやすく伝える力」を身に付けることができました。2年次からの本格的な研究室活動が楽しみです。



● 医療イノベーション人材育成プログラム

国際商学部 国際商学科 4年
北海道 私立札幌光星高等学校卒

今井 優希 Yuki Imai

経営学の基礎から医療経営の専門的な内容まで幅広く学びました。さらに、医療機関合同インターンシップに参加し、病院経営者との対話を通して現場の課題を知る機会を得ました。デジタル人材の不足、多職種のマネジメントの難しさなど、日本の医療機関が抱える問題を深く理解できたと同時に、その現状に危機感を強く抱くようになりました。経営と医療の知識をさらに深め、将来は医療業界の課題解決に貢献したいです。



● 起業家育成プログラム

国際商学部 国際商学科 4年
神奈川県立柏陽高等学校卒

大谷 遥菜 Haruna Otani

経済学や経営学など、実学の基礎となる講義を幅広く受けた後、起業に関する専門性の高い講義を履修しました。起業家の方々のお話を直接伺い、社会貢献とビジネスの成長が両立可能であることを学びました。また、チームでビジネスプランの作成をする講義では、戦略や収支を考える中で、基礎講座で得た知識が大いに役立ちました。インプットした知識をいかに企画立案する、その楽しさとやりがいも実感することができました。



● リーダーシップ開発プログラム

国際商学部 国際商学科 4年
青森県立弘前高等学校卒

金澤 優理愛 Yuria Kanazawa

特講科目で1カ月間カナダの大学へ留学しました。現地や他国からの留学生と一緒に、ビジネス関連の授業を受講するものです。留学を通し、多様性のあるチームの下で、一人ひとりがリーダーシップを発揮する難しさと重要性を実感できました。大学卒業後は、グローバルに事業を展開する食品企業で、商品開発に関わりたくと考えています。国を超えた多様な人材が集まるチームで主体的に行動し、社会に良いインパクトを残したいです。



● YCUグローバル・スタディーズ・プログラム

国際教養学部 国際教養学科 3年
大阪府立箕面高等学校卒

間瀬 菜花 Nana Mase

留学生と英語で日本の社会問題を議論する「Japan from Foreigner's View」の授業や、国際機関での海外調査実習などの経験を通して、多面的な考え方や英語論文を作成するスキル、調査と発表の能力などが身に付きました。多文化視点の重要性を理解し、理論と実践の両面から考える力を培いました。今後はインドの農村に行って女性支援の活動に取り組む予定です。学びをいかして国際社会へ貢献したいと考えています。



● ADEPTプログラム

国際教養学部 国際教養学科 4年
神奈川県 私立捜真女学校高等学部卒

吉原 茉那 Mana Yoshihara

データサイエンス学部の先生などから、社会調査の方法やデータ分析の基礎、プログラミングの手法を学びました。肥満度を表す体格指数のBMIや、図形の面積を出すプログラムを体得し、自分で作りたいプログラムを書くことも経験できました。社会調査の実践としては、中華街でアンケートやインタビューを実施、分析をもとに中華街の周遊コースを作成しました。こうしたデータ分析は、自分が普段学ぶ国際教養学部でも必要な知識だと実感しました。



ヨコハマで学ぶ

横浜という地域が学びの場となる

日本最大の基礎自治体としてさまざまな産業が集積する大都市・横浜には、多くの都市型の課題や地域の課題が存在しています。YCUでは、共通教養科目やゼミ、ボランティア活動等を通じて、行政や企業、地域住民とも関わり合いながら、社会課題への実践的なアプローチを学ぶことができます。

■ 教員と学生が取り組む地域貢献活動

防災をテーマにまちづくりを学ぶ 地域や行政と連携したワークショップ

国際教養学部・石川永子ゼミでは、「防災まちづくり」をテーマに、高齢化や人口減少等の地域を、国内外の被災地や日常のまちづくりの現場で学びます。例えば、親子で楽しく学べる防災ゲームを考案したり、三浦市にある城ヶ島で津波避難に関するワークショップを行ったり、能登半島地震で被災した珠洲市でのボランティアや復興の話し合いの現場で学んだりしています。



科学倶楽部 「親子で楽しむ科学実験」の企画・運営

学生団体「科学倶楽部」の学生たちによる「親子で楽しむ科学実験」は、YCUのエクステンション講座（市民公開講座）として、毎年開催。地域の小学生に人気の講座となっています。講座の運営はすべて学生たちが担い、「サイエンスの楽しさや面白さを伝える」をテーマに、理科が苦手な子どもも、得意な子どもも、ひらめきや感動を味わえる実験を企画しています。



■ カリキュラムとして学修する地域志向科目

総合講義(まちづくり学入門)

前半は国際教養学部都市学系の教員を中心に、大都市横浜の歴史や都市計画・まちづくり・防災・観光などについての講義が行われます。後半は横浜のまちづくりの第一線で活躍するプロフェッショナルの方々にゲスト講師に招いて、「まちづくり」の現場で行われているさまざまな取り組みとその課題について知り、大学での学びとの関連性について考えていきます。



総合講義(鎌倉・金沢を知る)

YCUが所在する金沢区は、鎌倉まで歩いて行くことができる、中世都市鎌倉と歴史を共有する場所です。授業では、この鎌倉・金沢地域の歴史・地理・文学・芸術に関する知識や、地域や場所の捉え方を各分野の専門家から学びます。神奈川県立金沢文庫や鎌倉歴史文化交流館を訪れて直に文化財に接することで、地域社会の課題について歴史的・文化的観点から解決する力を養う人材を育てます。



■ 地域貢献センター | 地域貢献センターは、地域の団体・企業・行政等の皆さまと本学の「知」をつなげる窓口です。



地域貢献センター長
国際教養学部 教授
三輪 律江 Norie Miwa

近年、複雑化する社会においては、多様な主体がお互いに連携しながら社会の質を高め、生活や社会の構造をより良くしていくことが求められています。このような社会からの要請を受けて、大学も研究・教育と共に「地域貢献」をひとつの使命とするようになりました。地域貢献センターでは、本学の「知」と地域の皆さまをつなげる窓口として、研究・教育と一体となった双方向による地域連携を目指します。今後も地域と共に学び、市民に貢献する大学として取り組んで参ります。

■ キャンパスタウン金沢

YCUと関東学院大学と金沢区が連携し「大学の活力を生かしたまちづくり」に取り組んでいます。

2024年度の活動

- ① 大学生と地域の方が一緒に過去の写真の場所を歩き、まちの楽しみ方を見つける「金沢八景時層写真プロジェクト」
- ② 子どもに場や機会を提供し、身近な地域社会で子どもが育っていく土壌づくりをする「みんなでまち保育プロジェクト」
- ③ 訪問授業により医療をより身近に感じてもらう「金沢区内の小中学生向け医療訪問授業」
- ④ 小児がんの治療などで頭髪を失った子どもたちに無償で医療用ウィッグを提供する「ヘアドネーション活動」等



医学部YDC (Yokohama Dream Catchers) による永谷小学校での訪問授業

ボランティア
支援室サイト



地域貢献

■ さまざまなボランティア活動

ボランティア支援室主催の協働プロジェクト

海洋ゴミ問題やリサイクルを通して 「環境を守る活動」



● 学生団体
「Clover(シーラバー=sea+lover)」
海洋プラスチックゴミを減少させ海洋環境を改善させるために、株式会社シードと協働して、キャンパス内で使い捨てコンタクトレンズの空ケース(プリスター)の回収活動などを行っています。

フードロス削減に向けた 「食のサイクル活動」



フードロス削減のため、公益社団法人フードバンクかながわなどから賞味期限間近の食品等を引き取り、学生に配布する一方、学生のフードドライブ活動などを支援し「食のサイクル活動」を進めています。

学生ボランティア団体のサポート

医学部があるYCUならではの ボランティア活動



● 学生団体「one by ONE」「Hair for Children」「医学部YDC(Yokohama Dream Catchers)」「東洋医学研究会」等

本学では、医学部系ボランティア団体の活動も活発です。ボランティア支援室では、団体の活動を活動資金面や、補助金・助成金情報の提供、イベント等の周知などでサポートしています。

ボランティア活動

横浜マラソン2024

一般ボランティアはゴールしたランナー約23,000人分の靴ひもに付いた計測タグの靴ひもを担当し、救護ボランティアはFR[®](初期対応)隊として活動。さらに、応援パフォーマンスや給水パフォーマンスを学生3団体が行いました。



※FR=First Responder

第13回アジア・スマートシティ会議

46カ国から2,200名超が来場した国際会議で、受付や案内・誘導、インタビューなどの活動に従事。単なるボランティアにとどまらず、セッションの視聴やブース見学、来場者との英語を使ったコミュニケーションなど貴重な経験ができました。



■ ボランティア支援室

学生の自主的なボランティア活動を支援

学生の「地域に貢献したい」という意欲や、地域での主体的な学びをサポートするため、学生の活動希望と地域からの要請(ニーズ)のコーディネート、ボランティア情報の収集と発信、また初めてボランティアに参加する学生が安心・安全に活動できるようサポートを行うなど、地域社会でのボランティアを通じて成長する学生の側面的支援を行っています。

ボランティア情報の
収集と発信

ボランティア活動の
コーディネート

ボランティア
活動の側面的サポート

ボランティア
支援室のサポート

ボランティア支援室学生スタッフ
「Volunch」との連携

ボランティア証明書の発行

■ ボランティア支援室学生スタッフ「Volunch」

「Volunch」は、ボランティアの楽しさを発信し、①地域とYCU生をつなげる、②ボランティアに参加することで自らの経験値を上げる、という2つの目標を掲げ活動しています。

2024年度は、4月に新入生に向けた「オンライン履修相談会」を実施し、夏休みには地域の子どもたちとの交流を楽しむ「寺子屋塾 西大道」に参加しました。またグループごとの活動として、リサイクルグループは、いらなくなった本やもう読まなくなった本を持ち寄って交換する「本マッチ」を浜大祭で開催。食の支援グループは、年末に金沢八景駅前で「フードドライブ」を実施し、集まった食品等を公益社団法人フードバンクかながわに寄附しました。国際交流・地域交流グループは金沢国際交流ラウンジと連携して、区内に住む外国人の方々にもちを知ってもらうイベント「みかん狩り」などに参加しました。



グローバル教育

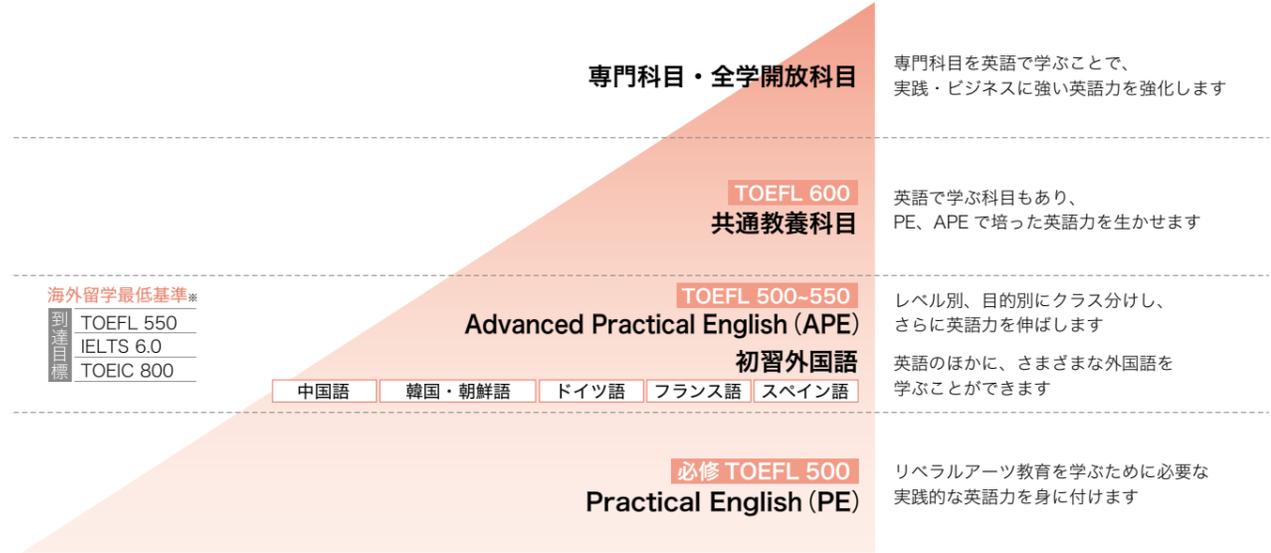


グローバル教育
サイト

キャンパスで学ぶ | 世界を相手にする語学力と適応力を手に入れる

YCUは、皆さんの語学力を試す場としてさまざまな機会を用意しています。海外への留学もそのひとつですが、段階的な科目の履修などにより、キャンパスの中で自分の語学力を伸ばすこともできます。海外からYCUへやって来る留学生との交流により留学への意欲を醸成します。

■ 語学教育体系



※本基準は、海外の大学で専門科目の単位取得を目指す場合の国際的な基準です。本学学内における海外留学・研修プログラムの基準と異なる場合があります。

■ キャンパスにいながらのグローバル体験



サマープログラム

海外の協定校等から学生を受け入れ、一緒に授業を受けグループワークをしたり、研究活動を行ったりするプログラムです。英語による国際交流という目的だけでなく、さまざまな考え方や発想に触れ、授業等の理解も深まります。



英語開講科目

YCUでは、英語で学ぶ科目を120科目以上開講しており、YCU生と外国人交換留学生が共に学んでいます。また、海外から講師を招いての英語での集中講義も開講しています。



チューター制度

履修登録のアドバイスやキャンパス案内など、YCU生が留学生の大学生活をサポートする制度です。こうした国際交流をきっかけとして、海外留学を目指す学生も多くなります。



PEセンターサイト▶

Practical English Center (PEセンター)

PEセンターでは学生の英語修得を支援するために、個別カウンセリング等による学生へのサポートや、マンツーマンでのスピーキング練習 (One-on-One Communication)、魅力あふれるネイティブ講師と気軽に英会話を楽しめるコミュニケーション・アワーなどを設けています。さらに、医学部がある福浦キャンパスの分室では、看護師として勤務経験のあるネイティブ講師が学習を支援します。「入学後も英語力を高めたい!」「到達目標に達するか不安……」など、さまざまな思いを抱く受験生の皆さんも、YCUのPEセンターが用意するプログラムやサポートを活用して主体的に学べば、きっと夢の実現に近づけるはず!



海外で学ぶ | 海外で学び、実践する、挑戦する

YCUでは、期間や内容などの異なる多種多様な留学を大学公式プログラムとして位置付けています。これらのプログラムに参加した場合、経済的な支援や、YCUでの履修との両立など、さまざまな面で大学からサポートを得ることができます。

■ YCUの留学プログラム

| 期間 | 種類 | 特徴 | 経費※ |
|--------------------|-------------------|---|---------------------------------|
| 短期留学 (2週間~半年以内) | 第2クォータープログラム | 必修科目が配置されていない2年次前期後半(第2クォーター:6~9月)を利用して、渡航先での学部授業やサマースクール、語学研修など多様な海外体験ができるプログラムです。 | 1カ月: 45~120万円 |
| | 短期語学研修 | 夏季休業期間や春季休業期間に、海外大学付属の語学学校等で語学研修を受けられます。本学の協定校で実施されるプログラムや、学外推奨団体が紹介するプログラムがあります。 | 1カ月: 80万円~ |
| 長期留学 (半年~1年) | 交換留学プログラム | YCUが提携した海外協定校に留学し、専門分野を学修します。学だけでなく、その土地で暮らすという貴重な経験ができることも交換留学の大きな魅力です。 | 半年: 70万円~ 1年: 120万円~ |
| | セメスター留学プログラム | 欧米圏の大学で、半年(1セメスター)~1年間、現地の学部授業を受講します。世界のトップレベルの大学を含む各海外大学で授業を受講することで、学びに対する積極性やコミュニケーション能力が養われます。 | 半年: 300万円~ 1年: 500万円~ |
| その他 | 海外フィールドワーク支援プログラム | ゼミや授業の一環として、海外調査や実習を現地で実際に行うプログラムです。[1週間程度] | 大学ウェブサイト および募集要項 をご確認ください |
| | 海外キャリア教育プログラム | 海外の企業・機関等で実際に就業体験ができるプログラムです。[3週間] | |
| | 医学科プログラム | 42 ページ参照 | |
| | 看護学科プログラム | 47 ページ参照 | |

※経費は、学費・渡航費・食費などの生活費の概算です。また、渡航先や期間により異なります。なお、2024年度の高経レートに基づき掲載しているため、今後変動する可能性があります。

■ 留学のための経済支援

留学するとなるとやはりそれなりの費用が必要となりますが、皆さんの渡航を実現させるための経済的支援として、本学では補助金や助成金の支給、奨学金制度があります。

1) YCU100募金「ビジネス人材育成・留学支援プロジェクト」奨学金

創立100周年に向けたプロジェクトのひとつとして、以下の奨学金制度があります。

はまぎんGlobal Challenge

横浜銀行から本学100周年プロジェクトへの寄付金より奨学金を支給します。海外インターンシップ、海外ボランティア、海外長期・短期留学など既存のプログラムだけでなく、学生の海外における積極的なチャレンジを支援します。

世界大学ランキングTOP100大学留学支援

セメスター留学に応募し、かつ世界大学ランキングTOP100位(過去5年以内)の大学に留学する学生に奨学金を支給します。

2) 大学からの補助金および後援会からの助成金

3) 海外留学のための奨学金情報紹介・応募支援

地球規模の課題を海外の現場で学び、考え、分析し、解決する アカデミックコンソーシアム

YCUは、アジア各国のトップ大学と協働で、主にアジア各都市の課題解決を目指す国際的な大学間ネットワーク「アカデミックコンソーシアム (IACSC®)」を2009年に創設し、横浜市およびJICA・アジア開発銀行 (ADB)・CITYNET等の国際的機関と連携しながらグローバルな研究や教育を推進しています。YCUの学生は、IACSCの活動に積極的に参加し、海外大学の学生との交流や現地での学びの機会を得ることで、国際化する社会で要求される行動力、交渉力、思考・分析力、発信力を身に付けています。

※ IACSC: International Academic Consortium for Sustainable Cities

アカデミックコンソーシアム (IACSC)



海外で学ぶ 海外で実践する

世界各国の大学・研究所等と国際的な交流を推進するYCUでは、その中の33の国・地域の大学と学生間の交流を深めています。

国際交流実績

| | | | | | |
|--|---|--|---|---|--|
| 世界各国 33 の国・地域 (2025年3月現在) | 海外交流大学・ 研究機関数 82 大学・研究所 (2025年3月現在) | 短期留学生 派遣数 142 人 (2024年度) | 長期留学生 派遣数 57 人 (2024年度) | 外国人留学生数 158 人 (2024年11月現在) | 海外 フィールドワーク 参加者数 108 人 (2024年度) |
|--|---|--|---|---|--|

YCUの国際交流ネットワーク | 世界33の国・地域の大学・研究機関等とのネットワーク



| ヨーロッパ | 北アメリカ | アジア・オセアニア |
|--|--|---|
| イギリス ● アベリストウィス大学 ● キール大学 ● グラスゴーカレドニアン大学 ● ド・モントフォート大学 ● ボーツマス大学 ● リーズ・トリニティ大学 イタリア ● カターニャ大学 ● バドヴァ大学 ● ペネチア大学 オーストリア ● ウィーン大学 オランダ ● ユトレヒト大学 スイス ● チューリヒ大学 スウェーデン ● オレブロ大学 ● ハルムスタッド大学 スペイン ● サンティアゴ・デ・コンポステラ大学 ● ナバラ大学 ● マドリッド・コンプルテンセ大学 | セルビア ● ベオグラード大学 ドイツ ● ゲーテ大学 ● フライブルク大学 トルコ ● 中東工科大学 ハンガリー ● エトヴェシュ・ローランド大学 フィンランド ● オウル大学 フランス ● ケッジビジネススクール ● ストラスブール大学 ● パリ・シテ大学 ● リヨン第3大学 ベルギー ● ルーヴェン・カトリック大学 ● ルーヴェン・カトリック大学 ポーランド ● ヤゲウォー大学 ルーマニア ● ブカレスト大学 | アメリカ ● ウィーバー州立大学 ● カリフォルニア大学サンディエゴ校 (UCSD) ● サウスカロライナエイキン大学 ● サザン・メイン大学 ● サンディエゴ州立大学 (SDSU) ● サンフォード・バーナム・プレビス医学研究所 ● シンシナティ小児病院 ● セントクラウド州立大学 ● ニューヨーク州立大学ストーニブルック校 ● フロリダ国際大学 ● 米国管理会計士協会 (IMA) ● ラホヤアレルギー免疫研究所 ● ローワン大学 カナダ ● ヒューロン大学カレッジ ● プリティッシュコロンビア大学 (UBC) ● マニトバ大学 ● メモリアル大学 ● モントリオール大学 シンガポール ● シンガポール国立大学 タイ ● ウボンラチャクニ大学 ● カセサート大学 ● タマサート大学 ● チェンマイ大学 フィリピン ● フィリピン大学 ベトナム ● ハノイ大学 ● ベトナム国家大学 ● ホーチミン市校 ● 貿易大学 マレーシア ● マレーシア科学大学 中国 ● 上海交通大学 ● 上海師範大学 ● 北京師範大学 台湾 ● 国立虎尾科技大学 ● 国立成功大学 ● 国立政治大学 ● 国立台湾科技大学 ● 国立台湾師範大学 ● 長庚大学 ● 東海大学 韓国 ● 仁川大学校 ● 光州科学技術院 ● 高麗大学校 ● (世宗キャンパス) ● 淑明女子大学校 ● 世明大学校 ● 延世大学校 インドネシア ● ハサヌディン大学 ネパール ● クオバ工科大学 オーストラリア ● キャンベラ大学 |
| 中南米 | アフリカ | |
| ブラジル ● リオグランデ・ド・スル連邦大学 メキシコ ● アメリカス・フェブラ大学 (UDLAP) | ウガンダ ● マケレレ大学 ザンビア ● ザンビア大学 | |

※上記協定校以外にも、本学の学生が経験を積める大学や機関があります。

● 交換留学プログラム

■ 留学先 ヤゲウォー大学 (ポーランド)
 ■ 期間 2023年9月～(9カ月間)

自分が変わっていった
 歴史に触れ、世界を歩き



ヨコ知り!

国際教養学部 国際教養学科 4年
 宮城県 私立仙台白百合学園高等学校卒
及川 夏歩 Kaho Oikawa

移民やジェンダー問題に関心があり、社会政策が進むヨーロッパで学ぶため、ポーランドに留学しました。現地の大学はさまざまな国の留学生と一緒に英語で学ぶグローバルな環境でした。第二次世界大戦中のホロコースト体験者のトラウマを扱った講義が特に印象的でした。歴史を語り継ぐ重要性を学び、かつてのユダヤ人居住区をフィールドワークしたり、アウシュビッツ・ビルケナウ強制収容所にも足を運んだりしました。普段は寮で生活し、ロンドンへ初めての一人旅も経験しました。海外で1人暮らしをしたことで、以前より自信を持って行動できるようになりました。今後も英語力を磨き続けて、将来にいかしたいです。

● 交換留学プログラム

■ 留学先 ド・モントフォート大学 (イギリス)
 ■ 期間 2023年9月～(9カ月間)

グローバル教育
 異文化の中で手に入れた
 挑戦する強い力



ヨコ知り!

国際商学部 国際商学科 2024年度卒
 静岡県立浜松西高等学校卒
達城 順 Jun Tatsushiro

留学先ではコンサルティングの授業を受けました。地元の博物館が抱える課題の解決として、子どもの入場者を増やすアイデアを考え、実際に施設スタッフに提案し、クラス内でも高評価を得られました。学校や寮で日本人は僕だけでしたが、ナイジェリアやウクライナなど世界中から集まった仲間と学び、刺激を受けました。親しくなったウクライナの学生から国のリアルな状況を聞くなど、世界の現実を知る貴重な機会でした。授業以外ではフットサルサークルへの参加や、大好きなサッカー観戦が思い出に残っています。留学で身に付いたチャレンジ精神を忘れず、将来は海外で働くことも視野に、自分を磨いていきたいです。

● 第2クォータープログラム

■ 留学先 ビクトリア大学 (カナダ)
 ■ 期間 2024年8月～(3週間)

手に入れた3週間
 「英語を話す勇氣」を



ヨコ知り!

理学部 理学科 3年
 神奈川県立小田原高等学校卒
進村 心花 Manaka Shimura

理学部の授業と両立するため、8月に出発する留学に参加しました。現地の大学では3週間の英語授業を受け、現地の学生と観光やアクティビティも楽しみました。授業では初めて英語のプレゼンテーションを経験し、準備は大変でしたが、発表後の達成感は大きかったです。また、ホストファミリーの手厚いサポートのおかげで、安心して生活できました。留学を通じて、英語に対する抵抗感がなくなり、「完璧な語学力」よりも「話そうとする姿勢」が大切だと学びました。今後もYCUのPEセンターなどで積極的に英語を使い、留学生をサポートする活動にも関わっていきたくたいです。

● はまぎんGlobal Challenge

■ 留学先 ハノイ貿易大学 (ベトナム)
 ■ 期間 2023年7月～(12カ月間)

海外での経営戦略を
 リアルな体験とともに学んだ



ヨコ知り!

国際マネジメント研究科
 博士前期課程 2年
 神奈川県 横浜市立横浜商業高等学校卒
中丸 俊太 Shunta Nakamaru

海外に進出する企業の経営課題を解決し、現地でのビジネス展開を支える人材になることが、自分の留学の目的でした。実際、ハノイ貿易大学のMBA課程で学びながら、カカオ農園、日本企業のベトナム進出をサポートするコンサルティング会社、メーカー企業という異なる3業種でインターンも経験しました。ベトナムの大学では社会主義国の組織管理や経営戦略を学びながら、現地のビジネス体験を通じて、労働環境や成長戦略マネジメントなどを実践的な形で学べたのは、貴重な経験でした。大学院で海外進出した日本企業のあり方などを研究していますが、この留学で研究に役立つ貴重な結果が得られたと感じています。

School of International Liberal Arts

国際教養学部

学部サイト



国際教養学科 / 教養学系・都市学系

学位 ■ 学士(学術) 取得できる資格 ■ 教員免許(英語)

国際教養学部では、英語をはじめとする外国語の運用能力、文化的背景に基づいた多様性への理解、理論を実践に応用する能力、そして共感を獲得し課題を解決するためのコミュニケーション能力を身に付けます。また、確かな専門性に裏打ちされた論理的思考力を身に付ける「教養学系」と、世界と日本の都市や地域の課題に実践的に取り組む「都市学系」という2つの学系での学びを通して、真のグローバル人材を育てます。

特色01 専門性の深化と学問の融合による深い思考力と柔軟な発想力の獲得

1年生全員が国際社会論、国際文化論、人間科学論、都市政策・まちづくり論という学問入門科目を受講。2年次からは、教養学系と都市学系の2学系、4つのクラスター(科目群)の中から自ら選択した分野の学びを深めます。さらに関連するクラスターの学問領域を融合的に学ぶことによって、深い思考力と柔軟な発想力を身に付けていきます。

特色02 理論に裏打ちされた実践力を鍛える

国連やJICA、海外、国内の大学、自治体等と連携したフィールドワークや共同研究で学びのカタチを変えていく体験をします。講義で学んだことを現実の課題に当てはめて思考したり、国内外の同世代の学生とディスカッションしたりという体験を通して、理論と実践の両面から学びを深めていきます。

特色03 グローバル時代の未来を切り開くコミュニケーション能力

少人数で行われるゼミでの発表や討論、講義中に課されるプレゼンテーションなど、経験を積むことによって、コミュニケーション能力を磨いていきます。高度な英語運用能力の修得に加えて、国際教養学部教養学系では英語以外の言語を学ぶ「初習外国語」を必修としています。2年次前期後半から夏休みにかけて海外体験をすることを強く推奨しています。以心伝心ではなく、ことばとことばの積み重ねによって相互理解をする体験がグローバル時代の未来を切り開いていく力へとつながります。

学部長 Message



豊かな教養と高度な思考力を備えたグローバル人材の育成!

国際教養学部長
大島 誠 Makoto Ooshima

国際社会では教養に基づき、歴史的背景を俯瞰した上で、多角的な視野から課題を発見し、深い思考力と高い対話能力で課題解決できる人材が求められています。そこで必要とされるのは、外国語能力を含むコミュニケーション能力、多様な社会・文化的背景の理解、自文化の相対化、人間理解、根拠に基づいて主体的に行動できる能力です。国際教養学部では、自ら選んだクラスター(科目群)を中心に、専門性の深化と学問の融合による深い思考力と柔軟な発想力を実践する能力を鍛えます。少人数制のゼミや海外留学、国内外におけるフィールドワーク等も用意されています。国際教養学部での学びを通して、グローバル時代の未来を切り開いていく国際人を目指しましょう。

4年間の学びのイメージ

| | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 |
|------|--------------------------------|--|---|--------------------------------|
| 特長 | 国際教養学部の入門科目を学び、基礎を固める | 専門性を深めるため教養学系、都市学系のどちらかを選択し、専門性を確立するために4つのクラスター(科目群)からひとつを選択する | 海外留学、インターンシップ、英語で行われる専門科目等を履修し複文化・複言語を体験。専門を深めると同時に、学問間の融合を図る | 学修をさらに深化させ、4年間の集大成として卒業論文を作成する |
| 教養学系 | | 地域調査実習・海外調査実習・海外文化実習 サマープログラム・副演習 | 初習外国語 | 卒論演習 大学院科目の早期履修 |
| 都市学系 | | 都市課題実習I 都市課題実習II | 海外都市課題実習・地域課題実習・インターンシップ実習 | |
| 共通 | 教養ゼミ/基礎ゼミ Practical English | 全学開放科目 共通教養科目 | Advanced Practical English | |
| 領域横断 | | 領域横断型プログラム | | |

国際教養学部専門科目一覧

| | | | | | | | | | |
|------------|---|---|--|--|---|--|---|---|---|
| 国際文化 | 日本文化史A ドイツ文化論A Linguistics (Discourse Studies) アメリカ文化論 日本近代文化論 中国古典文化 英米言語文化A 演劇文化論 Elements of Fiction | 日本文化史B ドイツ文化論B 表象文化論 日本近代文学 中東社会・文化論 英米言語文化B 音楽文化論 European Culture in English | 中国文化論A 言語学 第二言語習得論 British Literature in English 日本古典文学 アメリカ史 翻訳文化論A 映像文化論 映像文化論 英語構文研究 | 中国文化論B アングロ・アメリカ文芸批評論 日本応用言語論 British Literature in English 日本近代現代史A American Literature in English 翻訳文化論B ヨーロッパ史 英語構文研究 | 東南アジア史 日本語文学 欧米の歴史 日本近代現代史B 西学古典学A 社会言語学A メディア英語 | アメリカ文学A イギリス文学A 日本思想史 日本文化論 Japanese Literature in English Explication of American Literary Text A 西洋古典学B 社会言語学B ロシア・東欧の文化 | アメリカ文学B イギリス文学B 日本古典文化論 歴史学 東アジア史A Explication of American Literary Text B 英文学史 理論言語学 日本メディア史 | イギリス文化論 フランス語文学 イスラム地域史A 現代美術論 東アジア史A Explication of American Literary Text B 英米文学講読 日本メディア史 | フランス語文学 イスラム地域史B コミュニケーション論 東アジア史B Literary Text B 英語学 東洋文化 |
| 人間科学 | 哲学的人間論A 心理学研究法 オルタナティブ教育論 | 哲学的人間論B 身体運動科学 インクルージョン論 | 現代倫理学 現代教育論 体育学研究法 | 臨床心理学A 社会福祉論 スポーツ文化論 | 臨床心理学B 宗教学論 世界の福祉 | 臨床心理学C 東洋思想 高齢社会論 | 発達心理学 認知心理学 | 現代思想 社会心理学 | 文化人類学 運動生理学 |
| 国際社会 | 現代社会論 メディア社会論 男女共同参画社会論 平和構築論 農村振興論 Japan and International Cooperation | 社会学 社会理論 南アジア研究 家族社会学 国際機構論 | エスニシティ論 東南アジア研究 中国研究 ジェンダー論 Global Issues Learning Global Cooperation in English | アジア地域論 東アジア社会経済論 ヨーロッパ社会論 文化社会学A 芸術社会学 International Cooperation in English | 国際協力論 国際移住論A アメリカ社会論 文化社会学B メディア・リテラシー論 International Cooperation in English | 国際開発学 国際移住論B 社会開発論 韓国朝鮮研究 メディア・リテラシー論 International Cooperation in Urban Development | グローバル政治論 海洋法 市民社会論 地域開発論 ラテンアメリカ研究 | 国際法I 多文化社会論 経済地理学 国際経済社会学 アフリカ社会学 国際人権法 | 国際法II 国際関係論 グローバル公共政策論 日本外交論 |
| 都市政策とまちづくり | 都市計画論 都市環境政策論 不動産マネジメント論 環境まちづくり論 | 都市解析 地方自治論 CSR実践論 文化政策論 | 地域活性化論 都市空間形成論 非営利組織論 地域保健医療福祉論 | 都市と暮らし 地域CSR論 観光政策論 労働経済学 | 比較社会システム論 都市デザイン論 比較地方自治 環境経済学 | 行政法I 参加・協働論 横浜の都市づくり 資源経済学 | 行政法II 都市財政論 都市経済学 環境ISO論 | 住環境計画論 資源循環論 労働生活政策論 品質ISO論 | 地球環境政策論 都市防災計画論 港湾都市論 日本の都市計画と都市開発 |

外国語・実習・専門ゼミ

| | | | | | | |
|--------------------------------|------------------------------|--------------------------------|----------------------------|----------------------------------|-------------------------------|--|
| 専門外国語A(フランス語) 専門外国語B(フランス語) | 専門外国語A(ドイツ語) 専門外国語B(ドイツ語) | 専門外国語A(スペイン語) 専門外国語B(スペイン語) | 専門外国語A(中国語) 専門外国語B(中国語) | 専門外国語A(韓国・朝鮮語) 専門外国語B(韓国・朝鮮語) | アジア諸言語I(タイ語) アジア諸言語II(タイ語) | アジア諸言語I(ヘルンジャ語) アジア諸言語II(ヘルンジャ語) |
| 地域調査実習 都市課題実習I | 海外文化実習 都市課題実習II | 海外調査実習 地域課題実習 | プレゼミア 海外都市課題実習 | プレゼミB インターンシップ実習 | 演習I キャンパス起業体験実習 | 演習II 演習III 卒論演習I 卒論演習II 卒業論文 |

専門性を深める学系とクラスター

国際教養学部は、「教養学系」と「都市学系」という2つの学系を持ち、少人数で行われるゼミを中心にそれぞれの専門性を深めていきます。その専門性を確立するために4つのクラスター(科目群)を設けています。学生はそこから必ずひとつのクラスターを選択し、集中的に学ぶ「専門の軸」を持ちながら、関連する学問領域の科目まで融合的に学修することができます。＜国際文化＞＜人間科学＞＜国際社会＞＜都市政策とまちづくり＞の4つのクラスターを専門の軸として、上記の専門科目における各カテゴリーから関連する科目を履修していきます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS SDGsへの取り組み

「模擬アフリカ連合会議」に挑戦! 世界への扉を開く貴重な経験

2024年に開催された「第1回 模擬アフリカ連合(AU)会議」(UNDP、JICA、各国大使館などが共催)に国際教養学部の学生4人が参加しました。会議には国内外の学生100人以上が参加し、参加者は自身が担当するアフリカ各国の代表になりきって国際交渉を重ね、アフリカ諸国が実施すべき政策や今後の方針をまとめた合意文書「模擬AU決議」を作り上げました。今回のアジェンダは「グリーンエコノミー・気候変動」で、参加者は各国代表の立場・視座から、環境や開発に関するSDGsをいかに達成していくかを考え、議論する、貴重な学びの機会となりました。(西海 洋志准教授)



■ Pick up 授業

比較地方自治

新垣 二郎

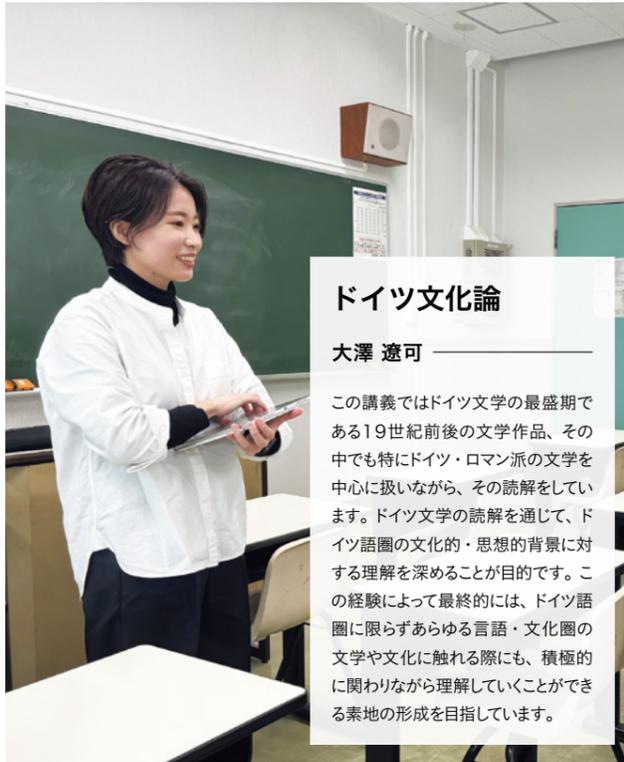
日本の地方自治の仕組みが海外諸国と比較してどのような特徴を持っているのか、そして、現在の仕組みがどのような歴史的経緯をたどってきたのか、という2つのテーマを扱います。地方自治の仕組みを多角的に学ぶことは、これからの地域社会や都市のあり方、まちづくりや自治体サービスの方向性を考える上でとても重要です。公務員志望の方はもちろん、民間就職を考えている方にもぜひ履修してほしい講義です。



ドイツ文化論

大澤 遼可

この講義ではドイツ文学の最盛期である19世紀前後の文学作品、その中でも特にドイツ・ロマン派の文学を中心に扱いつつ、その読解をしています。ドイツ文学の読解を通じて、ドイツ語圏の文化的・思想的背景に対する理解を深めることが目的です。この経験によって最終的には、ドイツ語圏に限らずあらゆる言語・文化圏の文学や文化に触れる際にも、積極的に関わりながら理解していくことができる素地の形成を目指しています。



多角的に学んでいく
語学を磨きながら国際開発について



ココ知り!

国際教養学部 国際教養学科 3年
愛知県 名古屋市立名東高等学校卒
鈴村 祐太 Yuta Suzumura

今は国際開発学を専攻するゼミに所属し、農業、教育、観光、地域振興などさまざまなアプローチから途上国支援の方法を研究しています。2年次の夏休みには、夏季短期語学研修プログラムを利用してアメリカに留学し、語学力を磨きました。幅広い分野が学べるYCUで、今後も自分の知見をさらに広げていきたいです。

横浜という都市やまちづくりについて
学びを深められる環境



ココ知り!

国際教養学部 国際教養学科 3年
神奈川県 横浜市立横浜商業高等学校卒
高橋 桃花 Momoka Takahashi

「都市」について興味があり、この学部を選びました。都市環境やまちづくりについてさまざまな視点から学んでおり、中でも出身地横浜のまちづくりは興味深いものがあります。2年次の夏休みにはアイルランドへ語学留学にも行きました。今後は1、2年次の学びを基礎に、自分の興味関心を探究していきたいです。

■ 主な科目紹介

日本近現代史

日本の将来を考える上で、日本の過去（歴史）を振り返ることは重要です。本講義では、幕末に開港し近代化の道を駆け上がった日本が、当時の国際情勢のなかで他国とどのように関わり今に至ったのかを、文化史にもスポットを当て学びます。

都市防災計画論

国内外の自然災害について、避難行動、避難生活、仮住まい、復興と時系列に地域社会の動きと課題を学びます。また、特別な配慮が必要な人々への対応についても学びます。授業はグループワーク等のアクティブラーニングを通して学びます。



研究者一覧▶

■ 教員一覧 (2025年4月時点)

| | | | | | | | | | | | |
|--|-----|--------------------------------------|-----|--------------------------------------|-----|------------------------------------|-----|--------------------------------------|-----|--------------------------------------|-----|
| 地球環境政策論 青 正澄 Masazumi AO | 教授 | 都市環境政策論 青木 えり Eri AOKI | 准教授 | 地方自治論 新垣 二郎 Jiro ARAKAKI | 准教授 | 言語学 有井 巴 Tomoe ARII | 准教授 | 観光政策論 有馬 貴之 Takayuki ARIMA | 准教授 | 現代倫理学 有馬 斉 Hitoshi ARIMA | 教授 |
| 都市防災計画論 石川 永子 Eiko ISHIKAWA | 准教授 | 演劇文化論 岩崎 徹 Toru IWASAKI | 准教授 | グローバル政治論 上村 雄彦 Takehiko UEMURA | 教授 | 臨床心理学 浮田 徹嗣 Tetsuji UKITA | 准教授 | 発達心理学 江上 園子 Sonoko EGAMI | 准教授 | ドイツ文化論 大澤 遼可 Haruka OSAWA | 講師 |
| 都市財政論 大島 誠 Makoto OOSHIMA | 教授 | イギリス文化論 大西 寿明 Toshiaki ONISHI | 准教授 | 東アジア史 乙坂 智子 Tomoko OTOSAKA | 教授 | アジア地域論 小野寺 淳 Jun ONODERA | 教授 | 東南アジア史 柿崎 一郎 Ichiro KAKIZAKI | 教授 | 日本近現代史 金山 泰志 Yasuyuki KANAYAMA | 准教授 |
| 哲学の人間論 川瀬 和也 Kazuya KAWASE | 准教授 | 都市解析 後藤 寛 Yutaka GOTO | 准教授 | 不動産マネジメント論 齊藤 広子 Hiroko SAITO | 教授 | コミュニケーション論 佐藤 響子 Yoko SATOH | 教授 | 身体運動科学 塩尻 智之 Tomoyuki SHIOJIRI | 准教授 | 日本近代文学 庄司 達也 Tatsuya SHOJI | 教授 |
| 都市デザイン論 鈴木 伸治 Nobuharu SUZUKI | 教授 | 国際機構論 高橋 力也 Rikiya TAKAHASHI | 准教授 | 多文化社会論 滝田 祥子 Sachiko TAKITA | 教授 | 英語学 土屋 慶子 Keiko TSUCHIYA | 教授 | 現代社会論 角田 隆一 Ryuichi TSUNODA | 准教授 | エスニシティ論 坪谷 美歌子 Mioko TSUBOYA | 教授 |
| アングロ・アメリカ文芸批評論 中谷 崇 Takashi NAKATANI | 准教授 | 都市計画論 中西 正彦 Masahiko NAKANISHI | 教授 | 国際関係論 西海 洋志 Hiroshi NISHIKAI | 准教授 | 社会福祉論 根岸 弓 Yumi NEGISHI | 准教授 | フランス文化論 平松 尚子 Naoko HIRAMATSU | 准教授 | 中国文化論 藤井 得弘 Tokuhiko FUJII | 准教授 |
| 日本文化史 松本 郁代 Ikuyo MATSUMOTO | 教授 | 参加・協働論 三輪 律江 Norie MIWA | 教授 | 中東社会・文化論 山崎 和美 Kazumi YAMAZAKI | 准教授 | 教育心理学 山田 剛史 Tsuoyoshi YAMADA | 教授 | 欧米の歴史 山根 徹也 Tetsuya YAMANE | 教授 | 国際協力論 吉田 栄一 Eiichi YOSHIDA | 教授 |
| 社会理論 渡會 知子 Tomoko WATARAI | 准教授 | ヨーロッパ統合論 和仁 道郎 Michiro WANI | 准教授 | | | | | | | | |

■ 卒業後の主な進路

最新情報はこちら▶



大学院紹介

都市社会文化研究科

Graduate School of Urban Social and Cultural Studies

都市社会文化専攻

私たちの暮らしに身近なテーマをはじめ、現代社会に迫るさまざまな課題を総合的に捉え探究する力、課題の解決を実践する力を身に付けます。大学が立地する横浜を基盤とした「ローカルな視点」、そして対極にあるかのように見える「グローバルな視点」、さらに人文社会科学や自然科学等の多分野の領域を横断する「知」を獲得しながら、現今の世界や社会が当面する課題に向かいます。また、大学院科目早期履修制度（5年一貫教育）を利用することで、本学卒業後プラス1年で大学院を修了することが可能です。

修了後の主な就職先 ● 小田急電鉄、時事通信社、藤沢市役所、三菱地所レジデンス 等



School of Economics and Business Administration

国際商学部

学部サイト



国際商学科

学位 ■ 学士(経営学)・学士(経済学)

国際商学部では、ビジネスの共通言語である経営学・経済学を世界標準で学び、グローバル企業に必要な経営管理能力、新事業を創造する企画立案力、マネジメントの高度な実学能力を養います。ビジネスの現場で役立つ確かな英語力も身に付け、国内外のインターンシップやフィールドワーク、海外大学とのサマープログラムなどの多彩な学習で、学問的な理論・知識に加えて実践力を高める教育を行い、実業界や公的機関で活躍できる職業人を育成します。

特色01 交換留学生と共に英語で専門科目を学ぶ

グローバル企業で活躍するために欠かせないのは、仕事にいかせる実践的な英語力です。国際商学部では、英語による専門科目を交換留学生と共に学びます。

特色02 実践力を養うビジネスコンテスト

国際商学部では、これからのビジネスには欠かすことのできないグローバルな視点と企画立案力を、入学後の早い段階から意識できるような学びがあります。その成果として、ビジネスコンテストで顕著な実績を誇る学生を輩出し、多くの企業から高い評価を得ています。さらにアントレプレナーシップ論や同実践論などの科目も開講しており、学生の起業家精神を育成する環境も整っています。

特色03 データ分析、医療経営等 多様な専門性を育成

新規ビジネスの世界では、膨大なデータを分析する能力が必要です。国際商学部では、文系では国公立大学において珍しい、文部科学省によるMDASH(数理・データサイエンス・AI教育プログラム) 応用基礎レベル認定プログラムを提供しており、opt-out方式での原則履修を求めています。また、高齢化社会では医療に関する課題に経営的な視点からの解決が強く求められており、医学部やデータサイエンス学部と連携し、「医療経済学」、「医療政策学」、「医療イノベーション経営管理論」等特色ある科目を設け、時代が求める専門性も育成しています。

学部長 Message



人と進んで交わり、共に資質を高める

国際商学部長
和田 淳一郎 Junichiro Wada

1882年の横浜商法学校を創基とする国際商学部の歴史は、横浜市の誕生や、横浜商業専門学校設立を創立の年とする本学の歴史より古いものです。

国際標準の経済学・経営学だけでなく、自然言語(TOEIC600等)、人工言語(数理・データサイエンス・AIの素養)、会計言語を少人数で学び、仲間づくりがしやすい環境です。海外雄飛の機会が多く、学内でも一部専門科目は英語で学びます。必修のゼミを中心にインゼミやコンペなどのグループ活動が奨励されます。卒論は、幅広いテーマが許されていますが、公開審査です。European bachelorの伝統に合うものであり、自分の立論を科学的論拠に基づいて主張できるリーダーが育っています。

4年間の学びのイメージ

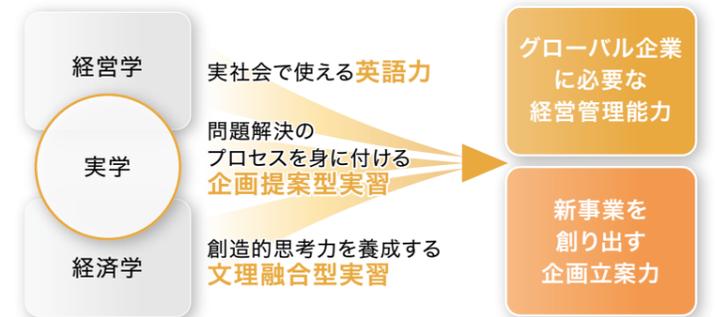
| | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 |
|------|----------------------|---|---|--------------------------------|
| 特長 | 国際商学部の入門科目を学び、基礎を固める | 経営と経済の基礎理論を学び、2年次後期から専門ゼミに所属し、専門領域を決定する | 経営と経済の応用科目からグローバル企業に必要な経営管理能力や企画立案力を学び、専門領域を深める | 学修をさらに深化させ、4年間の集大成として卒業論文を作成する |
| 共通 | 教養ゼミ/基礎ゼミ | 英語による専門科目(基礎) 海外研修・学外実習 前期には、海外研修・学外実習として、 ●海外サマーセミナー参加 ●海外企業インターンシップ等積極的に海外体験を推奨する期間があります。 | 英語による専門科目(応用) 交換留学 ●3年後期から半年~1年交換留学に出ても、4年で卒業できる仕組みがあります ●国際商学部のみ学部間交換留学もあります。 | 大学院科目の早期履修 |
| 領域横断 | 領域横断型プログラム | | | |

国際商学部専門科目一覧

| 専門科目 | プレゼミA | 演習I | 演習II | 演習III | 卒論演習I | 卒論演習II | 卒業論文 |
|---|---|--|--|---|---|--|-------------------------|
| ミクロ経済学I・II 経済統計I・II 都市経済学 金融論I・II Topics in Microeconomics 企業論 経営戦略論 マーケティング論 経営財務論 International Business Global Business Strategy Global Marketing 商業簿記I・II 租税法 行政法I・II コーポレート・ガバナンス Introductory Accounting I・II サマープログラム | マクロ経済学I・II 計量経済学I・II 地理情報システム論 金融システム論 Topics in Data Analysis ベンチャービジネス論 企業戦略論 マーケティングリサーチ コーポレート・ファイナンス | 情報の経済学I・II 公共政策 環境経済学 ファイナンス理論 Advanced Topics in Microeconomics 中小企業論 経営戦略論 消費者行動論 証券市場論 Global Management in Japanese Companies Global Business Administration Global Innovation Management 会計学原論I・II 監査論 民法・債権I・II ビジネス法務 Intermediate Accounting 企画立案型実習A・B | ゲーム理論 財政学I・II 資源経済学 国際経済学I・II Japanese Economy 多国籍企業論 人的資源管理論 経営情報論 リスクマネジメント論 Global Leadership Global Organization Theory Global Service Management 財務諸表分析I・II コストマネジメント論 会社法 金融商品取引法 Topics in Accounting A・B アントレプレナーシップ論 | 契約理論 公共選択論 経済政策I・II 国際金融論I・II Economic Analysis I・II・III 経営史 組織文化論 生産管理論 公共経済論 Business Economics Global Human Resource Development Japanese Industry 税務会計論 国際税務戦略 医療イノベーション経営管理論 | 景気循環論 公共経済学 産業組織論 経済学 Topics in Economics A・B Economic Analysis I・II・III 組織行動論 生産管理論 公共経済論 Business Economics Global Human Resource Development Japanese Industry 税務会計論 国際税務戦略 医療イノベーション経営管理論 | 経済成長論 地方財政学 医療経済学 Economic Analysis I・II・III ビジネスエコノミクス 組織行動論 生産管理論 流通ロジスティクス論 Business Economics Global Human Resource Development Japanese Industry 税務会計論 国際税務戦略 医療イノベーション経営管理論 | 労働経済学 社会保障論 医療政策学 |

専門性を高める学修と海外留学

1年次は英語以外に経済学、経営学、統計学、会計学などの入門科目をクラス指定で学び、2年次には国際標準の経済学・経営学の基礎理論をしっかり学び、2年次後期には海外での体験を積む期間も設けています。2年次後期には必修の専門ゼミが始まります。国際商学部では、さまざまな企業や自治体と連携した「企画提案型実習」、医学部やデータサイエンス学部とも連携した「文理融合型実習」も設けています。国際商学部指名の交換留学制度もあり、国際標準の経済学・経営学の力を持って3年後期から1年間の交換留学をしても、4年での卒業と優れた就職活動が可能です。また、大学院科目の早期履修制度を利用した研究科進学者の中からは、一流国立大学の教壇に立つ方も出ています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS SDGsへの取り組み

水産エコラベルの促進に向けた活動など(柴田ゼミ)

経済価値と社会価値の両立を重視し、消費者の心理と行動に基づいたマーケティング活動にチャレンジしています。横浜南部市場の㈱横浜食品サービスと連携し、水産エコラベル「マリン・エコラベル・ジャパン(MEL認証)」普及に向け、効果的な伝達方法を検証し、「魚の減少」「魚食の拡大」の問題に取り組んでいます。また、食品ロス削減を目指し、同社との商品開発や、横浜中華街発展会協同組合(食べ残しの持ち帰り「打包(ダバオ)」促進)、ローソン・横浜市大生協(余剰商品の期間限定販売プロモーション)等と連携しながら研究活動を進めています。



①魚食拡大・食品ロス改善に向けた商品の試作品
②学生による店頭調査の様子

■ Pick up 授業

アントレプレナーシップ論

伊藤 智明

アントレプレナーシップは、起業家に限らず、あらゆる人々に関わるテーマです。皆さんはアントレプレナーシップをどのようなのだと考えますか？ 私は「いまの世の中の常識をもっと優しいものに変える営み」のことだと思います。アントレプレナーシップ論で受講生は自らの起業家的な経験を語るようになります。皆さんが語りやすいように、起業家の語りから制作した絵画を鑑賞しながら、それぞれの経験を語ってもらいます。



Advanced Topics in Microeconomics

大谷 秀平

開発・製造に時間も金もかけた自慢の商品。どんな売り方でいくら値をつけるべきか？ 一企業の最適な販売戦略を見つけるためには、もちろん競合企業の戦略も無視できませんし、そもそも消費者が自社商品を選んでくれる動機を理解することが不可欠です。これら企業・消費者という「個人の経済行動」を「ミクロ経済学」は分析します。この授業では、学部必修のミクロ経済学で得た知識を前提に、さらに深い内容を英語で学びます。



産学連携など実践的な形でビジネスを学べる

国際商学部 国際商学科 3年 東京都 私立山脇学園高等学校卒

鈴木 佐和子 Sawako Suzuki

マーケティングや経営戦略を学びつつ、ビジネスに必要な英語力も磨ける学部です。私が所属する経営戦略論のゼミでは産学連携の活動を行っていて、今は姫路の和菓子店との新商品開発に携わっています。ビジネスの力で社会課題解決に貢献することが私の夢で、そのための理想的な経営方法を今後も探究したいです。




ココ知り!

大学で出合ったマクロ経済学を研究し続けたい

国際商学部 国際商学科 4年 神奈川県立横浜平沼高等学校卒

矢野 律 Ritsu Yano

経済統計や計量経済学の授業では統計ソフトの使い方を学び、データ分析や図表作成ができるようになりました。マクロ経済のゼミでは、金利や株価決定の仕組み、中央銀行の役割などを、英語の教科書で学んでいます。今後は大学院の国際マネジメント研究科に進学予定で、マクロ経済学をもっと突き詰めていきたいです。




ココ知り!

■ 主な科目紹介

国際会計論

国際商学部が求めている3つの素養（英語×専門知識（財務会計）×アナリティカル・スキル）を併用し、国際財務報告基準を適用している欧州企業の財務情報を用いて、実践的に分析する方法を身に付けることを目的としています。

Global Business Strategy

経営戦略について、理論とともに主に米国の最新の企業事例を用いて学びます。将来、皆さんが戦略を立案・実行できるような学びを提供します。英語での講義となりますが、サポートしていきますので一緒に頑張りましょう。

■ 教員一覧 (2025年4月時点)

| | | | | | |
|---|--|---|--|---|---|
| アントレプレナーシップ論 伊藤 智明 准教授 Chiaki ITO | ビジネスエコノミクス 岩佐 朋子 准教授 Tomoko IWASA | 民法・物権 大澤 正俊 教授 Masatoshi OSAWA | 産業組織論 大谷 秀平 講師 Shuhei OTANI | 都市経済学 大塚 章弘 教授 Akihiro OTSUKA | 医療経済学 加藤 弘陸 准教授 Hiroataka KATO |
| 財政学 鞠 重鎬 教授 Joongho KOOK | 管理会計論 黒木 淳 教授 Makoto KUROKI | 人的資源管理論 小泉 大輔 准教授 Daisuke KOIZUMI | 公共経営論 佐藤 亨 准教授 Toru SATO | マーケティング論 柴田 典子 教授 Noriko SHIBATA | 計量経済学 白石 小百合 教授 Sayuri SHIRAIISHI |
| 金融論 随 清遠 教授 Qingyuan SUI | 経営戦略論 高木 俊雄 教授 Toshio TAKAGI | 税務会計論 高橋 隆幸 教授 Takayuki TAKAHASHI | 国際経済学 田場 弓子 准教授 Yumiko TABA | 国際会計論 張 櫻馨 教授 YingHsin CHANG | 経営財務論 杜 雪菲 講師 Setsuhi YU |
| 財務諸表分析 中條 祐介 教授 Yusuke NAKAJO | マクロ経済学 中園 善行 教授 Yoshiyuki NAKAZONO | 会社法 長畑 周史 准教授 Shushi NAGAHATA | ゲーム理論 中村 祐太 准教授 Yuta NAKAMURA | サービス・ビジネス論 根本 裕太郎 准教授 Yutaro NEMOTO | 企業論 橋本 倫明 准教授 Noriaki HASHIMOTO |
| 医療イノベーション経営管理論 原 広司 准教授 Koji HARA | 原価計算論 藤崎 晴彦 准教授 Haruhiko FUJISAKI | 会計学原論 三浦 敬 教授 Takashi MIURA | 経営組織論 吉永 崇史 教授 Takashi YOSHINAGA | 公共経済学 和田 淳一郎 教授 Junichiro WADA | |



■ 卒業後の主な進路

進路先 (2024年3月卒業)

卒業生 252人 進路内訳

就職率 100% (就職者数 235人 / 就職希望者数 235人)

その他8人 進学9人

- 製造業
 - アイリスオーヤマ株式会社
 - アサヒグループ食品株式会社
 - 花王株式会社
 - カゴメ株式会社
 - 日産自動車株式会社
 - 株式会社日立製作所
- 公務員・教員・特殊法人
 - 国土交通省
 - 参議院事務局
 - 防衛省
 - 横浜市役所
- 卸売・小売業
 - 伊藤忠商事株式会社
 - 株式会社ニトリ
 - 株式会社丸井グループ
 - 丸紅エネルギー株式会社
- 情報通信業・マスコミ
 - 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
 - 日本タタ・コンサルタンシー・サービス株式会社
 - 株式会社ビズリーチ
 - 富士通Japan株式会社
- 建設・不動産業
 - 株式会社大林組
 - 清水建設株式会社
 - 積水ハウス株式会社
 - 中日本高速道路株式会社
 - 三井不動産レジデンシャルリース株式会社
 - 三菱地所プロパティマネジメント株式会社
- 広告・コンサルティング・専門サービス業
 - アクセンチュア株式会社
 - 有限責任監査法人トーマツ
 - 株式会社マイナビ
 - 株式会社野村総合研究所
- 金融・保険業
 - SMBC日興証券株式会社

株式会社ジェーシービー (JCB)
大和証券株式会社
中央労働金庫
日本証券金融株式会社
みずほ証券株式会社
株式会社三井住友銀行
株式会社横浜銀行

■運輸・物流・郵便業
株式会社AIRDO
株式会社大韓航空
日本通運株式会社

■その他
バーソルキャリア株式会社
株式会社星野リゾート
株式会社ミリアルリゾートホテルズ

■主な進学先 (大学院)
一橋大学大学院
横浜市立大学大学院

他



大学院紹介

国際マネジメント研究科
Graduate School of International Management

国際マネジメント専攻

グローバル化が進む企業で活躍できる人材の育成を教育目標としています。経営管理手法を用いて社会課題解決を目指す学生を対象として、経営学・経済学の知識やスキルの習得を目指すソーシャル・イノベーション社会人MBAプログラム (SIMBA) も、本研究科の特色です。また、所定のプログラム対象科目を一定単位以上取得した場合、本研究科により修了証が発行される教育プログラムを用意しています。

修了後の主な就職先 ● 日本アイ・ピー・エムデジタルサービス、ビジョナリーホールディングス 等



School of Science 理学部

学部サイト



理学科

学位 ■ 学士(理学) 取得できる資格 ■ 教員免許(理科)

理学科では、自然科学の基礎を全般的に学ぶことで、物質科学の概念を踏まえて細胞・個体スケールの生命現象を捉えることができる人材、生命現象を原子・分子スケールで起こる物質科学として捉えることができる人材の育成を目指しています。そして、理学的専門教養をもとに、医学・農学・工学等の連携研究にも積極的に挑戦できる人材を養成します。

特色01 物質科学や生命科学、およびこれらの融合領域の専門知識を学修する

理学科では、すべての学生が物理学、化学、生物学、数学の基礎を一通り学んだ上で、物質科学、生命科学、あるいはこれらの融合領域分野へ進みます。高等学校で物理あるいは生物を履修していない学生に対して、1年次にリメディアル講座の授業を用意しています。6つの履修モデルに沿って、高度な専門知識・技術を身に付けます。

特色02 グローバルな研究マインドと実力を身に付ける「国際リトリートプログラム」

自然科学で世界に貢献するためには、グローバルな視点を持ち、英語を使って研究成果を発表する必要があります。「国際リトリートプログラム」は、グローバルな研究マインドと世界で通用する研究者としての実力を養うためのプログラムであり、卒業研究によって得られた成果を海外の大学等で英語を使って発表し、海外の研究者とディスカッションすることができます。

特色03 1年次から研究活動を行える「理数マスター育成プログラム」

自然科学研究では実験に基づく研究が不可欠ですが、学生にとっての研究スタートは3年次後期であり、それまで待たなければなりません。本学理学部の特別プログラムである「理数マスター育成プログラム」では、プログラム参加学生は1年次から自主的に研究活動を行うことができます。そのための専用教室「理数マスター室」をいつでも使用することができるように整備しました。学生自らが決めたテーマに従って、教員の個別指導のもとで研究を進め、その成果を学内外の発表会で発表します。

学部長 Message



物質科学と生命科学の両面から自然現象・生命現象を理学的に解明する

理学部長 佐藤 友美 Tomomi Sato

科学はこれまで物理学・化学・生物学といった分野から構成されてきましたが、より高度・専門的に深化した結果、今ではいくつもの小さな分野・領域に細分化されています。一方で、エネルギー・環境・医療等の諸問題は高度化・複雑化しており、細分化した分野からのアプローチだけでは解決に向けた対応が難しくなっています。理学科では、「ヒトの生命現象」の理解と解明をひとつのターゲットとして、生物学だけではなく、物理学や化学の概念や理論も含めた総合的な理学的知識を学修します。さらに、物質科学分野、生命科学分野、またその融合分野において多様な研究が活発に行われており、これらの学修成果をさまざまな領域で発揮することができます。

4年間の学びのイメージ

| | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 |
|------|--------------------------------|------------------------------------|---|------------------------------|
| 特長 | 物理学、化学、生物学、数学に関する基礎知識と技術を学ぶ | 専門科目を4つの科目群に分類し、そのうち2つを選択し、専門性を深める | 選択した科目群の知識・技能をもとに高度な専門科目を履修する | 学修をさらに深化させ、4年間の集大成として卒業研究を行う |
| 共通 | 実験の基礎科目 | Global Science 実験技法の修得科目 | Science English/Scientific Writing in English 専門実験科目 | 研究室配属 大学院科目の早期履修 |
| 領域横断 | 教養ゼミ/基礎ゼミ Practical English | 全学開放科目 共通教養科目 | Advanced Practical English | 領域横断型プログラム |

理学部専門科目一覧

| 物理学系・数学系クラスター | 化学系クラスター | 生物学系・融合系クラスター | 医学系クラスター | | | |
|---|--|--|---|---|------------------------------------|-----------|
| 振動と波動 電磁気学 熱力学 地学概説 基礎量子力学 統計力学 | 基礎生命物理学 地球科学入門 自然科学数学A(微分方程式) 自然科学数学B(フーリエ解析) 自然科学数学C(複素解析) 自然科学数学D(ベクトル解析) | 基礎有機化学 基礎無機化学 化学熱力学 分析化学 | 有機化学 無機化学 溶液化学 先端機器分析化学 | | | |
| 細胞生物学 遺伝学 植物生理学I 植物生理学II 分子生物学 生化学I 生化学II 微生物学 | 動物生理学I 分子細胞生物学 放射線生物学 糖鎖生物学 タンパク質の構造生物化学 遺伝子の生物化学 構造創薬科学 | 人体の解剖生理学 薬理学 分子細胞医学 生命医科学特別講義 臨床概論・疾病病態学 | | | | |
| 総合学修科目群 | | | | | | |
| Global Science | 特講 (Science English) | 課題提案型演習A | 課題提案型演習B | 理数自主研究I | 理数自主研究II | 理数自主研究III |
| 専門発展科目群 | | | | | | |
| 量子力学 電子物性 量子化学 再生発生物学 先端タンパク質科学 | 固体物性 マテリアルデザイン 天然物有機化学 環境毒性学 | 物理学演習 知覚情報科学 エネルギー変換 極限環境生物学 | 生命物理学 特講 (応用統計学) 動物生理学II 環境安全学 | 特講 (Scientific Writing in English) 先端科学技術 創薬有機化学 資源生物利用学 創薬分析化学 | 地学 化学反応速度論 ゲノム遺伝学 遺伝子機能科学 | |
| 実験実習科目群 | | 卒業研究関連科目群 | | 先導科学演習 卒業研究I | 先導科学実習 卒業研究II | 卒業論文 |

6つの履修モデルと4つのクラスター(科目群)

1年次には全員が物理学、化学、生物学の基礎実験を必修で学びます。それにより、理学全般の基礎的な知識や、必要とされる実験技術をしっかりと修得し、専門教育にスムーズに移行できる基礎力を養います。2年次以降はさまざまな専門領域から目的を持って学ぶため、6つの履修モデルを用意し、体系的に学修できるようになっています。さらに、各科目は学問領域ごとにグループ化された4つのクラスター(科目群)を置き、このうち2つを選択して学びます。理学科では3年次後期に研究室に配属され、専門領域を追求していきます。



| 6つの履修モデル | 物理学で自然現象を解き明かせる人材 | 化学で自然現象を解き明かせる人材 | 分子・細胞・個体レベルで生命現象を解き明かせる人材 |
|----------|-------------------------------------|---------------------------|---------------------------|
| | ゲノム科学、生命科学の推進を通じて、食料・環境問題解決に貢献できる人材 | 生体分子の構造と機能を理解し、創薬に応用できる人材 | 細胞・生体の働きを理解し、医療関連に応用できる人材 |

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS SDGsへの取り組み

理学から未来の世界を拓く木原生物学研究所

舞岡キャンパスにある木原生物学研究所では、植物・食料科学を通じて環境と健康のつながりを考え、SDGs達成に貢献する植物科学・食料科学の研究と教育を進めています。自然と物質の「2つの循環を調和」させた、グローバルな社会ネットワークの実現を考え、学びと研究成果を地域に役立てることでSDGsへの貢献を目指します。



■ Pick up 授業

基礎生命物理学

谷本 博一

生命物理学は、生命現象を物理学の立場から理解することを目指す、生命科学と物質科学の境界領域にある学問分野です。「基礎生命物理学」では、理学部2年生を対象として、生命物理学に関する入門的な講義を行います。基礎的な物理を用いた生命現象の解析を通じて、生命現象に関する理解を深めるとともに、とすれば「物質を理解することが目的の学問」だと思いがちな物理学を新鮮な視点から見直す機会にしたいと思っています。



Global Science

Robert A. KANALY・Ruggero MICHELETTO

理学部2年生を対象とした「Global Science」では、科学に関連するさまざまなトピックについて、国際的な視点を重視しながら、理学部の各教員による講義を行います。海外での研究経験等、国際的な経験を積んだ教員による各専門分野（物理学・化学・生命科学）の紹介を通して、国際的な視野や、科学英語を用いたコミュニケーション能力を高めることを目的としています。



興味を突き詰め
研究の基礎も固まる
理想的な環境

理学部 理学科 3年
バンコク (タイ)
NIVA American International School 卒
貴志 芽久 Meg Kishi

環境微生物学・分子毒性学研究室に所属し、有害物質の発がん性評価に関する研究を進めています。コース選択で生命環境分野を選び、生命現象や人と環境の密接な関係を探求しています。課題提案型演習では、英語の論文を読み、グループでの発表や質疑応答を通じて、知見を深め、発表スキルを学びました。



ヨコ知り!

幅広い分野を
学んでいながら
自分の興味を探せる

理学部 理学科 3年
神奈川県立座間高等学校 卒
中島 諒 Ryo Nakajima

理学部では特定の分野にしばられず、生物も化学も物理も幅広く学べます。現在、「理数マスター育成プログラム」で核融合によるエネルギーをテーマ研究していますが、将来は宇宙開発に関連する分野にも興味を持っています。基礎的な知識を幅広く身に付けて、多角的な視野が養える環境が魅力だと感じています。



ヨコ知り!

■ 大学院進学を見据えた取り組み

学部・大学院の一貫教育

学部教育で修得した物理学、化学、生物学を基盤とした生命科学に関する基礎知識をもとに、大学院・生命ナノシステム科学研究科、生命医科学研究科に進学し、さらに高度な研究技術の修得、生命現象を学理的に解明する力を養います。

大学院科目早期履修

3年次を修了した時点で、要件を満たした学生が博士前期課程の開講科目を履修できる制度です。履修を許可された学生は、学部4年次に早期履修することができます。本制度を活用することで、大学院に進学した際に、研究活動に専念することができます。

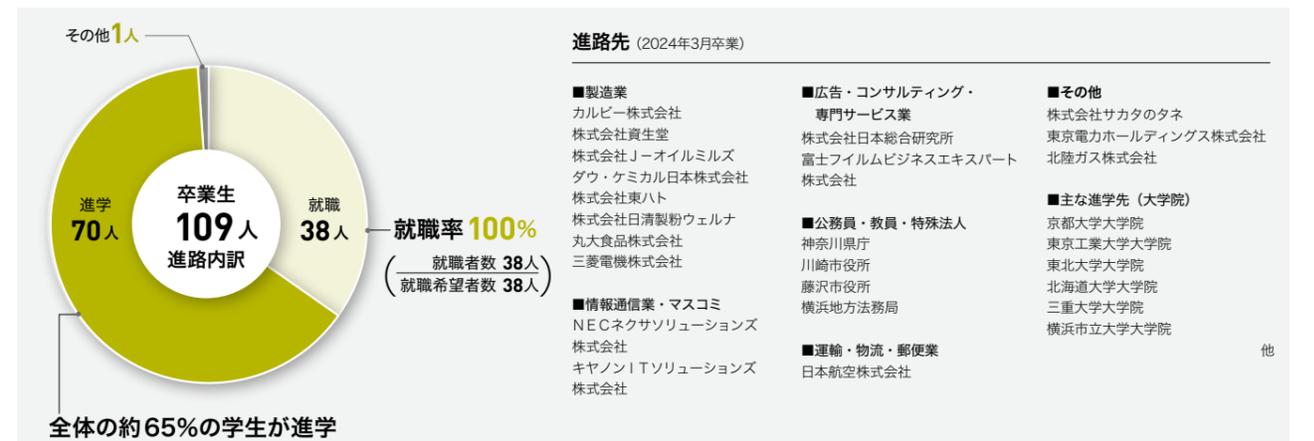


研究者一覧▶

■ 教員一覧 (2025年4月時点)

| | | | | | |
|---|-------------------------------------|--|---------------------------------------|---|---------------------------------------|
| 構造生物化学 明石 知子 Satoko AKASHI | 生物系薬学 足立 典隆 Noritaka ADACHI | 構造生物化学 有田 恭平 Kyohei ARITA | 構造生物化学 池上 貴久 Takahisa Ikegami | 生命情報科学 池口 満徳 Mitsunori Ikeguchi | 天然物合成化学 石川 裕一 Yuichi Ishikawa |
| 構造生物学 石本 直偉士 Naïto Ishimoto | 植物育種学 一色 正之 Masayuki Isshiki | 分子生物学 伊藤 健太郎 Kentaro Ito | 天然物化学 入江 榮 Raku Irie | 発生生物学 内山 英穂 Hideho Uchiyama | 生物物理学 浴本 亨 Toru Ekimoto |
| 生物有機化学 及川 雅人 Masato Oikawa | 表面界面物理学 大江 弘晃 Hiroaki Ooe | 糖鎖生物学 大関 泰裕 Yasuhiro Ozeki | 植物生理学 奥村 将樹 Masaki Okumura | 遺伝子発現制御科学 片岡 浩介 Kohsuke Kataoka | 環境毒性・微生物学 Robert A. Kanaly 教授 |
| 育種学 川浦 香奈子 Kanao Kawaura | 糖鎖生物学 川崎 ナナ Nana Kawasaki | 理論分子科学 北 幸海 Yukiumi Kita | 電子物性科学 木下 郁雄 Ikuro Kinoshita | 植物エビゲノム科学 木下 哲 Tetsu Kinoshita | 固体地球惑星物理学 金 亜伊 Ahyi Kim |
| 基礎ゲノム科学 沓名 伸介 Shinsuke Kutsuna | 分子生物学 古久保 哲朗 Tetsuro Kokubo | 生物工学 小島 伸彦 Nobuhiko Kojima | 構造生物化学 小沼 剛 Tsuoyoshi Konuma | 分子生物学 斎藤 慎太 Shinta Saito | 構造生物学 坂倉 正義 Masayoshi Sakakura |
| 神経科学 佐々木 幸生 Yukio Sasaki | 内分泌学 佐藤 友美 Tomomi Sato | 腫瘍分子病態学 佐藤 拓輝 Hiroki Sato | 植物発生生理学 塩田 肇 Hajime Shiota | 無機光化学 篠崎 一英 Kazuteru Shinozaki | 計算科学 島崎 智実 Tomomi Shimazaki |
| 植物ホルモン・環境応答生理学 嶋田 幸久 Yukihisa Shimada | 分子細胞生物学 菅原 亨 Tohru Sugawara | 分子細胞生物学 鈴木 厚 Atsushi Suzuki | 結晶工学 鈴木 凌 Ryo Suzuki | 質量分析学 関本 奏子 Kanako Sekimoto | 構造生物化学 高橋 栄夫 Hideo Takahashi |
| 機能物性化学 高見澤 聡 Satoshi Takamizawa | 生物物理学 立川 正志 Masashi Tachikawa | 量子化学・計算化学 立川 仁典 Masanori Tachikawa | ナノ材料科学 橋 勝 Masaru Tachibana | 腫瘍学・脳神経外科学 立石 健祐 Kensuke Tateishi | 生物物理学 谷本 博一 Hirokazu Tanimoto |
| 植物生理学 辻 寛之 Hiroyuki Tsuji | 生物物理学 J.R.H. Tame 教授 | 生命情報科学 寺山 慧 Kei Terayama | 植物育種学 殿崎 薫 Kaoru Tonosaki | 動物生理学 中島 忠章 Tadaaki Nakajima | 構造生物化学 西澤 知宏 Tomohiro Nishizawa |
| 構造生物化学 禾 晃和 Terukazu Noji | 物理化学 野々瀬 真司 Shinji Nonose | 基礎生物学 朴 三用 Sam-yong Park | 無機化学 服部 伸吾 Shingo Hattori | 構造生物化学 林 郁子 Ikuko Hayashi | 植物遺伝育種学 坂 智広 Tomohiro Ban |
| 構造生物化学 東 昌市 Shoichi Higashi | 機能生物化学 藤井 道彦 Michihiko Fujii | 物性物理化学 本多 尚 Hisashi Honda | 細胞生物学 丸山 大輔 Daisuke Maruyama | 知覚情報科学 Ruggero Micheletto 教授 | 環境微生物学 守 次朗 Jiro Mori |
| 物性物理学 山田 重樹 Shigeki Yamada | 物質計測科学 山本 浩太郎 Kotaro Yamamoto | 表面・ナノ構造物性科学 横山 崇 Takashi Yokoyama | 固体地球惑星物理学 吉本 和生 Kazuo Yoshimoto | 構造生物化学 李 勇燦 Yongchan Lee | |

■ 卒業後の主な進路



最新情報はこちら▶

大学院紹介

生命ナノシステム科学研究科
Graduate School of Nanobioscience

物質システム科学専攻

電子・原子・分子の視点から、実験科学(合成・計測・評価)と計算科学(計算・情報・予測)に基づき、生命現象を含めた物質システムを解明するための教育と研究を行っています。

修了後の主な就職先 ● IHI、NTTデータ、日産自動車、日本電気 (NEC)、野村総合研究所、みずほ銀行 等

生命環境システム科学専攻

基本設計図であるゲノムを基軸にさまざまな生体分子の構造と機能を解明し、多様な環境に生きる動物・植物・微生物の生命維持システムを理解するための教育と研究を行っています。

修了後の主な就職先 ● SCSK、キヤノン、第一三共、日揮ホールディングス、ファンケル、松井証券、横浜市役所 等



生命医科学研究科
Graduate School of Medical Life Science

生命医科学専攻

既存の物理学・化学・生物学・遺伝学・情報科学を統合することで細胞生物学を含めた先端医学研究へ応用展開していく教育体制を構築しています。メインキャンパスは、理化学研究所横浜キャンパスに隣接した鶴見キャンパスにあり、理化学研究所との連携大学院を一層発展させるとともに、本学医学研究科をはじめ、産業技術総合研究所 (AIST)、国立医薬品食品衛生研究所 (NIHS) へと連携を広げた教育体制を構築しています。

修了後の主な就職先 ● アステラス製薬、テルモ、東レ 等



School of Data Science

データサイエンス学部

学部サイト



データサイエンス学科

学位 ■ 学士(データサイエンス)

データサイエンス学部では、さまざまなデータを読み解くために必要な数理や統計の基礎的な知識をはじめ、社会で不可欠なコミュニケーション能力や、イノベーションを起こす発想力、そして次世代に通用するビジネス力を養い、データサイエンティストに必要な素養を身に付けた人材の輩出を目的としています。そのために、文系・理系という枠にとられない柔軟な思考と発想を大切に、データが生まれる企業や官公庁といった「現場」での実践的な学びの機会を多く提供します。また、世界をフィールドに活躍するデータサイエンティストに必要な国際水準の英語力の修得にも力を入れます。

特色01 文理融合

データサイエンスの基礎をなす学問分野は、統計学や情報科学など理系的な要素が多くあります。しかし、それらを用いる社会は、自然現象の解明や工業製品の生産、あるいは医学をはじめとした健康科学という理系分野だけでなく、経済・経営やマーケティング、さらには文学といった文系分野と多岐に渡ります。文理を分離するのではなく融合する。これがデータサイエンスの魅力です。

特色02 現場重視

データサイエンスは変化のスピードが非常に速い分野です。まずは基礎を固め、その基礎力がどんな現場であれ、必ず生きるのです。基礎的な力を養った上で、いくつかの企業や横浜市の各部局と連携し、データが実際に生まれる現場でPBL (Project-Based Learning、課題解決型学習) を行い、実践的に学びます。

特色03 国際水準の英語力

データサイエンスのフィールドは「世界」です。フィールドが世界であるならば、その言語は英語が中心で、学会や国際会議、あるいはビジネスの場では英語が共通言語です。専門的な議論はもちろん、会議後の懇親会やプライベートな場でも英語が飛び交います。データサイエンティストの活躍の場となる世界で通用する英語力を着実に鍛えていきます。



実社会における課題発見・解決力

4年間の学びのイメージ

| 特長 | DSの基盤 文理融合の マインドを学ぶ 国際通用力・ 英語を学ぶ | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | |
|--------------------------|--|--------------------------|---------------------|-------------------|--------------------------------------|-----|----------------------------|------------------------------------|------|
| | | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 |
| DSの専門 現場対応力を 身に付ける | | 国際社会で活躍するための実践的な英語や教養を学ぶ | 社会で広く用いられるDSを網羅的に知る | 数学とコンピュータの基礎を学ぶ | 統計・計算機科学の基礎を学ぶ DSをどのように社会に応用するか学ぶ | | | インターンシップ等を通じて、DSの研究に取り組む 専門領域演習 | 卒業研究 |
| | | | | | | | | | |
| 共通 | | 教養ゼミ | | | 全学開放科目 共通教養科目 | | | | |
| 領域横断 | | | | Practical English | | | Advanced Practical English | | |
| | | | | | | | | 領域横断型プログラム | |

データサイエンス学部専門科目一覧

| | | | | | |
|--------------|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|-------------------|
| データ数理基礎 | 数学の基礎 数学実習I | 線形代数I 数学実習II | 線形代数II 確率入門 | 微積分I 代数学 | 微積分II 組合せ論 |
| データアナリティクス力 | 統計学I 多変量データ解析 時空間データ解析入門 | 統計学II 統計モデリングI 計算機統計学 | データ可視化法 統計モデリングII | サンプリング法 応用統計学I | 実験計画入門 応用統計学II |
| データエンジニアリング力 | プログラミング演習I 計算機数理 音声言語処理 | プログラミング演習II 最適化理論 並列分散処理 | 計算機概論 ビッグデータ解析 | アルゴリズム論 機械学習 | 情報理論 非構造化データ |
| 社会展開力 | PBL 入門 臨床研究・疫学入門 | データ解析演習 調査設計論 | PBL 演習(ビジネス・サイエンス) マーケティングデータ分析I | PBL 演習(非構造化データ) マーケティングデータ分析II | 医療統計学 環境データ解析論 |

基礎から応用、実践的PBLへ

1年次前期から「線形代数学」や「微積分学」等を学び基礎を固めながら、「PBL入門」の中で実施しているデータサイエンスセミナーを通してデータサイエンスが社会において果たす役割を学びます。後期からは「プログラミング演習I」でPython言語を学びデータを計算機で処理する基本技術を修得します。また、「統計学I」を学び、データサイエンスの基礎をなす統計学の基礎知識を身に付けます。2年次以降は、「プログラミング演習II」や「データ可視化法」、「統計モデリングI」、「サンプリング法」、「多変

量データ解析」等のデータサイエンスの基礎科目を学びつつ、「マーケティングデータ分析」や「医療統計学」といった、修得したデータサイエンスに係る知識や技能を社会展開に応用していくことにシフトしていきます。3年次以降の演習では、企業や官公庁と連携したPBLを通じて実践的に学ぶとともに、それらの成果を卒業研究としてまとめていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS SDGsへの取り組み

国際環境・まちづくりワークショップ

2022年3月18日に気候変動や都市化に伴う環境問題とSDGsをテーマとした国際環境・まちづくりワークショップをオンラインで開催しました。本ワークショップでは、アジアの研究者や自治体の有識者が集まり、横浜、フィリピン、マレーシア、台湾における気候変動や環境問題の現状とその対策について主に議論しました。この活動を通じて、気候変動のような世界的な課題を議論するとともに、新しい時代に向けた私たちの都市と環境、そして生活のあり方を考えることで、今後の研究情報交換の促進と共同研究につながるよい機会となりました。



学部長 Message



人とAIが共創する未来を切り拓く データサイエンティストを育成

データサイエンス学部長
土屋 隆裕 Takahiro Tsuchiya

現代社会では、膨大なデータから新たな知見を見出し、複雑な社会課題の解決につなげられる人材の需要は高まる一方です。本学部では、統計学と情報学の理論を学ぶだけでなく、実際に手を動かすPBL教育を通じて、論理的思考と直感的洞察の調和を重視した教育を展開しています。AIと人間が共存する未来において、単なる技術者ではなく、データの向こうに見える人間や社会のことも考え、人を中心に据えた技術の応用・発展に貢献できる人材を育てます。理論と実践を結びつけた教育カリキュラムの中で、皆さんの好奇心と創造力を思いっきり発揮してください。そして、最先端の知識と実社会での応用力を兼ね備えた人材となり、よりよい未来の創造に貢献していきましょう。

■ Pick up 授業

データ解析演習

佐藤 彰洋

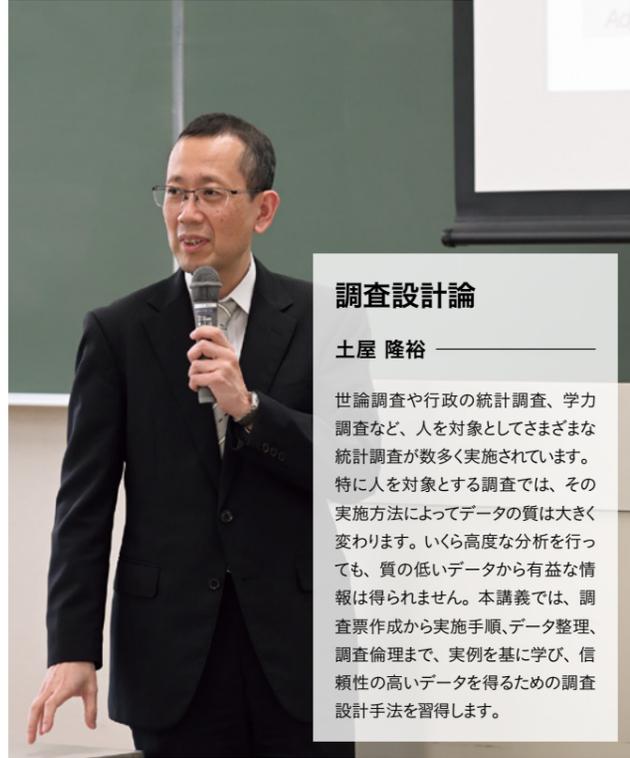
データ解析演習では、統計処理ソフトRを利用した、データの要約方法、作図、統計的仮説検定、回帰分析の実行方法を実データとコンピュータを利用して学習します。前半では、Rを効果的に活用するためのコマンド群、データタイプとデータフレーム、データ要約の方法、組み込み関数の利用方法などを取り扱っています。後半では、SQL、統計的仮説検定の方法、データ解釈、分析レポートの作成方法を学びます。



調査設計論

土屋 隆裕

世論調査や行政の統計調査、学力調査など、人を対象としてさまざまな統計調査が数多く実施されています。特に人を対象とする調査では、その実施方法によってデータの質は大きく変わります。いくら高度な分析を行っても、質の低いデータから有益な情報は得られません。本講義では、調査票作成から実施手順、データ整理、調査倫理まで、実例を基に学び、信頼性の高いデータを得るための調査設計手法を習得します。



データ分析の背景にある重要な基礎知識も身に付く

データサイエンス学部
データサイエンス学科 3年
神奈川県立横須賀高等学校卒

松本 莉奈 Rina Matsumoto

YCUでは、基礎を大切にしながら実際のデータを用いて分析を行う、実践的な統計学の授業があります。さらに、地域や企業と連携した活動もあり、実社会で役立つスキルを実践的に学ぶこともできます。将来はここで身に付けた知識を活用し、変化の激しいデータサイエンスの分野で活躍できる人材になりたいです。



幅広く活用できる知識や技術が身に付き 将来が見えてくる場所

データサイエンス学部
データサイエンス学科 3年
大阪府立三国丘高等学校卒

門田 陸登 Rikuto Kadota

好きな授業は「応用統計学I」で、データの特徴を捉えたり予測をしたりするための多種多様な数学的手法を学びます。YCUはビジネス系と医療系の先生もいるので、幅広い分野で活用できる手法や考え方が身に付くのが魅力です。数学を楽しく学ぶうちに、自分が将来向いている分野が見つかると思います。



■ 主な科目紹介

統計学 I

統計学の基礎を学習します。まずはデータの取り扱いやグラフの描き方を学び、さらに、確率変数・確率分布の性質を知り、仮説検定や信頼区間について学習します。最後に、統計モデルの基礎として、線形回帰（単回帰）を学びます。

サンプリング法

日常見かける多くの統計調査は、対象の一部だけを統計的な方法を用いて選び出し、効率的に実施されています。この講義では、サンプリングと推定の理論・方法を学び、データサイエンスの基礎となるデータ収集・処理法を習得します。

■ データサイエンス学部の社会連携

データサイエンス学部では、企業や官公庁等の現場の第一線で活躍するゲスト講師を迎え、実社会でのさまざまなデータ活用事例に触れる「データサイエンスセミナー」を開催しています。企業におけるマーケティングやビジネス戦略、ものづくりの品質管理等に、どのようにデータが分析され、活用されているのか、また、官公庁においてはデータの利活用による政策立案やオープンデータ活用推進の取り組み等を生の声から学ぶことで、大学での学びが将来どのような分野で活用することができるかを考える機会となっています。

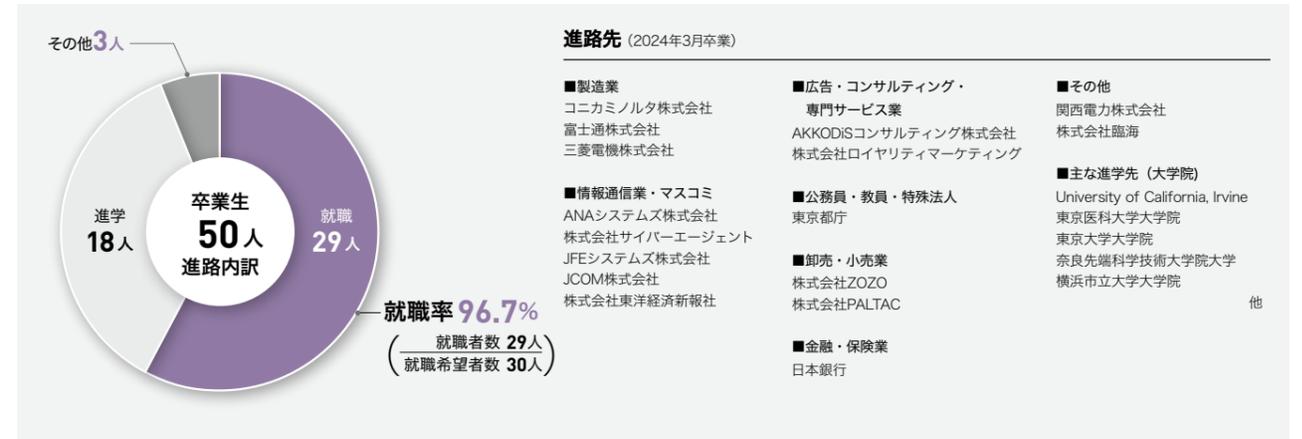


■ 教員一覧 (2025年4月時点)

| | | | | | |
|--|--|---|--------------------------------------|---|---|
| ビジネス・サイエンス 上田 雅夫 教授 Masao UEDA | 環境影響評価・環境政策 大西 暁生 教授 Akio ONISHI | 統計科学 岡村 寛 教授 Hiroshi OKAMURA | 社会物理学 尾崎 順一 准教授 Junichi OZAKI | 知能情報学 落合 桂一 准教授 Keiichi OCHIAI | 情報科学 北園 淳 准教授 Jun KITAZONO |
| 知覚情報処理・知能情報学 越中 孝文 教授 Takafumi KOSHINAKA | 整数論 小屋 良祐 教授 Yoshihiro KOYA | 計算機科学 (コンピューターサイエンス) 佐藤 彰洋 教授 Aki-Hiro SATO | 統計科学 鈴木 雅智 准教授 Masatomo SUZUKI | 統計科学 竹内 由則 准教授 Yoshinori TAKEUCHI | 調査統計科学 土屋 隆裕 教授 Takahiro TSUCHIYA |
| 知能情報学 戸田 浩之 教授 Hiroyuki TODA | 統計モデリング・空間疫学 富田 誠 教授 Makoto TOMITA | | | | |
| 数理データ医学 中村 直俊 教授 Naotoshi NAKAMURA | 知覚情報処理・医療情報学 檜作 彰良 准教授 Akiyoshi HIZUKURI | | | | |
| 情報学基礎理論 藤田 慎也 准教授 Shinya FUJITA | ゲノム統計学 三澤 計治 准教授 Kazuharu MISAWA | | | | |
| 統計科学 森山 卓 准教授 Taku MORIYAMA | 住環境評価・建築計画学 山田 崇史 准教授 Takashi YAMADA | | | | |



■ 卒業後の主な進路



大学院紹介
データサイエンス研究科
Graduate School of Data Science

データサイエンス専攻

データサイエンス専攻では、現実社会との対話から課題を発見し、データを収集・解析し、その結果を社会に還元・実装する一連のプロセスを学ぶ「実践的データサイエンス演習」等を必修科目として配置することで、新たな価値を創造する能力の涵養を目指します。

ヘルスデータサイエンス専攻

ヘルスデータサイエンス専攻では、急速にデータが集積されつつあるヘルス領域 (疾病予防、医療、介護、保健) において、データサイエンスの知見をいち早く社会応用し、新たな価値を社会に還元する人材を育成します。



修了後の主な就職先 ● アクセンチュア、エーザイ、NTTドコモ、第一三共、中外製薬、日本放送協会 (NHK)、日本アイ・ピー・エム、横浜市立大学附属病院

School of Medicine Medical Course

医学部 医学科

学部サイト



学位 ■ 学士(医学) 取得できる資格 ■ 医師国家試験受験資格

■ 医学科カリキュラム全体像

医学科カリキュラムは、1年次に受講する「共通教養科目・医学基礎教育科目」と、2年次以降の「医学科専門教育科目」から成り立っています。「医学科専門教育科目」では、医学教育モデル・コア・カリキュラム（文部科学省が提言する学修ガイドライン）および世界医学教育連盟のグローバルスタンダードに基づいたカリキュラムを踏まえて学修します。4年次までにコア・カリキュラムを含む、基礎医学から社会医学・臨床医学までの講義および基礎医学実習等を履修し、全国共通の標準評価試験である「共用試験」を受験します。この試験は臨床実験前に医学知識の学修レベルを評価するCBTと基本的臨床技能や態度を評価するOSCEからなります。両方に合格することで、臨床実習に進むことができます。5・6年次には主に附属2病院での臨床実習を行い、診療参加型臨床実習により修得された能力を測定する「臨床実習後OSCE」および、卒業試験に合格することで卒業が認められます。在学時の6年間を通じて、各学生に担任が配置され、全人的にサポートする体制を取っています。本学の医師国家試験合格率は例年高い実績を取っています。

| | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 5年次 | 6年次 | 卒業後1~2年目 | 卒業後3年目以降 |
|-------------------------|--------|--------|------|-----------------|------|---|----------|----------------|
| 共通教養 | 共通教養 | | | | | | | |
| 医学基礎教育 | 医学基礎教育 | | | | | | | |
| 基礎医学 | | 基礎医学 | | | | | | |
| 基礎医学実習 | | 基礎医学実習 | | | | | | |
| 医学概論 | | 医学概論 | 医学概論 | | | | | |
| 社会医学 | | | 社会医学 | 社会医学 | | | | |
| 臨床医学 | | | 臨床医学 | 臨床医学 | | | | |
| 研究実習 (リサーチ・クラークシップ) | | | | 研究実習 | | | | |
| 診療入門 | | | | 診療入門 | | | | |
| 臨床実習 (クリニカル・クラークシップ) | | | | | 臨床実習 | | | |
| | | | | 共用試験 (CBT/OSCE) | | | | |
| | | | | | | 共用試験 (臨床実習後OSCE) マッチング 卒業試験 医師国家試験 | | |
| | | | | | | | 初期臨床研修 | 後期臨床研修 (専門医養成) |
| | | | | | | | | 大学院 (博士課程) |
| | | | | | | | | 行政技官 |
| | | | | | | | | 留学 等 |

■ 卒業時に修得している能力

横浜市立大学医学部医学科生は、卒業時まで以下の能力を獲得し、地域社会や国内外で活躍し、創造的研究により社会の発展と人類の福祉に寄与する人材として羽ばたきます。

- 1 プロフェッショナリズム
- 2 医学知識 (修得した医学関連知識を実践に応用できる)
- 3 医療の実践 (診断・治療の基本技能および科学的根拠に基づく治療計画が立てられる)
- 4 対人関係とコミュニケーション技能
- 5 医療と社会 (医療等に関する制度・規則を理解し、業務を通じて社会に貢献できる)
- 6 生涯学習 (知識を探索し、情報を科学的に評価できる。新しい情報を生み出すための研究計画立案ができる)
- 7 医学の進歩への貢献に向けた準備 (医学の分野での課題解決に向けた貢献)

学部長 Message



親身な指導で 人間性豊かで
高い倫理観を持った優れた医療人を養成

医学部長兼医学科長
金子 猛 Takeshi Kaneko
呼吸器病学

本学は神奈川県唯一の医学部を有する公立大学であり、医学部医学科・看護学科の卒業生の多くは、横浜市を中心として神奈川県内の医療機関や自治体で医師・看護師や保健師として活躍し、地域医療を担っています。また、国際都市・横浜の大学として、世界で活躍する人材も多数輩出してきました。さらに、本学は研究を重視しており、優れた研究成果に対して、このたび、文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS)」に採択され、本学への多額の研究支援が決定しています。学生に対しては、医学や医療に対する探求心と創造性を養うことで、リサーチマインドの醸成に努めています。医療人としてのキャリア形成に必須である国家試験 (医師、看護師・保健師) の合格率については、毎年全国有数の好成績を取っています。本学医学部は家庭的な雰囲気の中で親身の指導を心がけており、人間性豊かで高い倫理観を持った優れた医療人の養成を実践しています。

Pick up Curriculum



医学基礎教育

1年次

教養ゼミ、Practical English、化学・生物等、専門教育の基盤となる知識や考え方を修得します。また、診療・研究活動に実際に触れ、医学を学修する動機づけを高めるため、教室体験演習を行っています。



基礎医学

2・3年次、5年次

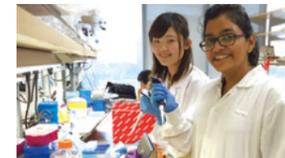
正常な人体の構造と機能、さまざまな疾患の原因とその病態、また薬物の作用等について、個体・組織・細胞レベルから分子構造レベルまで幅広い視点から学修します。



医学概論

2年次～3年次

医師に必須の医療倫理やプロフェッショナリズム、患者さんと医師の関係のためのコミュニケーション技法について、医療倫理学や医療コミュニケーション論等の科目を通して学びます。



研究実習 (リサーチ・クラークシップ)

4年次

基礎または臨床医学教室に15週間配属され、医学研究を行います。この科目では研究手法修得のみならず、それらをもとに未解明の医学的課題に取り組むリサーチマインドを身に付けることを目的とします。



診療入門

4年次

診療に関する基本知識、技能、態度や、医療面接法、身体診察法等の診療技能を実習や演習を通して身に付けます。これらの学修内容 (技能や態度) は、共用試験 (OSCE) により評価されます。



臨床実習 (クリニカル・クラークシップ)

4年次～6年次

4年次までの全科目に合格すると診療参加型の臨床実習を行うことができます。指導医のもとさまざまな職種スタッフと連携してon the job trainingを行います。

探求心（リサーチマインド）を持った医療人へ

医学部および2つの附属病院における教育・研究・診療の一体的な運用のもと、医学教育の質の向上を図ることにより、リサーチマインド（探求心）を持った優れた臨床医・医学研究者を育成することを目的としています。その中心となる「医学教育センター」では、「教育」「研究」「医療」をリードする人材を育成することを使命とし、国際都市・横浜ならではの国際標準を踏まえた、質の高い医学・臨床教育に取り組んでいます。

■ 医学科の特長 | リサーチ・クラークシップ |

4年次に進級すると同時にリサーチ・クラークシップ（研究実習）が始まり、15週間の医学研究に参加します。その目的は、早期から「未解決の課題に対する意識を常に持ち、積極的に取り組むこと」「科学的な思考で真実を見極める努力を怠らないこと」といった、物事の本質に迫ろうという姿勢【リサーチマインド】を養成することです。臨床能力と論理的思考を両立する、「科学する医師」の育成を目指します。

| | | 配属先 | 人数 | | | 配属先 | 人数 |
|-----------------|----|------------------|----|--------|----------------|-----|----|
| リサーチ・クラークシップ配属先 | 海外 | ウェイン州立大学 (アメリカ) | 2 | 学内 | 横浜市立大学基礎医学系教室 | 16 | |
| | | スタンフォード大学 (アメリカ) | 1 | | 横浜市立大学臨床医学系教室 | 50 | |
| | | テンブル大学 (アメリカ) | 2 | | 横浜市立大学理学部研究室 | 3 | |
| | | コーネル大学 (アメリカ) | 1 | | 東京大学 | 2 | |
| | | ハーバード大学 (アメリカ) | 1 | 東京科学大学 | 1 | | |
| | | | | 国内 | 理化学研究所 | 4 | |
| | | | | | 神奈川県立こども医療センター | 1 | |
| | | | | | 国立感染症研究所 | 1 | |

2024年度実績

リサーチ・クラークシップ参加学生の声

■ 研究実習先 テンブル大学 (アメリカ)
■ 期間 2024年4月～(3カ月間)

医学部 医学科 5年
神奈川県立横浜翠嵐高等学校卒
岩瀬 すみれ Sumire Iwase

「人工甘味料が血管細胞のオートファジーに与える影響」をテーマに研究しました。複数の甘味料を比較し、それらの濃度や時間変化が細胞に及ぼす影響を調査するもので、丁寧に正確な作業を毎日積み重ねることが求められます。先生方から研究技術や心構えを教わりながら、基礎研究の重要性和魅力を深く理解しました。医学を志す者にとって欠かせない思考回路を学べて、自分の成長を実感できた貴重な体験となりました。

医学を志す自分に必要不可欠な
考え方や専門技術を学んだ

医学部 医学科 5年
神奈川県立横浜翠嵐高等学校卒
古川 倫千 Noriyuki Furukawa

細胞内のカルシウム濃度を調節する通り道が、刺激にどう反応するかを細胞レベルで研究しました。細胞を培養したり、細胞から目的のタンパク質やその元になるmRNAを取り出して分析したり、タンパク質を蛍光で光らせて観察したりと、さまざまな手法を試せました。この経験を通して、何かを明らかにするために「どのように実験を設計すれば説得力のある説明ができるのか」を考え、理論を組み立てる力が成長しました。

説得力のある結果を導くための
実験設計の力が身に付いた

■ 研究実習先 横浜市立大学 基礎医学系教室
■ 期間 2024年4月～(4カ月間)

■ 医学科領域

| 基礎医学系 [基礎系教室名] | 組織学 | 神経解剖学 | 循環制御医学 | 生理学 | 生化学 | 分子生物学 | 薬理学 |
|-------------------|--------------|------------|-------------|---------------|--------------|------------|--------|
| | RI研究センター | 微生物学 | 免疫学 | 病態病理学 | 分子病理学 | 臓器再生医学 | 実験動物医学 |
| | 遺伝学 | 臨床統計学 | 法医学 | 医学教育学 | 医療情報学 | 臨床疫学・臨床薬理学 | 公衆衛生学 |
| 臨床医学系 [臨床系教室名] | 血液・免疫・感染症内科学 | 呼吸器病学 | 循環器内科学 | 循環器・腎臓・高血圧内科学 | 消化器内科学 | | |
| | 肝胆膵消化器病学 | 内分泌・糖尿病内科学 | 神経内科学・脳卒中医学 | がん総合医科学 | 外科治療学 | | |
| | 消化器・腫瘍外科学 | 麻酔科学 | 救急医学 | 脳神経外科学 | 産婦人科学 | | |
| | 小児科学 | 運動器病態学 | 形成外科学 | 形成外科学 | 放射線治療学 | | |
| | 放射線診断学 | 精神医学 | 眼科学 | 視覚再生外科学 | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 | | |
| | 皮膚科学 | 口腔外科学 | 総合診療医学 | リハビリテーション科学 | | | |

女性の生涯の健康を支えるための 知見を身に付けていく

医学部 医学科 4年
東京都 私立雙葉高等学校卒
井上 智香子 Chikako Inoue

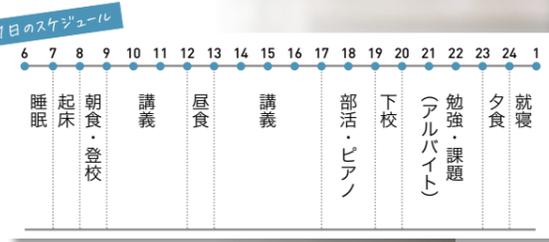
女性は、思春期、周産期、更年期などのライフステージごとにさまざまな症状を抱えています。そんな女性の健康を支えたいという思いから、産婦人科医を志し、医学部への進学を決意しました。2年次までは基礎医学を学び、それを基に3・4年次では主に「外科学」、「救急医学」、「循環器内科学」、「呼吸器内科学」などの、臨床医学を学んでいきます。3年次の1学期に履修した「公衆衛生学」は印象的な授業でした。個々の患者さんの症状や治療法を学ぶ臨床医学に対し、公衆衛生学では、社会全体の健康維持を目的とした疾病の予防法や法律、環境の整備について学びました。4年次からはリサーチ・クラークシップという研究活動で、興味がある分子生物学の分野を研究しています。



臨床と研究を両立できる環境で 将来を模索

医学部 医学科 3年
群馬県 私立ぐんま国際アカデミー高等学校卒
加藤 咲磨 Sakuma Kato

臨床と研究のどちらも充実した環境に魅力を感じ、YCUの医学部医学科を選びました。2年次の基礎医学では、正常な人体の構造や機能について主に学びます。後期には各科目の実習もあり、座学で学んだ内容の理解を深め、実際のスキルを身に付けていきます。個人的には人体の機能や病気とその治療法を化学的に考察する「生化学」や、薬の作用機序や副作用などについて詳しく学習する「薬理学」が好きです。どちらもなぜ病気になるのか、なぜその治療法が効くのか論理的に理解できるようになるところに魅力を感じます。まだ志望の診療科は決まっていませんが、臨床と研究の両立を目指しています。基礎医学の学びを今後学ぶ臨床医学にいかし、幅広く知識を吸収して将来の選択肢を広げていきたいです。



グローバルプログラムの紹介

グローバルプログラム▶

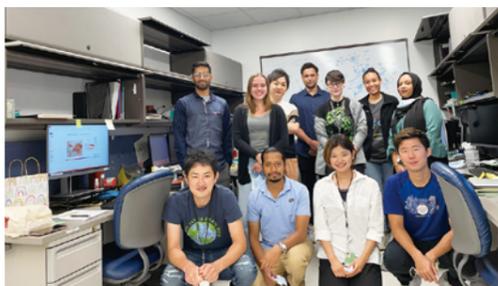


—海外経験を通して、新しい時代に活躍できるグローバルな医療人へ—

医学科では海外派遣プログラムの拡充を図り、多くの学生が海外経験を積めるよう、さまざまな取り組みに力を入れています。大学公式のプログラムでは、リサーチ・クラークシップ（研究実習）やクリニカル・クラークシップ（臨床実習）等、カリキュラムの一環として参加できることも大きな特長です。渡航を実現させるための経済的支援として、本学では補助金などもあります。

■ 海外リサーチ・クラークシップ

4年次のカリキュラムの一環として、基礎・臨床研究に一定期間携わるプログラム。国内以外に海外の研究機関で研究実習を行うことができます。海外に派遣される学生は、世界トップレベルの研究所や医療機関で行われる一流の研究に触れることで、研究力や英語力の向上とともに、豊かな国際感覚を身に付けることが期待されます。また、休学等を要せず約3カ月間というまとまった期間を海外で過ごす唯一の機会です。



| | |
|---------|---|
| 派遣時期・期間 | 4月～7月中旬 / 約3カ月 |
| 単位 | 研究実習（リサーチ・クラークシップ） |
| 費用目安※ | 約220万円（アメリカ） （渡航費、宿泊費、保険料、現地での生活費等） （派遣先地域により異なります） |
| 対象年次 | 医学科4年生 |
| 派遣実績 | 2024年度 7名 |

クリニカル・クラークシップ 参加学生の声

現地の医学生に刺激を受けながら
実践的な能力を鍛えられた



■ 研究実習先 シンガポール国立大学（シンガポール）
■ 期間 2024年10月（2週間）

佐藤 まりの Marino Sato

大学のシミュレーションセンターで、医療現場を想定したACLS（心肺蘇生）の訓練や、技術の習得、問診の練習などを行いました。知識だけでなく、現場で正しく実施できるかについても評価され、実践的な場面での自分の至らなさを実感しました。優秀な現地の学生たちとの交流も貴重な体験でした。今後は現場に出ることを今まで以上に意識して勉強や実習に取り組むとともに、英語力の維持向上にも励みたいと思います。

■ 短期海外研修プログラム

それぞれ目的やレベルの異なる2種類の短期研修プログラムを準備しています。

シンガポール国立大学 シミュレーションセンター Experiential Simulation Program

最先端の施設とシミュレーターを備えた環境で、スキルのみではなく、コミュニケーション能力、危機管理対応、プロフェッショナリズムについて学びます。

| | |
|---------|--------------------------------------|
| 派遣時期・期間 | 6月、8月、9月、10月 / 2週間 |
| 単位 | 臨床実習（クリニカル・クラークシップ） |
| 費用目安※ | 約30～45万円程度（渡航費、宿泊費、保険料、現地での生活費等）+参加費 |
| 対象年次 | 医学科5・6年生 |

ハワイ大学 Problem-based Learning プログラム

PBL方式のグループ学習による臨床推論や身体診察、医療面接等を経験します。

| | |
|---------|----------|
| 派遣時期・期間 | 8月 / 1週間 |
| 費用目安※ | 約40～50万円 |
| 対象年次 | 医学科4～6年生 |

■ 海外クリニカル・クラークシップ

5年次のカリキュラムの一環として、海外の医療機関で診療の見学を行ったり、病棟チームの一員として実際に診療に参加するプログラムです。在学中に海外でクリニカル・クラークシップを行い、さまざまな良い刺激を受けることが、継続的な学修動機維持に役立つ他、医師になってからの臨床留学を目指す等、将来の進路選択のきっかけになることも少なくありません。



| | |
|---------|---|
| 派遣時期・期間 | 3月（プログラムによって異なる） / 2～4週間 |
| 単位 | 臨床実習（クリニカル・クラークシップ） |
| 費用目安※ | 約30万円（アジア）～100万円（欧米） （渡航費、宿泊費、保険料等 ※地域による） |
| 対象年次 | 医学科5年生 |
| 派遣実績 | 2024年度 14名 |

※費用目安は、為替・物価の変動により異なります。

■ 国家試験対策 | きめ細かい指導で高い合格率を達成

医学科国家試験対策（2024年度実績）

- 6年次の5月、9月、12月に実力試験を実施。
- 年に2回（7月、11月）の民間模試を全員受験。さらに2回（12月、1月）の民間模試受験を奨励。
- ▶ 受験結果のフィードバック（模試結果を踏まえて面談と個別指導を実施）。

医師 国家試験

合格率
2025年2月実施

97.7%

(全国平均 92.3%)
※既卒含む

国家試験対策スケジュール

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 |
|----|----------|------|----|------|----|------|-----|------|-----------|------|------|
| 医学 | | 実力試験 | | 模擬試験 | | 実力試験 | | 模擬試験 | 模擬試験・実力試験 | 模擬試験 | 国家試験 |
| | 個人面談（随時） | | | | | | | | | | |

■ 卒業後の主な進路

医学科卒業生は、医師国家試験の合格後、基本的な診療能力を身に付けることができるよう、2年間の初期臨床研修が必修化されています。初期臨床研修の後には、各診療科の専門研修（後期研修）に臨む他、大学院進学・医療分野への就職といった進路が一般的となります。

医学科 初期研修先（2025年3月卒業生）

| | 研修先 | 人数 | |
|------------|--------------------|-----|---------|
| | | 1年目 | 2年目(予定) |
| 本学 | 横浜市立大学附属病院 | 1 | 11 |
| | 横浜市立大学附属市民総合医療センター | 1 | 7 |
| 横浜市 | 横浜医療センター | 2 | 2 |
| | 済生会横浜市南部病院 | 5 | 3 |
| | 横浜市立市民病院 | 7 | 7 |
| | 横浜市立みなと赤十字病院 | 1 | 1 |
| | 横浜南共済病院 | 5 | 3 |
| | 横浜労災病院 | 3 | 3 |
| | 済生会横浜市東部病院 | 2 | 2 |
| | 国際親善総合病院 | 1 | 0 |
| | 横須賀共済病院 | 9 | 6 |
| | 横須賀市立総合医療センター | 2 | 2 |
| 神奈川県 | 藤沢市民病院 | 5 | 3 |
| | 茅ヶ崎市立病院 | 2 | 1 |
| | 平塚市民病院 | 1 | 1 |
| | 平塚共済病院 | 1 | 1 |
| | 秦野赤十字病院 | 1 | 1 |
| | 川崎市立井田病院 | 1 | 1 |
| | 海老名総合病院 | 2 | 2 |
| | 小田原市立病院 | 2 | 1 |
| | 大和市立病院 | 3 | 1 |
| | 湘南藤沢徳洲会病院 | 1 | 1 |
| 神奈川県立足柄上病院 | 3 | 2 | |

| | 研修先 | 人数 | |
|-----|-----------------|--------|---------|
| | | 1年目 | 2年目(予定) |
| 東京都 | 多摩総合医療センター | 1 | 1 |
| | 東京医療センター | 2 | 2 |
| | 東京都立広尾病院 | 1 | 1 |
| | 東京都立松沢病院 | 1 | 1 |
| | 東京都立大塚病院 | 1 | 1 |
| | 大森赤十字病院 | 2 | 1 |
| | 東京労災病院 | 1 | 1 |
| | 三井記念病院 | 1 | 1 |
| | 国立国際医療研究センター | 1 | 1 |
| | 日本赤十字社医療センター | 1 | 1 |
| 千葉県 | 武蔵野赤十字病院 | 2 | 2 |
| | 東京ベイ・浦安市川医療センター | 1 | 1 |
| 長野県 | 医療法人徳洲会千葉西総合病院 | 1 | 1 |
| | 長野中央病院 | 1 | 1 |
| 大阪府 | 市立東大阪医療センター | 1 | 0 |
| | 奈良県立医科大学附属病院 | 0 | 1 |
| 広島県 | 広島赤十字・原爆病院 | 1 | 0 |
| | 福岡県 | 九州大学病院 | 0 |
| 沖縄県 | 沖縄県立中部病院 | 1 | 1 |
| | 敬愛会中頭病院 | 1 | 1 |
| 合計 | 中部徳洲会病院 | 1 | 1 |
| | | | 83 |

大学院紹介

医学研究科

Graduate School of Medicine



医科学専攻

YCUの医科学専攻が目指すところは、基礎研究から臨床研究へ、臨床現場から研究室への双方の視点を併せ持ち、理論と実践の双方から学問を探究できる姿勢を持つ医療人材の育成です。さらには医療が行われる社会とのつながりを俯瞰し、課題解決に向けて飽くなき努力を続け、独創性と人間性の豊かな人材の輩出を目指しています。

修士課程

修士課程は、医学部医学科以外の学士課程修了者で、医学研究を希望する学生のための2年間のコースです。修了後は、博士課程に進学、あるいは企業や研究所における研究職としてのキャリアを歩みます。多様な生命現象の本質を解明する生命科学から、難治性疾患の病態形成機構の解明まで、幅広く研究が行われています。

博士課程

博士課程は、医学、歯学、薬学あるいは獣医学等の学士課程を修了した学生、大学院修士課程または博士前期課程を修了した学生を対象とした課程です。修士、あるいは博士前期課程での研究のさらなる発展や、臨床現場で生じた疑問や発想をさらに深化させる研究を展開し、先端医学をリードする研究者、教育者を育成します。



School of Medicine Nursing Course

医学部 看護学科

学位 ■ 学士(看護学)
取得できる資格 ■ 看護師国家試験受験資格
■ 保健師国家試験受験資格(選択制)

学部サイト



看護学科は、横浜市に初めて設立された公立の看護専門職の高等教育機関です。国際都市・横浜において医学部を有する総合大学の看護学科であり、高度教養教育として求められる国際性、創造性、倫理観はもとより、他者の苦しみや痛み、喜びも理解することができる豊かな人間力を持った人材の育成に取り組んでいます。

■ 看護学科カリキュラム全体像

看護学は、看護師・助産師・保健師等が活動するにあたっての専門性の根拠を、理論的・体系的に追究する実学としての学問領域です。本学科のカリキュラムは、共通教養科目と専門支持科目ならびに専門科目より構成されています。講義・演習・実習を通じて、生命の誕生から安らかな死に至るまでのすべての人々のライフステージで必要とされ、かつ保健医療福祉機関から地域在宅等におけるあらゆる看護活動の場での看護実践活動を支える看護学の基礎を体系的に教授します。卒業認定者には、看護師国家試験受験資格、保健師国家試験受験資格(選択制)が与えられます。本学の看護師国家試験および保健師国家試験の合格率は例年高い実績を収めています。



学科長 Message

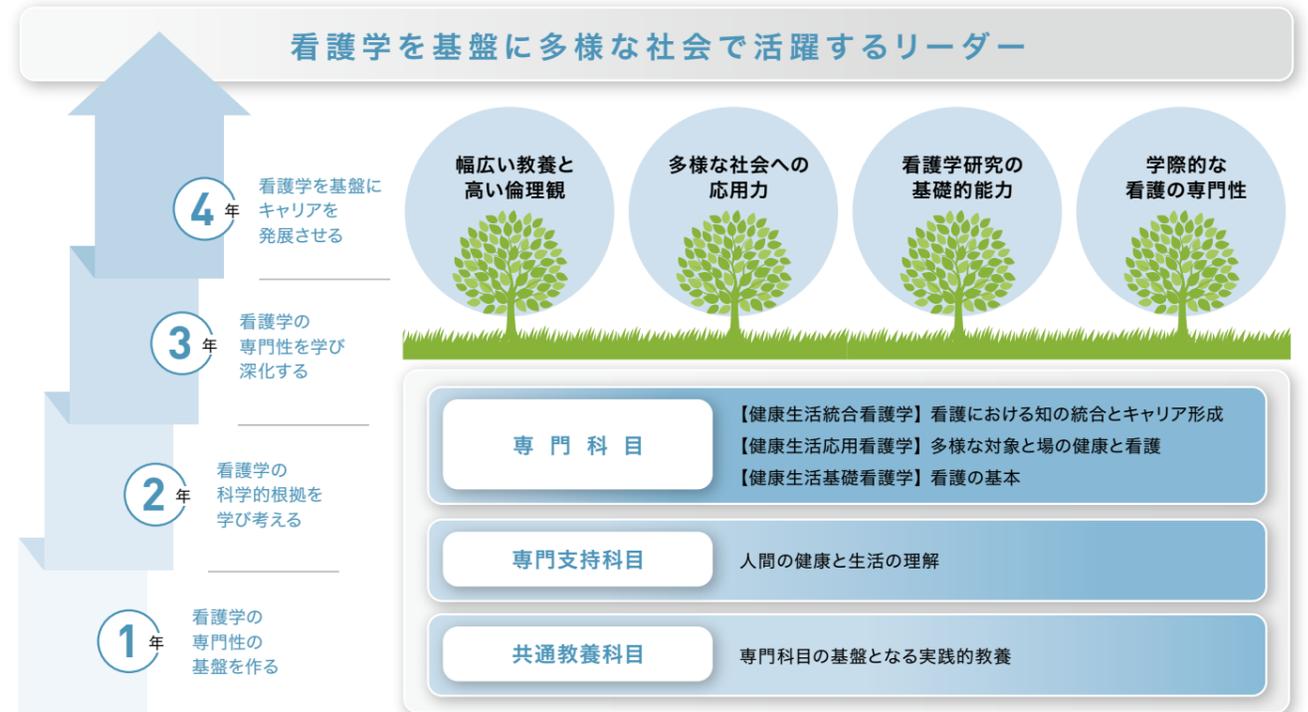


横浜から世界へ
すべての人々がHappyになる未来を目指します！

医学部看護学科長
赤瀬 智子 Tomoko Akase
看護生命科学

看護学は生活のある人々の健康を支援する学問です。そのため、本学看護学科の教育は、幅広い教養と共に、ヒトを細胞レベル、検査などは測定原理から理解することで、人々の健康の科学的根拠から“人を守る”質の高いアセスメント力につなげていきます。つまり、豊かな人間力と共にScientificな思考を持つ看護職の育成を目指しています。また、世界の看護を学ぶことができる海外研修プログラム、学生自身のキャリア志向に応じた専門的な看護実践・留学・研究が自由に選択できるキャリア形成実習は本学看護学教育の特徴です。科学的・グローバル・自由な発想から、世界中のすべての人々がHappyになるような未来を一緒に創りましょう。人の役に立ちたい！ また、探求心のある皆さんの受験をお待ちしています。

■ カリキュラム構成



■ 豊富な教育リソース・実習サポート体制

看護学科の目指す「明日の看護のリーダー」を育成するため、アクティブラーニングによる能動的学修、基礎研究等の多様な学びを深めます。



横浜市内で最高水準の医療・看護を提供する2つの附属病院が、看護学科の実習生を受け入れ、高度で実践的な指導が行われています。2つの附属病院には、本学科の卒業生が多数就職しており、技術面の指導だけでなく、学生の将来の姿(ロールモデル)となり、精神面のサポートも充実しています。さらに、実習の学修目標に合わせて、横浜市内のさまざまな施設でも実習を行っています。

■ Pick up Curriculum



専門支持科目：看護生命科学

1年次～2年次

看護生命科学では、健康に関わる諸問題・課題を理解する基盤ともなる身体の形態・機能等に加え、身体を健康との関係からミクロ・マクロの視点より理解する科目である看護形態機能学Ⅰ・Ⅱ、看護生化学、看護微生物学、看護薬理学、看護栄養学、臨床病態看護学Ⅰ・Ⅱ等を配置しています。



専門支持科目：看護社会科学

1年次～4年次

看護社会科学では、人間生活の営みの基盤となる発達や対人関係、さらに健康生活を支える仕組みを広く理解する科目である人間発達学、対人関係論、保健医療福祉行政論Ⅰ・Ⅱ、公衆衛生学等を配置しています。さらに選択科目として医療安全学、看護経済学、看護情報学、看護教育学を配置しています。



健康生活統合看護学

1年次～4年次

健康生活統合看護学は、専門共通看護学・国際看護学・統合実践看護学・キャリア形成看護学により構成されています。キャリア形成看護学では、看護専門職の実践の基盤となる基本的な知識や技術・倫理観等を各学年で積み上げながら学び、学生個々の目指すキャリアに応じた関心や課題を明確化し発展させていきます。

グローバルプログラムの紹介

看護学科では、国際化社会における看護の実践と、看護、医療、保健における国際多様性を理解することによって視野の広い看護職を育成するため、カリキュラムの中に体系的にグローバルな教育プログラムを用意しています。

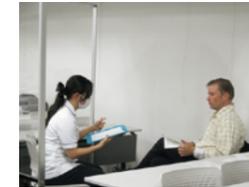
■ 多様な国際交流プログラム

英語で看護の実践を積む

国際看護学Ⅰ

1年次必須

コミュニケーションの理論や基本的なスキルを学び、医療において増加する外国人患者に対する異文化コミュニケーションを学びます。外国人模擬患者の協力を得て、看護実践を結び付けたアクティブラーニングです。



海外の看護を学び体感する

国際看護学演習Ⅱ

3・4年次

看護における国際的な視座を養うことを目的に「実践的語学トレーニング」と「ハイ看護フィールドワーク（オンライン含む）」を行います。3年次「実践的語学トレーニング」では、看護師資格を持つネイティブ英語教師のもとで語学スキルアップを目指します。4年次フィールドワークでは、米国ハワイ州の医療現場で活躍する上級看護師や看護管理者からの講義、実践の見学・交流、ハワイ大学マノア校看護学部シミュレーションセンターとの演習交流を計画しています。



途上国における国際看護の現場に飛び込む

国際看護学演習Ⅰ

2年次

母子保健を中心とした国際看護の視座を養うことを目的に、フィリピンでの海外フィールドワーク活動を実施しています。現地の大学生、医療者、住民らとの交流を通じ、異文化を五感で感じる体験や学びができます。



看護の知見を海外へ

自己のキャリアを高める多彩な留学プログラム

4年次

自らのキャリア形成を目的に、大学の国際交流ネットワークや看護学科独自のプログラムを活用し、海外留学をすることができます。また、海外での研究活動や、国際学会への参加、発表などを行います。



座学と演習に加え海外フィールドワークで 看護の肝を実感できた

医学部 看護学科 3年
静岡県 私立加藤学園暁秀高等学校卒
岡田 桜子 Sakurako Okada

助産師を志し、YCUの医学部 看護学科を志望しました。入学後の授業では2年次後期の「小児看護学演習」が印象的でした。座学で小児看護の知識を学び、演習で基本的な技術を習得しました。事例をもとにアセスメントや看護計画を立案し、入院中の子どもの安全や倫理についても考えます。子どもが主体的に治療を受けられるよう、適切な関わり方やコミュニケーションの方法を学び、成人患者とは異なる遊びなどを取り入れた関わり方は新たな学びとして新鮮でした。また、フィリピンでの母子保健に関する海外フィールドワークにも参加し、国際看護を実践的に学びました。文化、価値観、宗教など日本との違いを肌で感じ、これまで学んできた患者さんの背景を含め配慮した「個別性」が、看護の提供において必要不可欠であることを実感できました。

1日のスケジュール

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----|----|----|----|----|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|--|
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 1 | |
| 起床・朝食 | 勉強 | 登校 | 講義 | 昼食 | 講義 | 課題・休憩 | 夕食 | 部活 | 下校 | 休憩 | 課題 | 勉強 | 就寝 | | | | | | | |



ココ知り!

看護に必要なあらゆる知識を修得し 理想の看護師を目指す

医学部 看護学科 4年
神奈川県立平塚江南高等学校卒
久保 柚樹 Yuzuki Kubo

人を助ける仕事に就きたいという思いで看護師を志した自分にとって、災害時における看護の役割・重要性をグループワークで学ぶ「災害看護学」は興味深かったです。YCUの附属病院のように大きな病院は、災害時に災害拠点病院として重症・重篤な傷病者を受け入れるため、普段の病棟内とは異なる行動が求められます。一般病棟の看護師も必ず知っておくべき知識だと感じました。3年次には附属病院で臨床実習を行い、実際に患者さんの看護を経験して、気持ちに寄り添う大切さを学びました。これまで学んだ、術後や精神疾患を持つ患者さんとのコミュニケーションの際に、言葉はもちろん、表情や身振りなども用いた「ノンバーバルコミュニケーション」を通して、多様な患者さんに寄り添えるような看護師になりたいです。

1日のスケジュール

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----|----|----|----|----|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|--|
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 1 | |
| 起床・朝食 | 登校 | 講義 | 昼食 | 講義 | 下校 | アルバイト | 夕食 | 入浴 | 勉強 | 休憩 | 勉強 | 就寝 | | | | | | | | |



ココ知り!

■ 多様な学生の活動

YCUの看護学生はその多様な興味・関心や課題意識により、国内外のさまざまなフィールドに飛び出し、多角的な視点による国際交流で看護を深めています。

持続可能な都市づくり共通教育プログラム(SUDP)

全学部対象のグローバル都市協力研究センター主催のフィールドワークプログラム「SUDP」に参加しています。複数学部・研究科の学生が、公衆衛生、環境、まちづくりの観点から解決策を検討します。



国際会議への参加

看護学科学学生がさまざまな教育プログラムへの参加経験をInternational Council of Nurses (ICN) や International Academic Consortium for Sustainable Cities (IACSC) などの国際会議で発表しています。



国際交流掲示板

看護教育研究棟内には、学内・学外のさまざまな国際交流に関する情報を集めている掲示板があり、セミナー等への参加を積極的に促しています。

海外フィールドワーク 参加学生の声

グローバルな医療のあるべき姿を考えた



■ 渡航先 フィリピン
■ 期間 2024年8月 (5日間)

医学部 看護学科 3年
東京都立西高等学校卒
石原 未希 Miki Ishihara

現地の小学生に命の大切さを伝える授業を行ったり、現地の看護学生と医療課題について話し合ったりしました。さらに、医療機関やWHO事務局を訪問し、日本との共通点や違いを学びました。この経験から、一方的な援助ではなく、共にグローバルな健康問題に取り組むことの大切さを実感し、私も将来は看護師・助産師としてその一助になればと考えています。



■ 国家試験対策 | きめ細かい指導で高い合格率を達成

看護学科国家試験対策 (2024年度実績)

- 4月に4年生全員との個別面談を実施して指導・サポート。
- 看護師模試、保健師模試を年間5回実施し、ほぼ全員が受験。(4年次 4、8、10、12、1月)
- 学外のパソコン・スマートフォン等からアクセス可能な学修ツール (e-learning教材) が使用可能。
- 伸び悩んでいる学生には補習講義や随時フォローアップ面接を実施。

看護師 国家試験



保健師 国家試験



国家試験対策スケジュール

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 |
|----|-----------|----|----|----|------|----|------|--------|------|------|------|
| 看護 | 4年次 | | | | | | | | | | |
| | 個別面談 | | | | | | | 卒業論文提出 | | | |
| | 模擬試験 | | | | 模擬試験 | | 模擬試験 | | 模擬試験 | 模擬試験 | 国家試験 |
| | フォローアップ面談 | | | | | | | | | | |

■ 卒業後の主な進路

看護学科卒業生は、看護師・保健師として就職・進学等の進路を選択し、YCUでは多くが横浜市・首都圏の医療機関へ就職しています。

看護学科 就職先・進学先 (2025年3月卒業生)

| 区分 | 就職先 | 人数 | |
|-----------|-------|--------------------|----|
| 就職 看護師 | 本学 | 横浜市立大学附属病院 | 33 |
| | | 横浜市立大学附属市民総合医療センター | 34 |
| | 横浜市内 | 神奈川県立こども医療センター | 1 |
| | | 横浜市立市民病院 | 1 |
| | 神奈川県内 | たま日吉台病院 | 1 |
| | | 国立がん研究センター中央病院 | 2 |
| | 東京都 | 東京大学医学部附属病院 | 1 |
| | | 昭和大学附属病院 | 1 |
| | | 東京都立小児総合医療センター | 1 |
| | | 東京医科大学病院 | 1 |
| | | 国立育成医療研究センター | 1 |
| | | 国家公務員共済組合連合会虎の門病院 | 1 |
| 湘南美容クリニック | | 1 | |

| 区分 | 就職先 | 人数 | |
|----|-----|--------------------------|---|
| 就職 | 看護師 | その他 自治医科大学附属病院 | 1 |
| | 保健師 | 大田区役所 | 1 |
| | | 寒川町役場 | 1 |
| 進学 | その他 | 福井県庁 | 1 |
| | その他 | | 3 |
| 進学 | 本学 | 横浜市立大学大学院医学研究科 看護学専攻 | 4 |
| | その他 | 専門学校(助産)3、大学院(助産)2、その他 2 | 7 |
| 合計 | | 97 | |

看護学科 修学資金貸与制度

看護学科3・4年次で、YCU卒業後直ちに附属2病院(附属病院・附属市民総合医療センター)に就職を希望する学生に対して、修学資金を貸与する制度です。貸与を受けた期間に相当する期間、附属2病院で業務に従事した場合は返還が免除となります。また、優秀な人材確保とキャリア支援の一環として、助産課程やYCU大学院への進学期間における修学資金の返還猶予が認められています。



大学院紹介

医学研究科

Graduate School of Medicine



看護学専攻

本専攻では、専門看護師受験資格取得、助産師国家試験受験資格取得に加え、特定行為研修(術中麻酔管理領域等)を取得できます。本学部生が卒業後大学院に進学するための推薦入試もあります。また、2018年度より開設された博士後期課程では、複雑化する医療ニーズに対応できる看護理論を創造できる研究者や、専門看護師等の高度実践看護専門職を育成できる教育者を養成する、市内唯一の看護学における高度な教育・研究拠点を目指します。

博士前期課程

広い視野に立脚して看護学の専門性を追求するとともに、エビデンスに基づいた看護実践ができる専門看護師や助産師・周産期看護師をはじめとした高度実践看護師を育成し、看護学の研究能力を持って現場を変革できる看護管理者、また、高い識見を持つ教育者や研究者といった、次世代の看護をけん引するリーダーを育成します。

博士後期課程

2018年度から開設された博士後期課程では、今後ますます複雑・多様化する看護ニーズに対応できる看護スキルやシステム構築、看護理論等を開発できる看護学研究者の育成を目指しています。また、そのような看護ニーズに対応できる高度実践看護専門職やそれらを育成できる看護学教育者、さらに臨床や行政において指導的な立場で専門業務を担う人材を輩出します。



福浦キャンパス

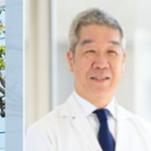
横浜市立大学

附属病院 (病床数:671床)



福浦キャンパスに医学部と共に立地する附属病院は、横浜市民の医療の最後の砦として安全かつ高度な医療を提供しています。また、医療人を養成する機関として大学の医学教育の根幹を担い、附属市民総合医療センターと協働して、多くの実習生や臨床研修医を受け入れています。さらに、地域医療連携の中枢として県内の医療機関との連携を図り、地域全体の医療の向上に貢献しています。

病院長 Message



横浜市内唯一の特定機能病院として、高度かつ先端的な医療を提供 多くの研究成果を世界に発信

附属病院長 遠藤 格 Itaru Endo

横浜市立大学附属病院は、特定機能病院として他院では診断・治療が困難な疾患を多く扱っています。隣接する先端医学研究センターや基礎医学教室との共同研究も盛んに行っており、新規医療技術の開発に力を入れています。また多職種によるチーム医療を積極的に行い、救急患者も多く受け入れ地域医療にも貢献するなど、多くの経験ができる環境を整えています。医療職は、病で苦しむ患者さんを自らの知識と技術で助け、眼の前で患者さんの喜びを感じることができる、とてもやりがいのある仕事です。

身近な実習機関として貴重な場を提供する、

2つの附属病院



横浜市南区浦舟町

横浜市立大学附属 市民総合医療センター

(病床数:655床)



横浜市立大学附属市民総合医療センター(YCU Medical Center)は、「市民の皆様信頼され『地域医療最後の砦』となる病院を創造する」ことを基本理念とする地域密着型の大学病院として、高度専門医療・救急医療を提供しています。大都市横浜市の中心に位置する当院は、患者さんを中心とする多職種協働体制のもと、他の医療機関や介護施設との連携と役割分担を進めつつ、横浜市・神奈川県の医療充実に大きく貢献しています。

病院長 Message



「YCU Medical Center: 先端医療の、その先へ」を掲げる、横浜の中心の大学病院

附属市民総合医療センター病院長 田村 功一 Koichi Tamura

最先端の高度専門医療と救急医療を担う大学病院として、高度救命救急センター、重症外傷センター、総合周産期母子医療センター、難病治療研究センター、地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院、肝疾患診療連携拠点病院、精神科救急医療基幹施設、地域医療支援病院等の指定を受けています。精緻なデータ分析による多職種協働体制のもと、優れた医療人の育成に注力し、時代を先取りした理念・基本方針を全職員が共有し、働きやすい職場環境を整備しています。

研究

研究施設・連携機関

附置研究所

先端医科学研究センター

福浦キャンパスに設置された当センターでは、がん、生活習慣病などの克服を目指した基礎研究と、その成果を臨床に応用する橋渡し研究（トランスレーショナル・リサーチ）を推進しています。



プロテオーム解析センター

臨床研究支援組織（ARO）

次世代臨床研究センター

当センター（Y-NEXT）では、臨床試験関連の法令や指針等に精通した医師、薬剤師、看護師、事務職員など多職種がそれぞれの専門性と知識をいかして、附属2病院および学外の研究者が臨床試験をスムーズに遂行できるよう多角的な支援をしています。



鶴見キャンパス

世界トップレベルの研究設備で学ぶ



理学部・生命医科学研究科の学生が、世界トップレベルの研究設備で学修、研究を行っています。隣接する理化学研究所等の外部機関と積極的に連携しています。



世界最高レベル高感度NMR（核磁気共鳴）に最大限にいかすような最先端の研究装置を用いた生体高分子の研究を行っています。



木原生物学研究所（舞岡キャンパス）

最先端の植物科学研究を舞岡から発信する



舞岡キャンパスにある木原生物学研究所は、理化学研究所等と連携し、ゲノム科学や遺伝学、バイオインフォマティクスやケミカルバイオロジーなど幅広い分野の最先端植物科学研究を通して、持続可能な社会への貢献を目指しています。



研究部門

- 植物遺伝資源科学部門
- 植物ゲノム科学部門
- 生命化学部門
- 植物エピゲノム科学部門
- 植物生理学部門

トランスレーショナル・リサーチ体制



研究支援ファシリティ

共創イノベーションセンター

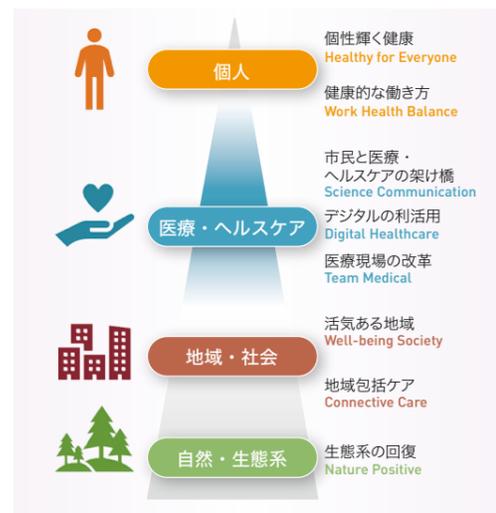
横浜・神奈川から世界へ、未来へ。
一人ひとり輝くウェルビーイングを
共に叶えることを目指して——

本学の産学連携研究のさらなる発展と社会実装に向けた中心的な役割を担う新しい産学官民連携、オープンイノベーションを推進する組織として、2024年4月にYCU共創イノベーションセンターを新設。多様なステークホルダーと共に、社会アジェンダ（社会課題・テーマ）を設定し、解決・実現を目指します。

取り組み例：



横浜市立大学共創イノベーションセンターとヨコハマSDGsデザインセンター、横浜未来機構が共同で推進



みなとみらいサテライトキャンパス

イノベーション人材の輩出や企業との新たなコラボレーションの創出



横浜ランドマークタワー7階「産学連携イノベーション拠点 NANA Lv.」内に設置され、データサイエンス研究科をはじめとする大学院教育や、社会人教育拠点としてリカレント教育も展開しています。



プロジェクトスペース

連携大学院・海外連携機関等

連携大学院とは、協定締結により外部の研究機関の研究者を大学の教員として迎え、その機関の研究環境を活用しながら研究指導等が受けられるシステムです。YCUではさまざまな機関と連携協定を締結しています。

連携大学院（一例）

| | | | |
|---------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------|
| 生命ナノシステム科学研究科 | 理化学研究所 横浜キャンパス 物質・材料研究機構 (NIMS) | 海洋研究開発機構 (JAMSTEC) NTT物性科学基礎研究所 | 農業・食品産業技術総合研究機構 |
| 生命医科学研究科 | 理化学研究所 横浜キャンパス | 産業技術総合研究所 (AIST) | 国立医薬品食品衛生研究所 (NIHS) |
| 医学研究科 | 量子医科学研究所 神奈川県立循環器呼吸器病センター | 国立感染症研究所 横浜市立市民病院 など | 国立国際医療研究センター 理化学研究所 |

海外連携機関（一例）

| | | | |
|---------------|-----------------------|-------------------------|------------|
| 生命ナノシステム科学研究科 | 台湾師範大学 | チェンマイ大学 | チューリヒ大学 など |
| 生命医科学研究科 | 光州科学技術院 | 延世大学校 | |
| 医学研究科 | サンフォード・バーナム・プレビス医学研究所 | カリフォルニア大学サンディエゴ校 (UCSD) | |

中世の歴史書から見える 当時の権力者が抱いた危機感

国際教養学部 教授
研究分野：日本文化史・日本中世史

松本 郁代 Ikuyo Matsumoto

13世紀から15世紀頃にあたる中世日本の歴史書を研究し、歴史としての「過去」がどのように表現され、利用されたのかを考察しています。

歴史叙述は、単なる史実の語りではなく、人の解釈を介した語りや表現による「過去」であり、戦略的な「過去」として作られました。

中世の日本は戦乱、末法、皇統の分立など、国の存続を揺るがす大きな危機に直面しており、そうした状況が歴史書に反映されています。時には権力の正当化や秩序の維持のために「過去」が利用されることもありました。

同じ出来事でも記述方法や視点ごとに「過去」が多角的に形成され、私たちの歴史認識に大きな影響を与えています。そこがこの研究の面白い点だと感じています。



ココ知り!

Researcher Interview

未来を切り開くYCUの最先端研究

タンパク質の構造解析で 生命の謎に迫る

理学部/生命医科学研究科 教授
研究分野：タンパク質の機能と構造

J.R.H TAME

ジェレミー テイム

タンパク質の立体構造を調べる研究をしています。タンパク質は生物にとって不可欠な分子で、細胞の維持や生命活動を支える重要な役割を担っています。現代の新薬開発では、標的となるタンパク質の構造を基に分子モデリングを行います。私の研究室では、インフルエンザなどウイルスを持つタンパク質の構造を解明し、新薬の発見につながる研究をしています。また、医療や産業への応用を目指した、新しい人工タンパク質の設計方法も探究対象です。

異なる種のタンパク質に共通の仕組みを発見することは非常に興味深いです。こうした構造の違いや環境適応の関係を解明することが、この研究の魅力です。



ココ知り!

主な研究TOPICS

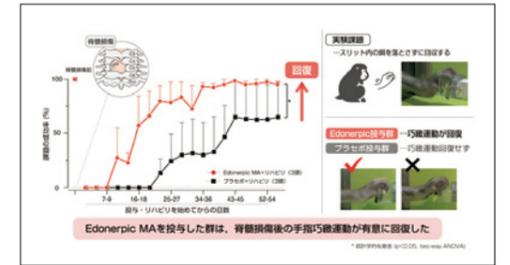
脊髄損傷による麻痺からの回復を促進する候補化合物を特定 ——「Brain Communications」に掲載

低分子化合物edonepic maleate（エドネルピク マレイン酸）が脊髄損傷後の麻痺に対するリハビリテーション効果を大きく促進することを、霊長類の脊髄損傷モデル動物で証明しました。本研究によって、低分子化合物edonepic maleateを用いた脊髄損傷に対する新たな機能回復療法の可能性が開かれました。

詳細はこちらから▶



生理学教室▶



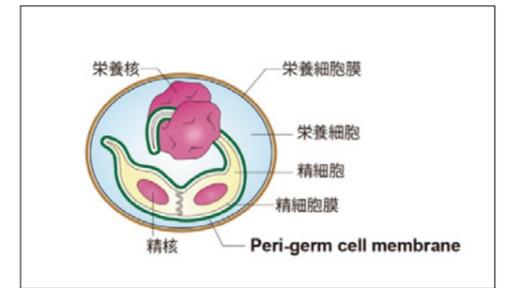
植物の精細胞を覆う膜の統一名称を決定 ——「Nature Plants」に掲載

精細胞を覆う生体膜に複数の呼称があることで植物生殖研究に混乱が生じていました。そこで、世界中の研究者との協議を重ね、精細胞を覆う膜をperi-germ cell membraneと命名しました。本名称は日本語では「生殖細胞を覆う膜」を意味します。名称を統一したことで今後の重複受精の研究と教育に重要な貢献をしました。

詳細はこちらから▶



木原生物学研究所
生命環境
システム科学専攻



YCU COI-NEXT×セガ エクスディー “ゲーミフィケーション”の効果検証を開始

YCU COI-NEXT Minds1020Labがセガ エクスディーの協力のもとで開発した、動物園内の動物たちと共に自身の生活習慣を改善する育成型ゲームアプリ「Zooレボ」を使用し、生活改善に関する検証実験を実施しました。

詳細はこちらから▶



YCU COI-NEXT
Minds1020Lab



文部科学省「地域中核・特色ある 研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」に採択

10年後のビジョンを「共創を加速する『よこはまデータサイクル』」を構築し、未来社会における高いヘルスウェルビーイングを実現すると定義し、学長のリーダーシップの下、ビジョン実現に向けた大学改革を推進していきます。また、全学での総合知の創出・活用に向けた分野融合研究を推進し、複雑化する社会問題の解決や新たな価値創造、イノベーション創出を通じた社会変革により、高いヘルスウェルビーイングが達成された未来社会を実現します。

詳細はこちらから▶



福浦キャンパスに 「オープンイノベーションラボ」が竣工

企業や研究者がワンフロアに集結する産学官連携の研究拠点スペースに加え、メタバースラボ、オープンイノベーションラボを今後配置し、「メンタルヘルス研究領域」を中心にイノベーションの創出と社会実装の加速を目指します。

詳細はこちらから▶



学生支援

YCUは学生数約5,000人という規模だからこそ、学生と教職員との距離が近く、少人数による教育やお互いの顔の見える関係が、学生一人ひとりの学びを高めます。学修面のみならず、専門スタッフによる学生相談や情報交換の場、保護者への説明会等、サポート体制も充実しています。

学生サポート



キャンパス相談

各キャンパスで公認心理師等の資格を持つカウンセラーが、心身の健康、人間関係、修学、将来の進路等、学生生活におけるさまざまな事柄に関する相談に応じます。



バリアフリー支援室

専任のコーディネーターが、病気や障害のある学生の相談や学修支援を行います。キャンパス相談や、学務部門と連携しながら、教員との調整や、個々の状況に即した対応を行っています。



保護者説明会

YCUでは在学生の保護者の皆さまを対象に、本学の教育理念や学生生活・留学・就職に関する支援等についての説明会を金沢八景キャンパス、福浦キャンパスで実施しています。



情報交換会

学生の自治団体の代表者と学生支援部門のスタッフがミーティングを行い、学生の声をダイレクトに吸い上げるとともに、主に大学行事や部活動、大学施設の利用等に関して、意見交換を行う場を設けています。

図書館

● 学術情報センター（金沢八景キャンパス）



約71万冊の豊富な蔵書と充実した学修施設

大学における学修・教育・研究のための幅広い分野の資料を所蔵しています。さまざまな場面で活用できる学修環境や、学修支援サービスも用意しています。

● 医学情報センター（福浦キャンパス）



豊富な医学情報で学修・研究と医療の現場をサポート

医学部の附属図書館として、医学・看護分野の資料を所蔵している図書館です。YCUの学生・教職員に限らず一般の方にも広く開放され、地域医療の情報拠点となっています。



キャリアサポート

キャリアサポート▶



学生支援

■ 合同企業セミナー

YCU学生の採用を積極的に検討している企業に出展いただき、学内で企業説明会を対面とオンラインで実施しています。学外で行われる企業説明会とは異なり、YCU学生のみを対象とするため、企業の人事担当者より密接なコミュニケーションを図ることができます。

合同企業セミナーの主な出展企業（法人格省略）

アクセントチュア、旭化成、イシダ、岩谷産業、内田洋行、EIZO、エクサ、NTTデータビジネスシステムズ、オービック、鹿島建設、かながわ信用金庫、川崎汽船、キャンマーケティングジャパン、グンゼ、佐藤製薬、JA共済連 神奈川、清水建設、スズキ、鈴与商事、住友大阪セメント、住友生命保険、住友電工、全国健康保険協会（協会けんぽ）、ゼンショーホールディングス、ソニー銀行、第一生命、大成建設、高島屋、竹中工務店、帝人、テルモ、東亜石油、東京海上日動、TOKAIグループ、トクヤマ、ドコモ・データコム、都市再生機構（UR都市機構）、日産自動車、ニッポン、日本政策金融公庫、日本発条、白元アース、長谷工コーポレーション、八十二銀行・長野銀行、東日本旅客鉄道（JR東日本）、フコク生命、フコク物産、雪印種苗、横浜ゴム、リソな銀行 他



■ キャリア相談

専門のキャリアコンサルタントを配置し、エントリーシート添削・模擬面接等、就職活動の具体的なアドバイスなどマンツーマンで相談に応じています。

■ Uターン・Iターン支援

学生は、就職を希望する地域の就職支援パートナーシップ制度参加13大学で地元企業の求人情報閲覧や就職支援部署のラウンジ等の利用、個別相談等の就職支援を受けられます。関東圏以外の出身で、卒業後に地元へ戻る学生への支援も充実しています。

■ キャリアサポーター制度

YCUの卒業生が在学生のキャリア・就職支援を行う制度です。学生が、サポーターとして登録している3,500名以上の卒業生を就職先企業名で検索し、直接コンタクトを取ることができ、職場の雰囲気や仕事内容および就職活動でのエピソード等、会社説明会や人事担当者からは得られない話を聞くことができます。

■ キャリアメンター制度

就職活動を終了した4年生、博士前期課程（修士課程）2年生が、就職活動を控えた3年生や博士前期課程（修士課程）1年生の相談相手となって就職活動を支援する制度です。先輩からリアルな体験談や、アドバイスをもらうことができます。

就職支援パートナーシップ制度参加大学



内定者の声

- 内定先 アサヒ飲料株式会社
- 就職活動期間 12カ月 ■ 内定社数 4社
- 総応募社数 約20社

国際商学部 国際商学科 2025年3月卒業
神奈川県立相模原高等学校卒

前田 恵 Megumi Maeda

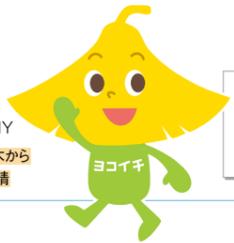
キャリア支援センター主催の就活ガイダンスに参加した際に、「学生時代に力を入れたこと（ガクチカ）」を講師の方に見ていただきました。当時在籍していた軽音楽部での活動についてアドバイスをいただき、それを取り入れたことで、ガクチカの内容が充実しただけでなく、自分だけでは得られなかった新しい視点や、経験を得ることができました。また、進路では民間企業と公務員のどちらに進むべきか迷っていましたが、キャリア相談で両者の特徴や対策を丁寧に教えていただき、模擬面接を通じて完全に準備を進められました。さらに、ゼミの指導教員の先生にも多くの相談に乗っていただき、これまで学んできたマーケティングをいかせる進路を冷静に見極められました。納得できる進路を選ぶことができ、心から感謝しています。



キャリア支援センターの
的確なアドバイスと丁寧なサポートで、
納得できる進路を選べた

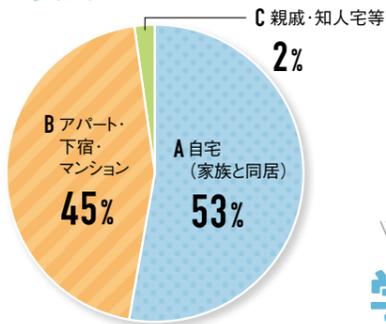
MASCOT

ヨッチー YOCHY
YCUのイチヨウ並木から
生まれたイチヨウの精

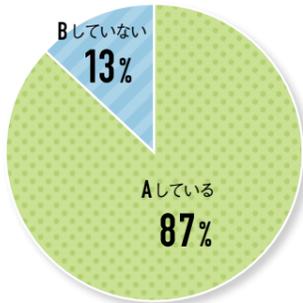


性格…お調子者で元気いっぱい。海外旅行のために
苦手の英語も頑張る努力家
仕事…イチヨウの葉の色付け
特技…マジック **モットー**…時代に流されない

Q 現在住んでいる
ところは何処？



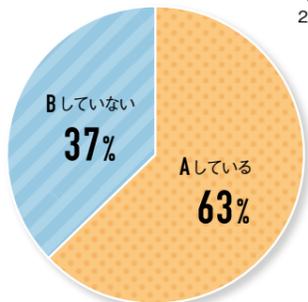
Q アルバイトは
していますか？



数値で見る 学生生活

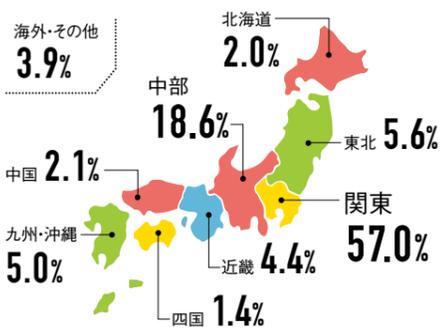
2022年度学生生活アンケート
(学部生の回答結果)、
2023年度入試結果より

Q 部活動・サークル
活動等を
していますか？



Q 出身地は？

※2023年度入学者出身高校をもとに作成



Student's Voice

Q YCUのキャンパスはどんな雰囲気？

すごく落ち着いている。さらに、
季節によって異なる風景を
楽しむことができるのが魅力。

Q 1人暮らしの
苦しいところ・
楽しいところは？

日常の家事や規則的な生活の
維持が大変だけど、生活の自由度が
広がるのは楽しい！

Q YCUのいいところは？

立地がいいところと、
授業が少人数制なので、
友達ができやすいところ！

Q 楽しいな
イベントは？

なんといっても
YCUの学園祭である
「浜大祭」

Q キャンパスライフの
スタートで大事なことは？

自分が没頭できることを
見つけること！

Q 横浜ってどんな
ところ？

都会と田舎の中間ぐらい
という感じの、落ち着いた街。

YCUの1年

(参考:2025年度予定)

● 共通年間スケジュール 国際教養学部/国際商学部/理学部/データサイエンス学部/医学部

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---|--------------------------|-----------------------|--------------------|---|---|
| ●入学式 ●新入生 オリエンテーション ●前期授業開始 ●履修登録申請 ●1学期授業開始(医学科) ●前期授業開始(看護学科) | ●新入生研修(医学科) ●履修登録確認期間 | ●東京都立大学との 運動部総合定期戦 | ●東日本医科学生 総合体育大会 | ●前期終了/夏季休暇 ●ゼミ合宿 ●海外派遣プログラム (夏期) ●関東甲信越大学 体育大会 | ●後期授業開始 ●後期履修申請 ●2学期授業開始(医学科) ●後期授業開始(看護学科) ●実験動物慰霊祭(医3年) ●ご遺骨返還式(医2-6年) |

関心があるのは
国際問題！



YCU生の1日

ベンアブダラ テスニム
Benabudara Tesunimu

国際教養学部 国際教養学科 3年
福島県 私立会津若松ザベリオン高等学校卒

憧れていた都市・横浜で
国際関係を存分に学ぶ
充実の日々

昔から横浜に憧れがあり、国際関係の
学問を学びたかったのでYCUに進学し
ました。1人暮らしは期待より不安が大
きく、最初の3カ月はホームシックでし
たが、次第に生活にも慣れ、今では充
実した日々を送っています。
大学生が各国の国連大使のように国際
問題の解決策を議論する模擬国連研
究会にも1年次から参加しています。ど
うしたら難民問題や紛争問題を解決
できるのか、今後も自分に問い続け
たいです。将来は、今学んでいる国際
関係論を飛び越え、ソーシャルビジ
ネスとの連携なども考え、海外の大
学院への進学も視野に入れています。

1カ月の生活費

| 収入 | | 支出 | |
|---------|-----|--------|-----|
| 仕送り: | 6万円 | 食費: | 2万円 |
| アルバイト代: | 9万円 | 娯楽費: | 2万円 |
| | | 公共料金: | 1万円 |
| | | 家賃: | 7万円 |
| | | 生活備品費: | 1万円 |

YCU トリビア

YCUの「じつは...」な情報
をお届けします！

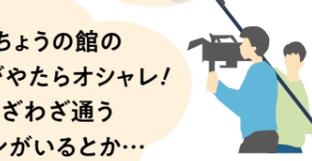


「青春ブタ野郎」シリーズ
<大学生編>に登場する
大学のモデルとか…



時々、ドラマ*の撮影
に使われている！

いちよの館の
トイレがやたらオシャレ！
わざわざ通う
ファンがいるとか…



時計台の間を
通ると単位を落とす
という噂が…！

*金沢八景キャンパス「ブラッシュアップライフ」、初めて恋をした日に読む話、
福浦キャンパス「ザトラベルナース」、附属病院「九十歳。何がめでたい」等

● 金沢八景キャンパス 国際教養学部/国際商学部/理学部/データサイエンス学部/医学部(1年)/大学院
● 福浦キャンパス 医学部 医学科(2~6年)・看護学科(2~4年)/大学院

| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---|---|------------------------------------|--|--|-----------------------------|
| ●防災訓練 ●履修登録確認期間 ●共用試験 臨床実習後OSCE(医6年) | ●浜大祭 ●Medical Festival ●共用試験CBT(医4年) ●医学のために献体された 方々への感謝の集い | ●冬季休暇 ●卒業論文提出 ●共用試験OSCE(医4年) | ●卒業論文発表会(文系) ●3学期授業開始(医学科) ●白衣授与式(医4年) | ●後期終了 ●海外派遣プログラム (春期) ●卒業論文発表会(理系) ●医師国家試験 ●看護師/保健師国家試験 | ●卒業式 ●医学部-医学研究科 学位授与式 |

※変更になる可能性があります。

くつろぎの場所
カメラア
ホール前



Schedule (1年次)



講義中



チキン竜田丼
が好き!



下校中。
通学は
いつも徒歩



Club/Circle

クラブ/サークル



女子グランドホッケー部(金沢八景キャンパス)



YCU SUP team(金沢八景キャンパス)



医学部少林寺拳法部(福浦キャンパス)



医学部YDC(福浦キャンパス)



オリエンテーリング部(金沢八景キャンパス)



混声合唱団(金沢八景キャンパス)



ジャグリングサークルしゃかりきバンダ(金沢八景キャンパス)



サッカー部(金沢八景キャンパス)



剣道部(福浦キャンパス)

YCUの部活、サークルの団体数は、運動系・文化系を合わせて約100。
アルバイトやボランティア活動、インターンシップ等の活動と両立しながら、
それぞれの目標に向かって励んでいます。もうひとつの大学生活の選択肢はさまざまです。

キャンパスライフ▶



金沢八景キャンパス

運動部連合会所属団体

アーチェリー部/アメリカンフットボール部/
ウインドサーフィン部/応援団チアリーダー部Seagulls/
オリエンテーリング部/空手道部/弓道部/
男子グランドホッケー部/女子グランドホッケー部/
剣道部/男子硬式庭球部/女子硬式庭球部/
硬式野球部/サッカー部/柔道部/
準硬式野球部/水泳部/スキー部/
卓球部/テコンドー部/軟式野球部/
男子バスケットボール部/女子バスケットボール部/
バドミントン部/男子バレーボール部/
女子バレーボール部/男子ハンドボール部/
女子ハンドボール部/男子フットサル部/
女子フットサル部/ヨット部/ラグビー部/
陸上競技部/YCU SUP team

文化部連合会所属団体

アカペラシンガーズvoxbox/囲碁将棋部/
映画研究部/演劇研究部/科学倶楽部/
かるた会/管弦楽団/ギター部/
軽音楽部SESSION/混声合唱団/茶道部/
ジャグリングサークルしゃかりきバンダ/吹奏楽団奏/
Second Wind Jazz Orchestra/探検部/
ダンス部ALMA/天文部137Mel/陶芸部/
パソコン部 CLiP/学生会HAKKEY+/
美術部/ピアノ会/文芸部/
漫画研究部/三浦半島研究会/TEHs

サークル運動系

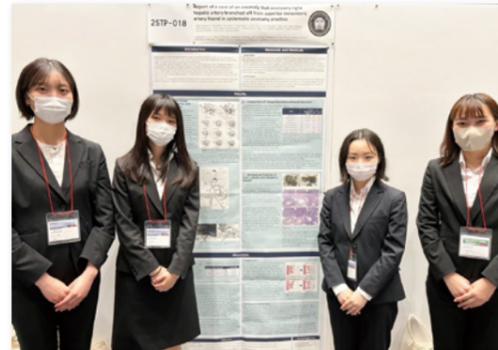
合気道同好会/ワンダーフォーゲルサークル/
NPC-どんぱち

サークル文化系

YCUデジフォトサークル



管弦楽団(金沢八景キャンパス)



解剖道場(福浦キャンパス)



Hair for Children(福浦キャンパス)



ダンス部zer0(福浦キャンパス)



ヨット部(福浦キャンパス)

福浦キャンパス

医学部運動部連合会所属団体

剣道部/硬式庭球部(男子)/硬式庭球部(女子)/
硬式野球部/ゴルフ部/サッカー部/
柔道部/医学部少林寺拳法部/水泳部/
ソフトテニス部/卓球部/ダンス部zer0/
バスケットボール部男子/バスケットボール部女子/
バドミントン部/男子バレーボール部/
女子バレーボール部/フットサル部/
ヨット部/ラグビー部

医学部文化部連合会所属団体

機械情報医学研究会(旧We×Medicine)/
ACLS研究会/茶道部/
手話サークルあしながおじさん/学生赤十字奉仕団/
ちちんぷいぷい/東洋医学研究会/
美術愛好会/福浦倶楽部(軽音)/
福浦絃楽舎/分子医学研究会/Hepburn's/
Yokohama Medical Klavier(ピアノ会)/
外科手技研究会/解剖道場/医学部YDC/
いのちの授業グループ/YCU救急サークル/
横浜IFMSA/Hair for Children/ジャズ研究会

2025年4月現在

Campus Map 金沢八景キャンパス

キャンパスマップ

■ 国際教養学部 ■ 国際商学部 ■ 理学部 ■ データサイエンス学部 ■ 医学部(1年次)

アクセス
 横浜駅から約**18分** / 品川駅から約**40分** /
 羽田空港から約**40分** (京浜急行線利用)

「金沢八景駅」から徒歩5分という好立地に、緑に囲まれたキャンパスがあります。コンパクトにまとまったキャンパスでは、アットホームな雰囲気の中、学生たちが勉学やサークル活動に励んでいます。正門から続くイチョウ並木は、春夏秋冬でさまざまな表情を見せ、訪れた人たちの心を和ませてくれます。落ち着いた雰囲気が漂うキャンパスは、映画やドラマの撮影にも使われます。



2 イチョウ並木
 1948年に横浜医科大学予科(医学部医学科の前身)の学生たちが植えたものです。



3 総合体育館
 アリーナに加えて、空手・剣道場、柔道場、トレーニングルーム、温水プールを備えた体育館です。学生の課外活動や、各種イベントに活用されています。



トレーニングルーム



温水プール



↓ 学生のお気に入り ↓
いちょうの館
 学生のためのスペース。ガラス張りで明るく開放的な空間は、仲間とのミーティングやグループ学修にも活用されています。



4 市大交流プラザ(いちょうの館)
 YCU創立75周年記念事業のひとつとして、卒業生からの寄付金等をもとに建設。広く市民の方々や企業の皆さまと学生、卒業生、教職員が相互に交流を深める場として活用されています。



1 理学系研究棟
 理学部の実験室、演習室や研究室があります。



8 シーガルセンター
 約700席の食堂をはじめ、売店やホール、スタジオ、国際交流室等、学生生活を充実させるさまざまな施設が揃っています。



9 第2グラウンド
 全面に人工芝が敷かれた多目的グラウンドとテニスのオムニコート3面からなる第2グラウンドでは、主に運動部が活動しています。



↓ 学生のお気に入り ↓
Library Students Plaza
 学術情報センター内で会話やディスカッションもOKのオープンスペース。机や椅子を自由に動かすことができ、YCU生たちはグループ発表の準備やセミナー等に活用しています。



7 時計台
 YCUのシンボルとなるオブジェです。敷地内の中央に位置し、学生たちが待ち合わせの場所としても利用しています。



6 保健管理センター
 医師・保健師・看護師・臨床心理士が各キャンパスで対応しています。急なケガや体調不良に対する応急処置だけでなく、人間関係や学業等さまざまな悩み・心配事の相談にも応じています。



5 YCUスクエア
 YCUの新たなシンボル。白を基調とした明るく開放的なデザインで、地域の方々や学生、教員が積極的に活動・交流するスペースとして活用されています。

横浜駅から約**18分**。
 コンパクトで緑豊かなキャンパス

Campus Map 福浦キャンパス

キャンパスマップ

■ 医学部 (2年次以上)

アクセス シーサイドライン「市大医学部駅」直結。



「金沢八景駅」より約**10分**

シーサイドラインの「市大医学部駅」とキャンパスが直結されたアクセスの良さ。キャンパスは大学附属病院と隣接しており、早くから医療現場を体験することができます。また、サッカー、野球等が可能なグラウンドの他テニスコートが3面、体育館、サークル棟を完備し、充実した運動設備に恵まれています。



1 先端医科学研究センター

がんや生活習慣病等の克服に向けた最先端の医学研究を行う共同実験施設等が整備され、その成果を市民に還元できるような研究開発が行われます。



2 基礎研究棟

臨床医学・基礎医学を担当する教員の研究室があります。附属病院での診察と並行して、臨床・基礎分野での研究が行われています。



3 臨床研究棟



4 保健室

看護師が常駐しており、ケガや体調不良に対する応急処置や一般的な健康相談に応じています。



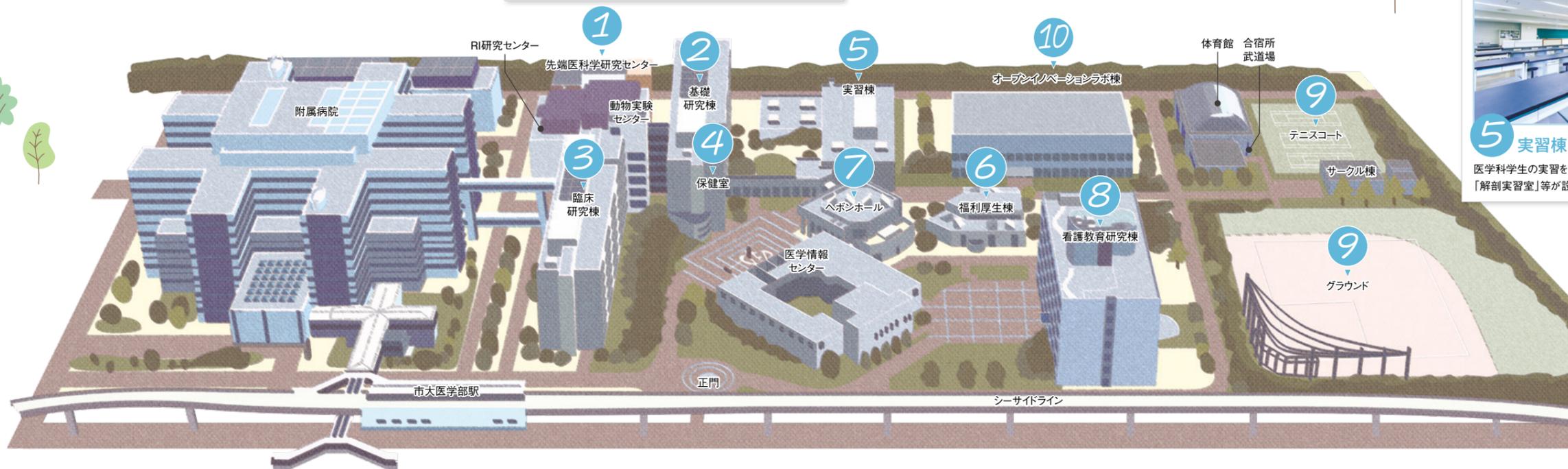
5 実習棟

医学科学生の実習を行うための施設。実習室は「組織実習室」「解剖実習室」等が設置されています。



10 オープンイノベーションラボ棟

2025年3月竣工。企業や研究者が集結する産学官連携の研究拠点スペースに加え、メタバースラボ、オープンイノベーションラボを今後配置し、イノベーションの創出と社会実装の加速を目指します。



学生のお気に入り

6 福利厚生棟 (食堂)

医学部生のお腹を満たしてくれる医学部食堂はカフェテリア方式。隣に併設されている購買部では、医学書や看護の専門書、白衣や聴診器等も取り扱っています。

大学附属病院と隣接。

医療現場に近いキャンパス



7 ヘボンホール (講義棟1階)

横浜近代医療の歴史は、アメリカ人のヘボン博士の横浜における開業医活動から始まりました。その功績を称える趣旨で医学科講義棟1階の多目的ホールを「ヘボンホール」と名付けました。



8 看護教育研究棟

多くの講義室の他に、領域毎の看護学実習室があり、講義や演習をはじめ、さまざまな催しに利用されています。また、棟内にはラウンジがあり、ランチタイムや講義の合間にほっとひと息ついたり、おしゃべりしたりと楽しく過ごすスペースが用意されています。



看護教育研究棟1階

看護教育研究棟の1階は、福浦キャンパスの中では知る人ぞ知る癒しスポット。陽の光が温かく降り注ぐ窓際のソファで思わずほっこり。お昼休み等には、学生が奏でるグランドピアノの音色に癒されます。



9 テニスコート・グラウンド

キャンパス内には、テニスコートの他、グラウンド、体育館、武道場のスポーツ設備に加えて合宿所も整っています。



学費・奨学金

■ 学費等

◆は毎年納入。(2025年度実績/単位:円)

| 項目 | 入学区分 | 国際教養学部 国際商学部 | | 理学部 データサイエンス学部 | | 医学部 | | | |
|------------|-------------------------------------|-------------------------------|---------|-------------------------------|---------|---|---------|------------|---------|
| | | 市内※1 | 市外 | 市内※1 | 市外 | 医学部医学科 | | 医学部看護学科 | |
| | | 市内※1 | 市外 | 市内※1 | 市外 | 市内※1 | 市外 | 市内※1 | 市外 |
| 学費 | 入学金 | 141,000 | 282,000 | 141,000 | 282,000 | 141,000 | 282,000 | 141,000 | 282,000 |
| | 施設設備費(初年度のみ) | 25,000 | 50,000 | 25,000 | 50,000 | 150,000 | 200,000 | 25,000 | 50,000 |
| | 授業料※2◆ | 557,400 | | 557,400 | | 573,000 | | 557,400 | |
| | 実験実習費(2年次以降)※2◆ | — | | 16,700 | | 35,000 | | 16,700 | |
| 諸会費 | 学術研究会会費 | 2,000 | | 2,000 | | 2,000 | | 2,000 | |
| | 後援会会費 | 50,000 | | 50,000 | | 50,000 | | 50,000 | |
| | 進交会(同窓会)入会費 | 5,000 | | 5,000 | | 5,000 | | 5,000 | |
| | 自治会入会費 | 3,000 | | 3,000 | | 3,000 | | 3,000 | |
| | 自治会会費 | 12,000 | | 12,000 | | 18,000 | | 12,000 | |
| | 俱進会会費(医学科同窓会会費) | — | | — | | 30,000(6年分) | | — | |
| 保険料※5 | 学生教育研究災害傷害保険 保険料※3 | 3,300(4年間) | | 3,300(4年間) | | 4,800(6年間) | | — | |
| | 学生教育研究災害傷害保険 付帯学生生活総合保険 保険料※4 | 補償内容により 36,790~80,310(4年間) | | 補償内容により 36,790~80,310(4年間) | | 59,310~(6年間) [一人暮らし学生用] 51,050~(6年間) [自宅学生用] | | — | |
| | 日本看護学校協議会共済会 保険料 | — | | — | | — | | 7,000(1年間) | |
| | 生活協同組合出資金※6 | 30,000 | | 30,000 | | 30,000 | | 30,000 | |
| 初年度納付金合計※7 | 795,400 | 961,400 | 795,400 | 961,400 | 972,000 | 1,163,000 | 795,400 | 961,400 | |
| 入学時納付金合計※8 | 238,000 | 404,000 | 238,000 | 404,000 | 399,000 | 590,000 | 238,000 | 404,000 | |

※1.入学区分の「市内」とは、入学の日の1年以上前(2025年4月1日)から引き続き本人またはその扶養義務者が横浜市内に住居を有する場合に該当します。
 ※2.本学入学後に授業料・実験実習費が改定された場合は、改定後の授業料・実験実習費が適用されます。なお、授業料は分納(5月・10月)です。
 ※3.被保険者が正課、学校行事、学内での課外活動、届出した学外での課外活動中に傷害を受けた場合に対象となります。任意加入ですが、授業等で実習を行う場合、受入先から加入を求められる場合があります。(理学部のみ加入必須)
 ※4.学校の内外を問わず、学生自身のケガや病気の他、他人に対する賠償事故や臨床実習中における事故等を補償します。
 ※5.保険料は入学後のお支払いとなります。
 ※6.生活協同組合に加入する際は、出資金が必要です。(出資金は、卒業または退学時に定款の定めに基づき返還されます)
 ※7.「初年度納付金合計」は、保険料、生活協同組合出資金、実験実習費を除いた合計額です。
 ※8.「入学時納付金合計」は、入学金・施設設備費・諸会費の合計金額です。

諸会費とは

YCUでは、入学者の皆さんに学生生活の充実、福利厚生上の向上、教育・研究活動の援助を目的とした活動を行う各団体(学術研究会、後援会、進交会、自治会)への加入をお願いしています。諸会費は、各団体が行っているさまざまな支援(課外活動、就職関係、資格取得関係、留学関係、研究関係等)の財源となります。また、キャンパス内へのベンチの設置や学内のICT環境の整備等も後援会の助成により行われています。



■ 奨学金等

横浜市立大学および横浜市立大学後援会は、学生の皆さんが有意義な大学生活を送れるようバックアップしていきます。本学で受けられる経済支援・報奨制度等についての詳細は本学WEBサイトよりご確認ください。



■ 在学中に家計が急変した際の救済制度

生計維持者の死亡や事故、病気等、予期できない事由や災害等で家計が急変した場合には、年間を通じて申請することができます。各制度の詳細は本学WEBサイトよりご確認ください。

- 高等教育の修学支援新制度 家計急変採用
- 日本学生支援機構奨学金(貸与型) 緊急・応急採用
- 緊急応急対応型授業料減免(本学独自の経済支援制度)
- 災害見舞金(本学独自の経済支援制度)
- 生協たすけあい奨学制度

受験をお考えの方へ

「YCU受験生ポータルサイト」では、高校生・受験生や保護者の皆さまに向けてさまざまな情報を発信しています。

■ 各種資料請求

「募集要項」等の資料は下記の方法で入手できます。詳しくは本学WEBサイトをご確認ください。



- テレメールで請求
- モバっちょで請求
- 直接受け取る

■ インターネット出願

一般選抜(前期・後期日程)および公募制学校推薦型選抜は、インターネット出願になります。募集要項はダウンロード式となります。



■ イベント情報

オープンキャンパス情報はこちらから!

進路説明会やガイダンス、各種イベント情報などを発信しています。詳しくは本学WEBサイトをご確認ください。



■ 受験生のためのWEBマガジン **ヨコ知リ!**

現役学生の生き生きとした姿や、教員、学生を身近に感じてもらえるような、YCUの魅力をお伝えしています! ぜひご覧ください。

YCUで発見した
激レアなヨコイチ生を
深掘りした動画です!

現役大学生激レア、凶鑑

受験生応援PVを
配信!
学生が
「受験生を応援したい」
という思いで
動画を制作しました。

ヨコ知リ!

■ SNSで最新情報を発信

X、Instagram、Facebook、LINE、YouTubeでさまざまなYCU情報を発信中。公式アカウントをフォローして、YCUをもっと知ろう!



ID: @YCU_koho
アカウント名: 横浜市立大学
https://twitter.com/YCU_koho

ID: yokohama_city_university
アカウント名: 横浜市立大学 (YCU)
https://www.instagram.com/yokohama_city_university/

ID: YokohamaCityUniv
アカウント名: YCU横浜市立大学
https://www.facebook.com/YokohamaCityUniv

ID: @yokoichi
アカウント名: 横浜市立大学
https://page.line.me/yokoichi

ID: YokohamaCityUniv
https://www.youtube.com/YokohamaCityUniv

アドミッションズセンター —Instagramアカウント



イベント情報配信中!

ID: ycu_admi2055
アカウント名: 横浜市立大学 アドミッションズセンター
http://www.instagram.com/ycu_admi2055/

PUSH通知機能

大学からのお知らせを、お手持ちのスマートフォンのプッシュ通知機能で受け取ることができます。ぜひご登録ください!



YCUの各種情報をチェック!

「がんばれ国公立大学受験生!!」サイトから、入試をはじめとする本学の情報を見ることができます。メールマガジンの登録をすれば、本学からのお知らせが自動的に配信されます。



http://ycu.jp/

入試概要

入試制度・募集人員

| | 一般選抜 | | 特別選抜 | | | | | | | | | 計 |
|------------|--------------------------|---------------------------|-----------------|------------------|---|---------------|-----------------|------------------|----------------|---------|-----|------|
| | （前期日程） （後期日程） 一般選抜 | 公募制 学校推薦型選抜 | 指定校制 学校推薦型選抜 | 特別公募制 学校推薦型選抜 | 総合型選抜 | 海外帰国生 特別選抜 | 国際バカロレア 特別選抜 | 科学オリンピック 特別選抜 | 外国人留学生 特別選抜 | 社会人特別選抜 | | |
| 国際教養学部 | | | | | | | | | | | | |
| 国際教養学科 | 前 150名 | A方式 100名 B方式 50名 | 30名 | 65名 | — | 25名 | 若干名 | 若干名 | — | 若干名 | 若干名 | 270名 |
| 計 | 150名 | | 30名 | 65名 | — | 25名 | 若干名 | 若干名 | — | 若干名 | 若干名 | 270名 |
| 国際商学部 | | | | | | | | | | | | |
| 国際商学科 | 前 190名 | A方式 130名 B方式 60名 | 15名 | 50名 | — | 5名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 260名 |
| 計 | 190名 | | 15名 | 50名 | — | 5名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 260名 |
| 理学部 | | | | | | | | | | | | |
| 理学科 | 前 75名 後 7名 | A方式 55名 B方式 20名 | 13名 | 40名 | — | 5名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 140名 |
| 計 | 82名 | | 13名 | 40名 | — | 5名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 140名 |
| データサイエンス学部 | | | | | | | | | | | | |
| データサイエンス学科 | 前 40名 後 5名 | | — | 10名 | — | 5名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 60名 |
| 計 | 45名 | | — | 10名 | — | 5名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 60名 |
| 医学部 | | | | | | | | | | | | |
| 医学科 | 前 70名 | 一般 58名 地域 9名 指定 ※3名 | — | — | 県内 地域 10名 指定 ※3名 県外 地域 6名 指定 ※2名 | — | — | 一般2名 | — | — | — | 93名 |
| 看護学科 | 前 55名 | A方式 40名 B方式 15名 | — | 40名 | 5名 | — | — | 若干名 | — | — | — | 100名 |
| 計 | 125名 | | — | 40名 | 26名 | — | — | 2名 | — | — | — | 193名 |
| 大学 | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 592名 | | 58名 | 205名 | 26名 | 40名 | 若干名 | 2名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 923名 |

（医学部医学科募集枠） 一般：一般枠 地域：地域医療枠 指定：神奈川県指定診療科枠 ※神奈川県指定診療科枠の募集人員については、臨時定員継続認可後の予定数

出願方法

※本学では、入試によって出願方法が異なります。インターネット出願対象の入試、非対象の入試がございますので、下記をご確認ください。
出願の詳細については、募集要項および本学受験生ポータルサイトにてご確認ください。

インターネット出願対象の入試

- 一般選抜（前期日程・後期日程）
- 公募制学校推薦型選抜

紙出願対象の入試（請求方法は本学受験生ポータルサイト参照）

- 総合型選抜
- 海外帰国生特別選抜
- 国際バカロレア特別選抜
- 科学オリンピック特別選抜
- 外国人留学生特別選抜
- 社会人特別選抜
- 特別公募制学校推薦型選抜
- 指定校制学校推薦型選抜（指定校に送付）

入試日程

※9～12月は2025年、1～3月は2026年

※入試日程は変更になる場合があります。必ず入学者選抜要項で最新の情報を確認してください。

大学入学共通テスト

| 区分 | 出願期間 | 試験日 |
|-----------|-------|-----------------|
| 大学入学共通テスト | 10月上旬 | 1月17日（土）・18日（日） |

一般選抜

| 区分 | 出願期間 | 試験日 | 合格発表日 |
|------|------------------|-----------------|------------|
| 前期日程 | 1月26日（月）～2月4日（水） | 2月25日（水）・26日（木） | 3月10日（火） |
| 後期日程 | 1月26日（月）～2月4日（水） | 3月12日（木） | 3月20日（金・祝） |

特別選抜

| 区分 | 出願期間 | 試験日 | 合格発表日 |
|--|-------------------|---|---|
| 総合型選抜 （国際教養学部／国際商学部／理学部） | 9月1日（月）▶ 3日（水） | 1次 書類審査 2次 10月11日（土） | 1次 9月26日（金） 2次 11月4日（火） |
| 総合型選抜 （データサイエンス学部） | 10月8日（水）▶ 10日（金） | 1次 書類審査 2次 11月22日（土） 3次 <大学入学共通テスト> | 1次 11月4日（火） 2次 12月1日（月） 3次 2月11日（水・祝） |
| 海外帰国生特別選抜 | 9月4日（木）▶ 8日（月） | 10月4日（土） | 11月4日（火） |
| 国際バカロレア特別選抜 （国際教養学部／国際商学部／理学部／データサイエンス学部） | 9月4日（木）▶ 8日（月） | 10月4日（土） | 11月4日（火） |
| 国際バカロレア特別選抜 （医学部医学科） | 10月29日（水）▶ 31日（金） | 1次 書類審査 2次 12月6日（土） 3次 書類審査 | 1次 11月18日（火） 2次 12月16日（火） 3次 1月23日（金） |
| 国際バカロレア特別選抜 （医学部看護学科） | 11月4日（火）▶ 6日（木） | 11月22日（土） | 12月1日（月） |
| 科学オリンピック特別選抜 | 9月4日（木）▶ 8日（月） | 10月4日（土） | 11月4日（火） |
| 外国人留学生特別選抜 | 9月4日（木）▶ 8日（月） | 10月4日（土） | 11月4日（火） |
| 外国人留学生特別選抜 第2期募集 （国際教養学部／国際商学部／理学部） | 1月26日（月）▶ 28日（水） | 2月25日（水） | 3月10日（火） |
| 社会人特別選抜 | 9月4日（木）▶ 8日（月） | 10月4日（土） | 11月4日（火） |
| 指定校制学校推薦型選抜 | 11月4日（火）▶ 6日（木） | 11月22日（土） | 12月1日（月） |
| 公募制学校推薦型選抜 | 1月6日（火）▶ 23日（金） | <大学入学共通テスト> | 2月11日（水・祝） |
| 特別公募制学校推薦型選抜 （医学部医学科） | 11月4日（火）▶ 6日（木） | 1次 書類審査 2次 12月6日（土） 3次 <大学入学共通テスト> | 1次 11月18日（火） 2次 12月16日（火） 3次 2月11日（水・祝） |
| 特別公募制学校推薦型選抜 （医学部看護学科） | 11月4日（火）▶ 6日（木） | 1次 書類審査 2次 11月22日（土） 3次 <大学入学共通テスト> | 1次 11月14日（金） 2次 12月1日（月） 3次 2月11日（水・祝） |

2025 入試結果

2025年度 一般選抜 入試結果 (入試実施状況)

| 学部 | 学科 | 募集人員 | 志願者数 | 志願倍率 | 第1次選抜合格者数 | 受験者数 | | 合格者数 | | 追加合格者数 | 入学者数 |
|------------|----------------|------|---------------------|------|-----------|-------------------|---------------|------------|---------------|--------|---------------|
| | | | | | | 上段(女子) | 下段(現役) | ※追加合格者数を含む | | | |
| 国際教養学部 | 国際教養学科(前期) | A方式 | 650 (419/596) | 4.3 | - | 549 | 414 (273/387) | 192 | 136 (89/133) | 0 | 164 (105/162) |
| | | B方式 | | | | 549 | 549 (346/505) | 56 (33/56) | 0 | | |
| | 計 | 150 | 650 (419/596) | 4.3 | - | 549 | 549 (346/505) | 192 | 192 (122/189) | 0 | 164 (105/162) |
| 国際商学部 | 国際商学科(前期) | A方式 | 671 (283/568) | 3.5 | - | 587 | 402 (161/352) | 225 | 165 (65/144) | 0 | 187 (83/165) |
| | | B方式 | | | | 587 | 587 (238/494) | 60 (32/55) | 0 | | |
| | 計 | 190 | 671 (283/568) | 3.5 | - | 587 | 587 (238/494) | 225 | 225 (97/199) | 0 | 187 (83/165) |
| 理学部 | 理学科(前期) | A方式 | 287 (111/218) | 4.4 | - | 246 | 230 (95/176) | 70 | 48 (23/36) | 0 | 61 (25/51) |
| | | B方式 | | | | 246 | 246 (100/190) | 22 (5/21) | 0 | | |
| | 計 | 75 | 353 (141/262) | 4.7 | - | 270 | 270 (111/203) | 80 | 80 (32/61) | 0 | 68 (27/54) |
| データサイエンス学部 | データサイエンス学科(前期) | A方式 | 207 (42/178) | 5.2 | - | 189 | 189 (38/163) | 43 | 43 (5/35) | 0 | 38 (4/31) |
| | | B方式 | | | | 23 | 23 (10/20) | 9 (5/9) | 0 | | |
| | 計 | 45 | 253 (58/218) | 5.6 | - | 212 | 212 (48/183) | 52 | 52 (10/44) | 0 | 46 (8/39) |
| 医学部 | 医学科(前期) | A方式 | 284 (122/165) | 4.1 | 211 | 192 | 192 (79/109) | 79 | 79 (20/47) | 3 | 73 (20/43) |
| | | B方式 | | | | 133 | 133 (115/114) | 44 (43/43) | 0 | | |
| | 計 | 125 | 446 (277/316) | 3.6 | 211 | 325 (205/234) | 138 (78/103) | 138 | 138 (78/103) | 3 | 127 (73/94) |
| 合計 | | 585 | 2,373 (1,178/1,960) | 4.1 | 211 | 1,943 (948/1,619) | 687 (339/596) | 687 | 687 (339/596) | 3 | 592 (296/514) |

参考▶国際教養学部・国際商学部・理学部・医学部看護学科においてA・B方式とも合格基準に達した者の人数は、国際教養学部36人、国際商学部30人、理学部18人、医学部看護学科15人

2025年度 一般選抜 入試結果 (得点集計)

【医学部 医学科】第1段階選抜 合格最低点・合格者平均点

| 年度 | 志願者数 | 合格者数 | 共通テスト得点 (得点率) | | 配点 |
|--------|------|------|----------------|----------------|-------|
| | | | 合格最低点 | 合格者平均点 | |
| 2025年度 | 284 | 211 | 829.70 (83.0%) | 876.74 (87.7%) | 1,000 |
| ▼参考 | | | | | |
| 2024年度 | 250 | 210 | 772.60 (77.3%) | 845.90 (84.6%) | 1,000 |
| 2023年度 | 228 | 200 | 752.60 (75.3%) | 842.99 (84.3%) | 1,000 |
| 2022年度 | 228 | 181 | 741.40 (74.1%) | 814.42 (81.4%) | 1,000 |
| 2021年度 | 260 | 210 | 781.00 (78.1%) | 866.95 (86.7%) | 1,000 |



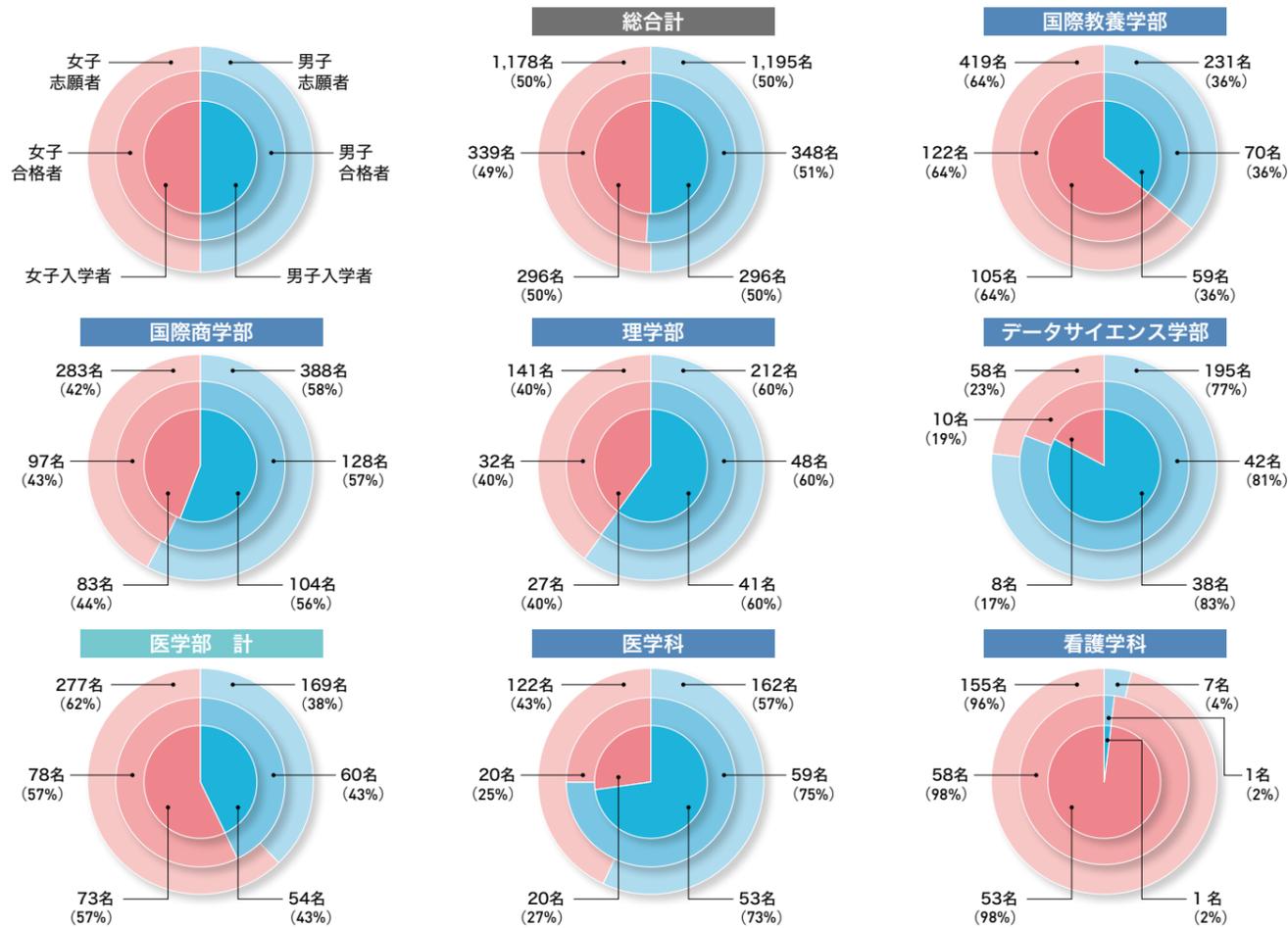
一般選抜合格最低点・合格者平均点

| 学部 | 学科 | 方式 | 合格最低点 | | 合格者平均点 | |
|------------|------------|------|------------------|----------------|------------------|----------------|
| | | | 得点 (得点率) | 配点 | 得点 (得点率) | 配点 |
| 国際教養学部 | 国際教養学科 | A方式 | 934.40 (62.3%) | 1,500 | 741.80 (74.2%) | 1,000 |
| | | B方式 | 846.20 (70.5%) | 1,200 | 608.78 (87.0%) | 700 |
| 国際商学部 | 国際商学科 | A方式 | 929.10 (61.9%) | 1,500 | 741.20 (74.1%) | 1,000 |
| | | B方式 | 858.60 (71.6%) | 1,200 | 607.63 (86.8%) | 700 |
| 理学部 | 理学科 | 前期 | 1,321.30 (62.9%) | 2,100 | 718.29 (71.8%) | 1,000 |
| | | 後期 | 871.35 (69.7%) | 1,250 | 775.51 (73.9%) | 1,050 |
| データサイエンス学部 | データサイエンス学科 | 前期 | 1,458.11 (72.9%) | 2,000 | 851.72 (77.4%) | 1,100 |
| | | 後期 | 1,208.14 (80.5%) | 1,500 | 1,101.99 (84.8%) | 1,300 |
| 医学部 | 医学科 | 前期 | 1,788.50 (74.5%) | 2,400 | 887.48 (88.7%) | 1,000 |
| | | 看護学科 | 前期 | 881.00 (67.8%) | 1,300 | 754.27 (75.4%) |
| 医学部 | 看護学科 | A方式 | 881.00 (67.8%) | 1,300 | 754.27 (75.4%) | 1,000 |
| | | B方式 | 747.60 (74.8%) | 1,000 | 580.73 (83.0%) | 700 |

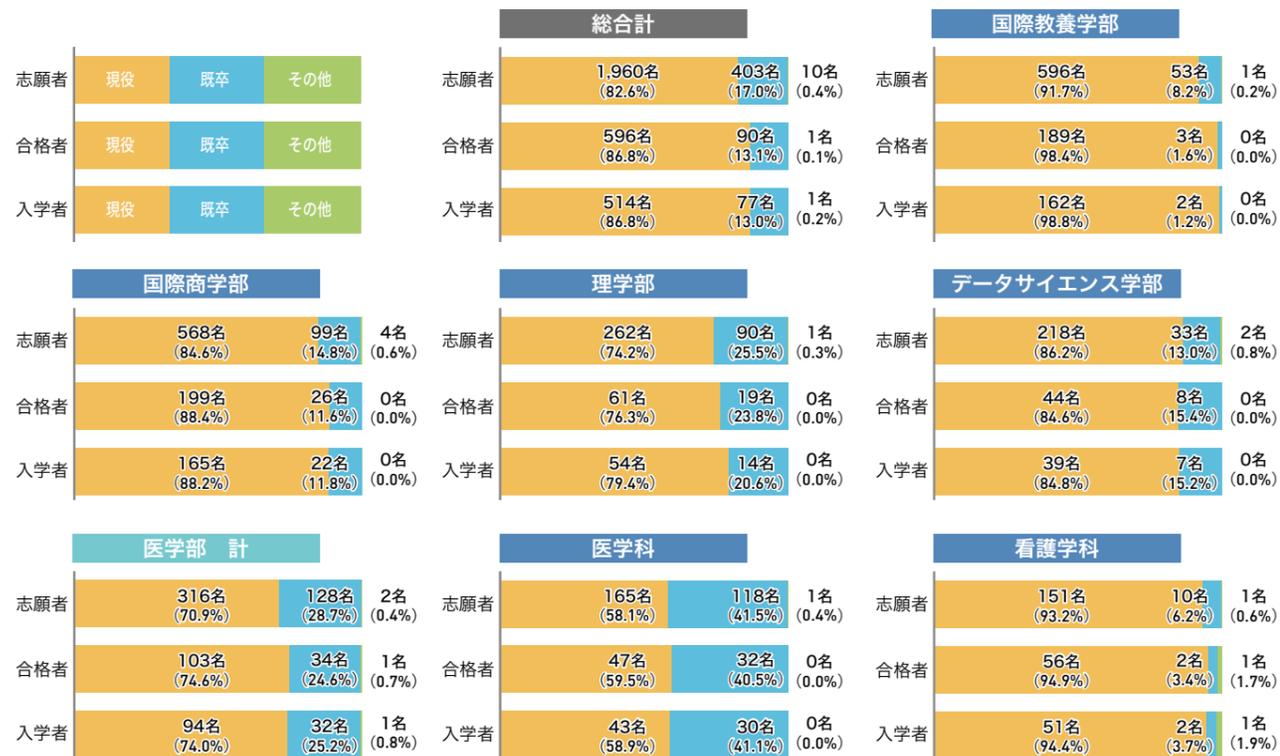
大学入学共通テスト 合格者平均得点率推移



2025年度 一般選抜 入試結果 (男女別集計)



2025年度 一般選抜 入試結果 (現役・既卒別集計)



2025年度 特別選抜 入試結果

特別公募制学校推薦型選抜

| 学部 | 学科 | 募集人員 | 志願者数 | 志願倍率 | 第1次選抜合格者数 | 第2次選抜受験者数 | 第2次選抜合格者数 | 最終合格者数 | 入学者数 | |
|-----|-----------|------|----------|---------|-----------|-----------|-----------|---------|---------|--------|
| 医学部 | 医学科 | 県内高校 | 13 | 43 (28) | 3.3 | 22 (12) | 22 (12) | 22 (12) | 14 (7) | 14 (7) |
| | | 県外高校 | 8 | 33 (17) | 4.1 | 14 (6) | 14 (6) | 14 (6) | 3 (2) | 3 (2) |
| | 小計 | | 21 | 76 (45) | 3.6 | 36 (18) | 36 (18) | 36 (18) | 17 (9) | 17 (9) |
| | 看護学科 (前期) | 5 | 40 (39) | 8.0 | - | 40 (39) | 37 (36) | 9 (9) | 9 (9) | |
| 合計 | | 26 | 116 (84) | 4.5 | 36 (18) | 76 (57) | 73 (54) | 26 (18) | 26 (18) | |

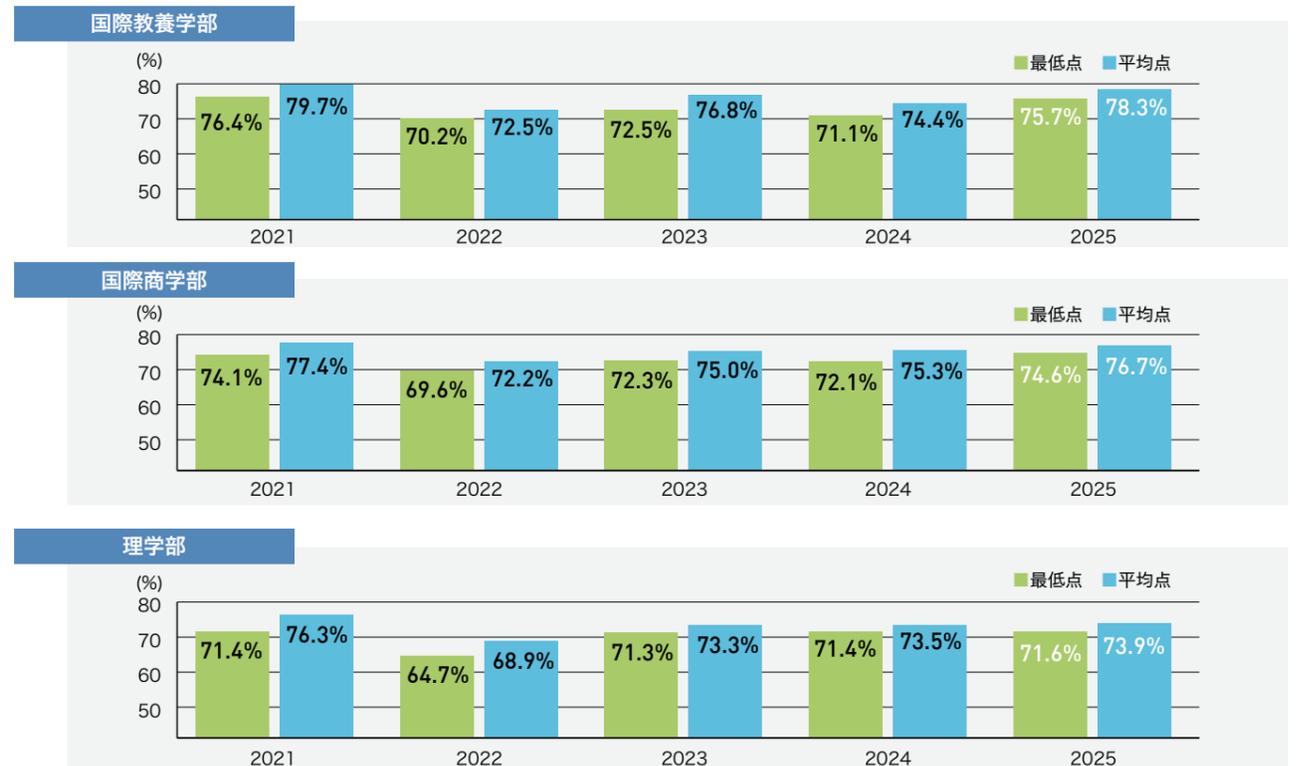
公募制学校推薦型選抜

| 学部 | 学科 | 募集人員 | 志願者数 | 志願倍率 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 |
|--------|--------|------|-----------------|------|-----------------|--------------|--------------|
| 国際教養学部 | 国際教養学科 | 30 | 123 (98) (121) | 4.1 | 123 (98) (121) | 30 (25) (29) | 30 (25) (29) |
| 国際商学部 | 国際商学科 | 15 | 63 (40) (60) | 4.2 | 63 (40) (60) | 15 (8) (14) | 15 (8) (14) |
| 理学部 | 理学科 | 10 | 35 (21) (31) | 3.5 | 35 (21) (31) | 11 (6) (10) | 11 (6) (10) |
| 合計 | | 55 | 221 (159) (212) | 4.0 | 221 (159) (212) | 56 (39) (53) | 56 (39) (53) |

合格者平均点・合格最低点

| 学部 | 学科 | 募集人員 | 合格者数 | 配点 共通テスト | 共通テスト (得点率) | |
|--------|--------|------|------|-------------|----------------|----------------|
| | | | | | 合格者平均点 | 合格最低点 |
| 国際教養学部 | 国際教養学科 | 30 | 30 | 1,000 | 782.55 (78.3%) | 756.80 (75.7%) |
| 国際商学部 | 国際商学科 | 15 | 15 | 1,000 | 766.57 (76.7%) | 746.20 (74.6%) |
| 理学部 | 理学科 | 10 | 11 | 1,000 | 738.89 (73.9%) | 715.60 (71.6%) |

合格者平均点・合格最低点推移 (得点率)



2025年度 入試結果（都道府県別集計）



■ 指定校制学校推薦型選抜

| 学部 | 学科 | 募集人員 | 志願者数 | 志願倍率 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 |
|------------|------------|------|-----------|------|-----------|-----------|-----------|
| 国際教養学部 | 国際教養学科 | 65 | 72 (58) | 1.1 | 72 (58) | 72 (58) | 72 (58) |
| 国際商学部 | 国際商学科 | 50 | 56 (45) | 1.1 | 56 (45) | 56 (45) | 56 (45) |
| 理学部 | 理学科 | 35 | 42 (22) | 1.2 | 42 (22) | 42 (22) | 42 (22) |
| データサイエンス学部 | データサイエンス学科 | 10 | 9 (2) | 0.9 | 9 (2) | 9 (2) | 9 (2) |
| 医学部 | 看護学科 | 40 | 43 (43) | 1.1 | 43 (43) | 43 (43) | 43 (43) |
| 合計 | | 200 | 222 (170) | 1.1 | 222 (170) | 222 (170) | 222 (170) |

(女子)は内数

■ 総合型選抜

| 学部 | 学科 | 募集人員 | 志願者数 | 志願倍率 | 第1次選抜合格者数 | 第2次選考受験者数 | 第2次選考合格者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 |
|------------|------------|------|---------------|------|-----------|-----------|-----------|--------------|--------------|--------------|
| 国際教養学部 | 国際教養学科 | 25 | 129(108)(122) | 5.2 | 51 | — | — | 45 (39) (41) | 26 (22) (24) | 26 (22) (24) |
| 国際商学部 | 国際商学科 | 5 | 27 (18) (26) | 5.4 | 11 | — | — | 10 (7) (10) | 5 (2) (5) | 5 (2) (5) |
| 理学部 | 理学科 | 若干名 | 13 (7) (12) | — | 7 | — | — | 6 (4) (6) | 4 (3) (4) | 4 (3) (4) |
| データサイエンス学部 | データサイエンス学科 | 5 | 16 (8) (15) | 3.2 | 11 | 10 | 8 | 10 (6) (9) | 5 (2) (5) | 5 (2) (5) |
| 合計 | | 35 | 185(141)(175) | — | 80 | 10 | 8 | 71 (56) (66) | 40 (29) (38) | 40 (29) (38) |

(女子)〈現役〉は内数

■ 海外帰国生特別選抜

| 学部 | 学科 | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 |
|------------|------------|------|---------|---------|---------|-------|
| 国際教養学部 | 国際教養学科 | 若干名 | 23 (16) | 15 (12) | 12 (10) | 3 (3) |
| 国際商学部 | 国際商学科 | 若干名 | 10 (3) | 7 (2) | 4 (2) | 0 (0) |
| 理学部 | 理学科 | 若干名 | 6 (3) | 6 (3) | 1 (1) | 1 (1) |
| データサイエンス学部 | データサイエンス学科 | 若干名 | 6 (1) | 4 (0) | 1 (0) | 0 (0) |
| 合計 | | 若干名 | 45 (23) | 32 (17) | 18 (13) | 4 (4) |

(女子)は内数

■ 国際バカロレア特別選抜

| 学部 | 学科 | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 |
|------------|------------|------|---------|---------|---------|-------|
| 国際教養学部 | 国際教養学科 | 若干名 | 20 (13) | 18 (12) | 17 (11) | 1 (0) |
| 国際商学部 | 国際商学科 | 若干名 | 8 (5) | 7 (4) | 5 (3) | 3 (2) |
| 理学部 | 理学科 | 若干名 | 6 (2) | 6 (2) | 1 (0) | 0 (0) |
| データサイエンス学部 | データサイエンス学科 | 若干名 | 7 (2) | 7 (2) | 3 (1) | 1 (0) |
| 医学部 | 医学科 | 2 | 10 (6) | 9 (5) | 3 (1) | 3 (1) |
| | 看護学科 | 若干名 | 4 (4) | 4 (4) | 4 (4) | 1 (1) |
| 合計 | | 2 | 55 (32) | 51 (29) | 33 (20) | 9 (4) |

(女子)は内数

■ 科学オリンピック特別選抜

| 学部 | 学科 | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 |
|------------|------------|------|--------|--------|-------|-------|
| 国際商学部 | 国際商学科 | 若干名 | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) |
| 理学部 | 理学科 | 若干名 | 6 (3) | 6 (3) | 4 (3) | 1 (1) |
| データサイエンス学部 | データサイエンス学科 | 若干名 | 4 (0) | 4 (0) | 2 (0) | 1 (0) |
| 合計 | | 若干名 | 10 (3) | 10 (3) | 6 (3) | 2 (1) |

(女子)は内数

■ 外国人留学生特別選抜(第1期)

| 学部 | 学科 | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 |
|------------|------------|------|---------|---------|--------|-------|
| 国際教養学部 | 国際教養学科 | 若干名 | 10 (6) | 9 (5) | 4 (3) | 3 (2) |
| 国際商学部 | 国際商学科 | 若干名 | 9 (4) | 7 (3) | 5 (3) | 1 (1) |
| 理学部 | 理学科 | 若干名 | 14 (8) | 14 (8) | 3 (1) | 2 (1) |
| データサイエンス学部 | データサイエンス学科 | 若干名 | 8 (1) | 8 (1) | 1 (0) | 0 (0) |
| 合計 | | 若干名 | 41 (19) | 38 (17) | 13 (7) | 6 (4) |

(女子)は内数

■ 外国人留学生特別選抜(第2期)

| 学部 | 学科 | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 |
|--------|--------|------|---------|---------|-------|-------|
| 国際教養学部 | 国際教養学科 | 若干名 | 9 (6) | 8 (6) | 1 (0) | 1 (0) |
| 国際商学部 | 国際商学科 | 若干名 | 11 (8) | 10 (7) | 2 (2) | 1 (1) |
| 理学部 | 理学科 | 若干名 | 10 (2) | 6 (1) | 2 (0) | 2 (0) |
| 合計 | | 若干名 | 30 (16) | 24 (14) | 5 (2) | 4 (1) |

(女子)は内数

■ 社会人特別選抜

| 学部 | 学科 | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 |
|------------|------------|------|-------|-------|-------|-------|
| 国際教養学部 | 国際教養学科 | 若干名 | 1 (1) | 1 (1) | 1 (1) | 1 (1) |
| 国際商学部 | 国際商学科 | 若干名 | 1 (0) | 1 (0) | 1 (0) | 1 (0) |
| 理学部 | 理学科 | 若干名 | 1 (1) | 1 (1) | 0 (0) | 0 (0) |
| データサイエンス学部 | データサイエンス学科 | 若干名 | 2 (0) | 2 (0) | 0 (0) | 0 (0) |
| 合計 | | 若干名 | 5 (2) | 5 (2) | 2 (1) | 2 (1) |

(女子)は内数

北海道 志願者数 合格者数

北海道 84 32

東北 志願者数 合格者数

青森 26 10
岩手 26 12
宮城 56 21
秋田 13 6
山形 27 9
福島 39 7

関東 志願者数 合格者数

茨城 77 22
栃木 51 17
群馬 45 15
埼玉 66 21
千葉 74 13
東京 487 132
神奈川 1,105 398

中部 志願者数 合格者数

新潟 60 22
富山 19 9
石川 11 4
福井 12 3
山梨 36 11
長野 73 30
岐阜 28 15
静岡 164 71
愛知 106 43

近畿 志願者数 合格者数

三重 19 5
滋賀 11 3
京都 20 9
大阪 32 8
兵庫 32 8
奈良 12 3
和歌山 8 3

中国 志願者数 合格者数

鳥取 4 1
島根 8 1
岡山 22 5
広島 38 11
山口 13 8

四国 志願者数 合格者数

徳島 8 3
香川 11 4
愛媛 15 7
高知 23 8

九州・沖縄 志願者数 合格者数

福岡 52 19
佐賀 12 4
長崎 13 3
熊本 11 4
大分 11 2
宮崎 12 1
鹿児島 28 10
沖縄 57 12

その他 志願者数 合格者数

その他 146 43

●北海道

札幌東、札幌南、札幌北、札幌旭丘、函館中部、滝川、旭川東、旭川北、旭川南、帯広柏葉、帯広三条、札幌新川、札幌国際情報、函館、札幌開成、北海、札幌光星、札幌第一、北星学園女子、道愛女子、クラーク記念国際

●青森県

青森、弘前、八戸、八戸東、八戸北、八戸聖ウルスラ学院

●岩手県

盛岡第三、花巻北、水沢、一関第一、宮古、不来方、金石、盛岡白百合学園

●宮城県

仙台第一、仙台第三、仙台向山、泉、宮城第一、仙台南、泉館山、宮城野、仙台青陵、東北学院榴ヶ岡

●秋田県

秋田北、秋田南、大館鳳鳴、能代、本荘

●山形県

山形東、山形南、山形西、山形中央、東桜学園、致道館

●福島県

橘、安積、安積黎明、磐城、原町、郡山

●茨城県

日立第一、水戸第二、緑岡、下妻第一、竹園、水戸桜ノ牧、牛久栄進、茨城キリスト教学園、茨城、水城、土浦日本大学、茗溪学園、常総学院

●栃木県

宇都宮東、宇都宮女子、鹿沼、石橋、栃木、佐野、真岡、大田原、宇都宮北、さくら清修、宇都宮中央、宇都宮短期大学附属

●群馬県

前橋女子、高崎、太田(県立)、太田女子、沼田、太田(市立)、前橋東、高崎経済大学附属、桐生、共愛学園、東京農業大学第二、前橋育英、くま国際アカデミー高等部

●埼玉県

浦和(県立)、浦和第一女子、川越女子、不動岡、越ヶ谷、大宮、越谷北、春日部東、浦和(市立)、川口市立、大宮国際、狭山ヶ丘、武南、埼玉栄、栄東、開智未来

●千葉県

千葉東、柏(県立)、佐倉、佐原、長生、安房、千葉(市立)、成田、市川、麗澤、千葉日本大学第一、渋谷教育学園幕張

●東京都

筑波大学附属、東京学芸大学附属、東京学芸大学附属国際、青山、上野、北園、国分寺、小平、駒場、新宿、立川、田園調布、白鷺、八王子東、日比谷、富士、両国、城東、武蔵野北、日野台、新宿山吹、小石川、桜修館、九段、多摩科学技術、東洋、雙葉、開智日本橋学園、麻布、芝、広尾学園、頌栄女子学院、聖心女子学院高等科、三田国際学園、明治学院、海城、渋谷教

育学園渋谷、晃華学園、都文館、桜蔭、東洋大学京北、獨協、文京学院大学女子、広尾学園小石川、成立学園、安田学園、攻玉社、品川女子学院高等部、青稜、朋優学院、立正大学付属立正、文教大学付属、多摩大学目黒、田園調布学園高等部、鷗友学園女子、駒澤大学、駒場東邦、成城学園、田園調布雙葉、東京都大学等々力、東京都大学付属、日本大学第三、宝仙学園、佼成学園、巣鴨、淑徳巣鴨、豊島岡女子学園、淑徳、城北(私立)、武蔵(私立)、帝京大学、八王子学園八王子、桜美林、錦城、桐朋、吉祥女子、国際基督教大学、大妻多摩

●神奈川県

鶴見、横浜翠嵐、横浜平沼、横浜緑ヶ丘、光陵、希望ヶ丘、港北、川和、市ヶ尾、柏陽、松陽、金井、横浜瀬谷、新城、多摩、生田、横須賀(県立)、横須賀大津、追浜、平塚江南、鎌倉、湘南、小田原、茅ヶ崎北陵、相模原(県立)、秦野、厚木、大和、南、桜丘、金沢、戸塚、東、川崎(市立)、横浜商業、川崎総合科学、荏田、海老名、住吉、大船、神奈川総合、みなと総合、横浜国際、横浜栄、平塚、相模原、横浜サイエンスフロンティア、横浜氷取沢、相模原弥栄、フェリス女子学院、横浜雙葉、横浜共立学園、横浜女子学院、中央大学附属横浜、聖光学院、関東学院、浅野、捜真女学校高等学部、白鷺女子、鶴見大学附属、法政大学国際、桐蔭学園、日本大学、横浜、山手学院、三浦学苑、横須賀学院、サレジオ学院、洗足学園、法政大学第二、日本女子大学附属、平塚学園、栄光学園、鎌倉学園、鎌倉女学院、北鎌倉女子学園、清泉女子学院、鶴沼、湘南学園、湘南白百合学園、日本大学藤沢、藤沢学園藤沢、聖和学院、逗子開成、神奈川大学附属、横浜隼人、桐光学園、森村学園高等部、公文国際学園高等部、桐蔭学園(中等教育学校)、自修館

●静岡県

藤山、三島北、御殿場南、沼津東、富士、清水東、静岡、静岡東、藤枝東、島田、掛川西、磐田南、浜松北、浜松西、浜名、静岡市立、浜松市立、富士東、富士宮西、伊豆伊東、日本大学三島、加藤学園暁秀、星陵、静岡県富士見、静岡雙葉、静岡北、静岡聖光学院、浜松学芸、浜松聖星、桐陽、藤枝明誠

●愛知県

旭丘、千種、松蔭、昭和、名古屋西、春日井、一宮西、半田、刈谷北、西尾、岡崎北、豊田西、豊橋東、菊里、西春、高蔵寺、江南、豊田南、大府東、名古屋南、岡崎西、名東、知立東、東海、名古屋、清林館、岡崎城西、大成

●三重県

桑名、四日市、四日市南、木本

●滋賀県

彦根東、虎姫

●京都府

山城、嵯峨野、福知山、大谷、花園、立命館宇治、京都共栄学園、同志社国際

●大阪府

清水谷、三国丘、北千里、水都国際、明星、桃山学院、高槻、金蘭千里

●兵庫県

御影、神戸、加古川東、加古川西、葦合、三田祥雲館、灘、三田学園

●奈良県

郡山、西大和学園、飛鳥未来

●和歌山県

桐蔭、田辺、開智

●鳥取県

米子西

●島根県

松江東

●岡山県

岡山朝日、岡山操山、倉敷南、朝日塾

●岐阜県

岐阜北、長良、岐阜山、加納、大垣北、大垣東、関、多治見北、各務原西、鶯谷、岐阜聖徳学園、帝京大学可児

●山口県

高森、下松、徳山、山口、宇部、下関西、萩、野田学園

●徳島県

城東、脇町、徳島北

●香川県

高松、高松商業、丸亀、高松第一

●愛媛県

愛媛大学附属、新居浜西、松山東、松山北、大洲、愛光、新田青雲

●高知県

高知追手前、高知小津、高知国際、土佐、高知学芸

●福岡県

東筑、新宮、福岡、筑紫丘、修徳館、筑紫中央、伝習館、春日、福岡大学附属大濠、西南学院、福岡工業大学附属城東、久留米大学附設、八女学院、自由ヶ丘、リンデンホールスクール中高等学校

●佐賀県

佐賀西、武雄、鳥栖、鹿島

●長崎県

長崎東、長崎西、長崎北陽台

●熊本県

熊本、第一、熊本マリスト学園

●大分県

大分舞鶴

●宮崎県

宮崎大宮

●鹿児島県

鶴丸、甲南、鹿児島中央、加治木、鹿屋、ラ・サール、尚志館、志学館高等部

●沖縄県

那覇、首里、普天間、開邦、那覇国際、沖縄尚学、昭和薬科大学附属、N

※志願者数・合格者数は全入試区分(一般選抜・特別選抜)における全学部・全学科の合計人数です。

※校名は合格者の出身校を示します。